令　和　６　年　度

事　　業　　概　　要

（令和５年度統計）

2024Annual Report

SAPPORO　MARUYAMA　ZOO

札 幌 市 円 山 動 物 園

目　　次

Ⅰ　略年譜　1

Ⅱ　園の概要

1　札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」　4
2　当園のシンボルマーク　4
3　規模及び営業　5
4　園の機構と事務分担　6
5　主な展示施設と位置図　7

Ⅲ　主な行事と広報活動

1　令和５年度の主な行事　23
2　令和５年度「円山ZOOガイド」　25
3　令和５年度広報発表内容　29

Ⅳ　令和５年度入園者状況

1　月別入園者　30
2　年度別入園者　30

Ⅴ　予算と決算

1　年度別歳入内訳表　31
2　年度別支出財源　31
3　年度別歳出内訳表　31
4　動物園応援基金　33
5　品目別飼料購入内訳　34
6　開園以来年度別決算表（入園者数及び入園料）　35

Ⅵ　保全活動、教育活動、調査研究、環境配慮、その他の取組

1　保全活動　42
2　教育活動　45
3　調査研究　48
4　園運営における環境配慮の取組み　58
5　その他の取組　59

Ⅶ　飼育動物

1　希少動物（CITES附属書Ⅰ）・天然記念物　62
2　長年飼育動物一覧表　62
3　主な動物愛称一覧表　63
4　繁殖表彰受賞動物一覧表　62
5　令和５年度主要繁殖動物　64
6　令和５年度主要転入動物内訳（出産・孵化を除く）　65
7　令和５年度主要転出動物内訳（死亡を除く）　65
8　剥製等一覧表　66
9　令和５年度野生鳥獣保護一覧表
10　令和５年度主要死亡動物
11　令和５年度原因別死亡動物
12　主要動物の給餌量と飼料代

Ⅷ　飼育動物一覧表

1　総括　68
2　哺乳綱　69
3　鳥綱　72
4　爬虫綱　76
5　両生綱　78
6　貸出動物　79
7　借受動物　80

略　年　譜

年	月	日	
1949(昭和24).	秋		動物園開設地を現在地に決定（調査費約30万円計上）
1950(昭和25).	4.		円山公園及び児童遊園経営に着手（5ケ年計画で、4,050万円の事業費計上）
1951(昭和26).	5.	5	札幌市円山児童遊戯施設として開設　収容動物3種4点（オオワシ1羽、エゾシカ1頭、ヒグマの子2頭）遊戯施設（仲よし電車、豆自動車）
	9.	15	札幌市円山動物園に改称し、初代園長に中俣充志就任　敷地33,000㎡、収容動物20種43点、遊戯施設（仲よし電車、豆自動車、空中観覧車、コンビネーション）
1952(昭和27).	7.	13	入園料徴収を始める〔大人20円、子供（12歳未満）10円〕　収容動物78種200点（ライオン、トラ、キリン、シマウマ等）
1953(昭和28).	4.	1	園の敷地を132,000㎡に拡張し、第1期建設始まる
1954(昭和29).	6.	6	世界動物大博覧会開催
1955(昭和30).	12.	28	博物館相当施設の指定を受ける（文部省告示第108号）
1956(昭和31).	春		動物の芸を公開する（ゾウ、チンパンジー、アシカ、カンガルー等昭和41年頃まで続く）
1957(昭和32).	4.	1	園の敷地を224,000㎡に拡張し、第2期建設始まる
1961(昭和36).	4.	1	学齢未満の入園料無料化
	6.	2	北海道博物館協会の設立と同時に加入
1964(昭和39).	8.	1	二代目園長に中川敏就任
1965(昭和40).	4.	24	開園15年記念行事「マジックフェア」開催（9月30日まで）
1966(昭和41).	4.	1	管理業務の一部委託（園内清掃、収売札、ボイラー運転、飼料運搬）
	11.	30	熱帯動物館完成（冬期開園実施）
1968(昭和43).	1.	9	姉妹都市ポートランドにオジロワシ1羽贈る（昭和34年11月17日提携）
	6.	1	札幌市創建100年記念行事「ﾀｲｶﾞｰｼｮｰ」「世界の爬虫類展」開催（8月18日まで）
	9.	24	大型遊戯施設設置（飛行塔、観覧車、ティーカップ、チェーンタワー）
1969(昭和44).	7.	1	「世界の貝殻展」開催（8月17日まで）
	11.	8	白熊舎（放養式）完成
1970(昭和45).	4.	25	開園20年記念事業「走れ超高速展」開催（6月28日まで）
	7.	4	開園20年記念事業「世界の昆虫展」開催（8月30日まで）
1971(昭和46).	11.	17	姉妹都市ポートランドへエゾタヌキ1つがいを贈る
1972(昭和47).	2.	2	冬季札幌オリンピック開催の折、天皇皇后両陛下ご来園
	9.	15	市内在住65歳以上の敬老手帳所持者の入園料無料化
1973(昭和48).	4.	1	中学生以下の入園料無料化
	8.	30	姉妹都市ポートランドからビーバー1つがいの寄贈を受ける
1974(昭和49).	6.	15	道内初のゴリラ1つがい入園
	6.	20	熱帯植物館、爬虫類館、昆虫館完成
	9.	25	姉妹都市ポートランドへエゾタヌキ1つがいを贈り、ビーバー1つがいの寄贈を受ける
1975(昭和50).	1.	1	札幌市円山動物園協会設立
	7.	1	開園25年記念「世界の貝穀展」開催（8月31日まで）
1977(昭和52).	11.	17	類人猿館完成
1978(昭和53).	6.	12	猛きん舎完成
	9.	1	三代目園長に金森裕就任
	12.	26	白鳥舎完成
1979(昭和54).	7.	19	ポートランドワシントンパーク動物園との姉妹動物園提携記念に、同園からアメリカクロクマ2頭の寄贈を受ける
	8.	1	ポートランドワシントンパーク動物園との姉妹動物園提携記念入園券発売（8月1日～9月3日まで74,800枚）
	8.	5	ポートランドワシントンパーク動物園との姉妹提携調印式を当園で行う
	11.	14	動物病理研究室完成
1980(昭和55).	1.	23	姉妹都市ミュンヘンからヨーロッパオオカミ1つがいの寄贈を受ける（昭和47年8月28日姉妹都市提携）
	2.	26	円山動物園のシンボルマーク決まる（開園30年記念として一般公募）
	3.	28	世界のクマ館完成
	5.	17	開園30年記念事業として入園者報償、モデル撮影会、入園記念ポストカードプレゼント等を行う
	12.	15	こども動物園の拡張と増改築を行う
	12.	21	オオカミ放養場完成

1982(昭和57).	10.	9	サル山完成
1983(昭和58).	2.	1	イヌワシ入園（大韓民国全州市公園管理事務所との動物交換）
	4.	9	メガネグマ入園（ブラジル国ポートアレグロ・リオグランデ・ド・スル動植物園から）
	9.	20	友好都市瀋陽市へマントヒヒ1つがい、チリーフラミンゴ2羽を贈り、マナヅル及びアオカケイ1つがいの寄贈を受ける
	10.	1	大型遊戯施設（観覧車、メリーカップ）更新
	12.	23	洋蘭温室完成
1984(昭和59).	10.	22	モンキーハウス完成
1985(昭和60).	7.	1	四代目園長に金田壽夫就任
	10.	10	回転飛行塔（スペースシャトル）更新
1986(昭和61).	12.	18	総合水鳥舎完成
1987(昭和62).	6.	1	建設局管理部から環境局緑化推進部へ所属替えとなる
	7.	31	メリーゴーランド更新
	10.	18	姉妹都市ノボシビルスク市からペルシアヒョウ1つがいとヨーロッパカワウソ1頭を受ける（動物交換による）
1988(昭和63).	2.	5	タスマニアデビル3頭をオーストラリア・タスマニア州から寄贈を受ける
	12.	11	円山動物園長期総合計画策定
1989(平成元).	9.	15	前年2月に贈られたタスマニアデビルにつづいて、ウォンバット、ワラビーなど14種の動物が贈られることになり、これらの動物を収容するためタスマニア館が完成
1991(平成3).	3.	20	動物科学館完成、こども動物園の拡張、大型遊戯施設（エレファント）更新
1992(平成4).	4.	1	五代目園長に森永修正就任
	10.	30	レストハウス（休憩所）完成
1993(平成5).	3.	19	堆肥舎施設完成
1994(平成6).	4.	1	六代目園長に福井正継就任
	6.	17	円山動物園遊戯施設廃止
1995(平成7).	3.	16	熱帯鳥類館完成
	3.	28	西門改築完成
	3.	31	円山公園第1駐車場改築完成
	4.	29	子供の国遊園地「キッドランド」中島公園から移転オープン（㈱札幌振興公社）
1996(平成8).	4.	1	七代目園長に長尾章郎就任
1998(平成10).	4.	1	動物園センター完成
	5.	28	（社）日本動物園水族館協会総裁　秋篠宮殿下、総会ご出席の折、妃殿下とともにご来園
2000(平成12).	4.	1	八代目園長に大内格之就任
	6.	21	入園者四千万人達成
	9.	9	円山動物園開園50年記念事業としてチンパンジー館（愛称マチカ）オープン（当日入園料無料）
2002(平成14).	4.	1	九代目園長に北村健一就任
	5.	17	開設時より飼育してきたオオワシ１羽が老衰により死亡
2003(平成15).	1.	10	フクロウとタカの森完成
2004(平成16).	3.	31	リスザルドーム完成
	4.	1	十代目園長に藤沢武就任
2005(平成17).	3.	31	ふれあい教室用建物完成
	4.	1	年間パスポート発売
	12.	9	園内動物病院完成
2006(平成18).	3.	27	展望レストハウス完成
	4.	1	十一代目園長に金澤信治就任
	6.	27	円山動物園リスタート委員会設置
2007(平成19).	1.	28	開園3年目に来園したアジアゾウが老衰により死亡
	3.	22	札幌市円山動物園基本構想策定
	8.	30	市民動物園会議設置
2008(平成20).	3.	27	類人猿館屋外放飼場改修、ビーバーの森、ドサンコの森、ニワトリ・ウサギ広場及びエゾシカ・オオカミ舎完成
	4.	1	アニマルファミリー制度運用開始
	7.	30	園内にコンビニエンスストア セブン-イレブン円山動物園店開店
	8.	10	札幌市円山動物園基本計画策定
2009(平成21).	3.	1	自然体験ゾーン円山動物園の森完成
	4.	1	十二代目園長に酒井裕司就任

2010(平成22).	2.	10	猛禽類野生復帰施設完成
	3.	18	エゾヒグマ館完成
	3.	31	昆虫館閉館
	9.	30	白鳥池、キッドランド「円山子供の国」閉鎖
	10.	6	韓国大田広域市との姉妹都市提携を記念し、オー・ワールドの動物園にコモンリスザル8頭を贈り、ブチハイエナ2頭の寄贈を受ける（平成22年10月22日姉妹都市提携）
2011(平成23).	1.	31	開園60周年記念事業としてスノーフェスティバルの規模を拡大し、入園料を無料とした
	3.	24	は虫類・両生類館完成
	3.	27	は虫類館閉館
2012(平成24).	1.	1	開園60周年記念事業として正月三が日の入園料無料をスタート
	4.	1	十三代目園長に見上雄一就任
	12.	12	寒帯館、高山館、熱帯雨林館からなる「アジアゾーン」完成
2013(平成25).	4.	20	遊具広場「まるっぱ」完成
	10.	31	台湾台北市立動物園と協力関係樹立の覚書締結
2014(平成26).	4.	1	十四代目園長に田中俊成就任
	12.	1	モンキーハウス改修
2015(平成27).	2.	1	熱帯鳥類館改修
	4.	1	さっぽろ円山動物園サポートクラブ発足
	8.	21	マレーグマ「ウッチー」の死亡事案に係る改善勧告書受理
	10.	23	環境局参与に小菅正夫就任
	10.	24	サル山改修
	10.	31	「アフリカゾーン」一部公開
2016(平成28).	4.	1	十五代目園長に加藤修就任
	4.	1	開園時間及び休園日変更
	8.	22	「アフリカゾーン」全面公開
	8.	28	熱帯動物館閉館
2017(平成29).	1.	11	カンガルー館改修
	2.	28	北海道大学大学院獣医学部医学研究科・獣医学部との連携・協働に関する協定の締結
	10.	20	ホッキョクグマ館完成
2018(平成30).	3.	13	ホッキョクグマ館オープン
	9.	5	台風による倒木の影響で緊急閉園
	9.	6	北海道胆振東部地震に伴う停電の影響で緊急閉園（～9/9）
	9.	20	ゾウ舎完成
	11.	30	アジアゾウ4頭がミャンマー連邦共和国から来園
2019(平成31).	3.	12	ゾウ舎オープン
	3.	20	札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」策定
2020(令和 2).	3.	1	新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした「北海道緊急事態宣言」により休園（～3/31）
	3.	30	札幌市円山動物園ビジョン2050「第１次実施計画」策定
	4.	1	屋内休憩スペースの閉鎖等を行い開園
	4.	14	臨時休園（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、～6/2）
	6.	3	すべての屋内施設を閉鎖し開園（～6/30）
	12.	24	開園70周年記念ロゴデザイン決定
2021(令和 3).	1.	1 ～	開園70周年記念事業が開始。地下鉄全駅や円山公園駅ホーム柵に動物のポスターを掲示。その他、周年記念ロゴをモチーフとした民間企業とのコラボレーション商品制作、発売を実施。
	4.	1	十六代目園長に神賢寿就任
	4.	19	1日の来園者数の予約上限を8,000人とし、完全予約制を開始
	4.	24	来園者数の予約上限を8,000人から5,000人に変更
	5.	6	臨時休園（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、～7/11）
	8.	28 ～	臨時休園（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、～9/30）
	9.	30	セブン-イレブン円山動物園店閉店
	10.	31	来園者の完全予約制を終了
2022(令和 4).	6.	6	札幌市動物園条例の制定
	6.	6	動物園応援基金設置
	7.	15	園内にミュージアムショップ・円山開店
2023(令和 5).	3.	9	札幌市円山動物園動物福祉規程施行
	4.	1	十七代目園長に柴田千賀子就任
	4.	1	札幌市動物園条例の全部施行
	4.	1	「さっぽろの動物園ステップアップ制度」開始
	8.	19	北海道で初となるアジアゾウの繁殖に成功
	10.	21	リニューアルした正門ウェルカムボードを公開
	3.	28	札幌市豊平区さけ科学館をさっぽろの動物園ステップアップ制度の準認定施設に登録

Ⅱ 園　の　概　要

1　札幌市円山動物園基本方針「ビジョン 2050」（2019 年 3 月 20 日策定）

札幌市円山動物園基本方針「ビジョン 2050」は、令和 4 年 6 月 6 日制定の「札幌市動物園条例（第 11 条）」において、円山動物園の総合的かつ計画的な運営方針として位置付けられています。

＜円山動物園の基本理念＞

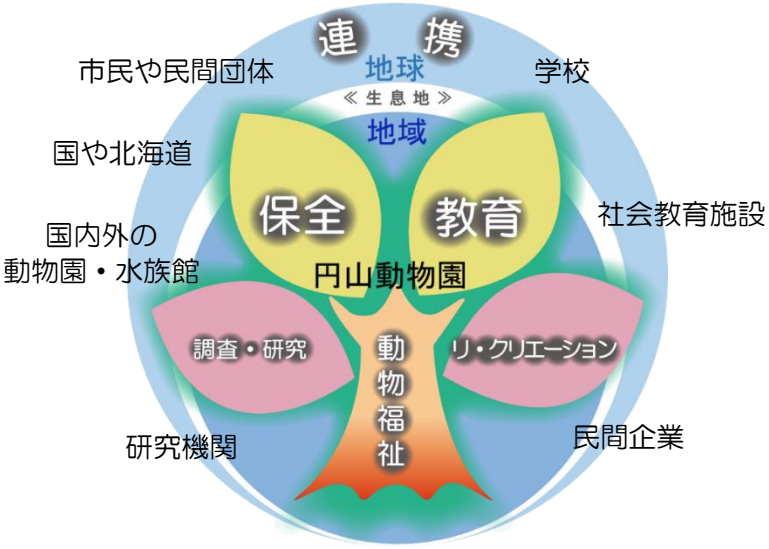
開園 100 年目である 2050 年に向け、「命をつなぎ　未来を想い　心を育む動物園」を基本理念とし、自然と人が共生する持続可能な社会の実現に貢献していきます。

動物たちの命を大切につなぎながら、未来の私たちの環境や動物たちの生息地の環境、そして社会がどのようになっているかを想像し、命の尊さや自然の大切さが感じられる心を育む動物園を目指します。

＜基本理念に基づく取組＞

全ての人が自然環境の大切さを「実感」し、自然を守るために「行動」し、そして、自然と人が共生する持続可能な社会の「実現」に貢献するため、「動物福祉」を根幹に、生物多様性の「保全」、「教育」「調査・研究」「リ・クリエーション」に力を入れていきます。

次世代の子どもたちに豊かな自然をまもり伝えていくためにも、円山動物園は自然と市民をつなぐ場として、これら４つの取組を重点的に推進していきます。



2　当園のシンボルマーク

開園 30 周年を記念して公募したもので、外側の円は、動物をとりまく豊かな緑を表現し、開園 30 周年にオープンした世界の熊館にちなみ、クマの親子のほのぼのとした情景をシンボライズすることによって、動物愛護精神の高揚を念願したものです。

３　規模及び営業

(R6.4.1)

住　　所	札幌市中央区宮ケ丘3番地1
所　　属	札幌市環境局円山動物園
位置及び地形	札幌テレビ塔から西に約4km（東経141°21′、北緯43°03′）
敷地面積	224,780㎡（67,996坪）　南北　700m　東西　400m
構造物	74　36,324.62 ㎡ 管理施設　33　4,481.03 ㎡　動物施設　33　29,100.45 ㎡ 教育施設　3　2,510.86 ㎡　便益施設　5　232.28 ㎡
収容動物	144 種　606 点（R6.3.31現在） 哺乳類　53 種　253点 鳥類　34 種　124点 爬虫類　44 種　138点 両生類　13 種　91点
職員数	73 名
主な委託業務	① 使用料収納、案内業務　⑥ 塵芥等搬出業務 ② 夜間警備業務　⑦ 給排水設備等維持管理業務 ③ 飼料管理業務　⑧ 園内施設運転管理整備業務 ④ 施設清掃業務　⑨ バイオ発酵処理設備運転管理業務 ⑤ 緑地等維持管理業務　⑩ 駐車場管理等業務（指定管理）　など
年間入園者数	865,610 人　（令和５年度）
電力消費	2,515,023 KWH　（令和５年度） トランス容量　2,655 KVA　（3相　1455 KVA　単相　1200 KVA）
上水道消費	105,829 ㎥　（令和５年度）
営業時間	3月1日～10月31日　9：30～16：30 11月1日～2月末　9：30～16：00
休園日	毎月第2、4水曜日(8月第1、4水曜日）4月と11月第2水曜日を含む週の月～金、12月29日～31日
入園料	800円/人（30名以上の団体　720円/人）、高校生400円、年間パスポート　2,000円/人 中学生以下無料
駐車場	円山公園駐車場 第一駐車場　612台（普通車換算）　18,706 ㎡ 第二駐車場　276台（普通車）　4,160 ㎡　（うち屋外部分　2370.1㎡） 計　888台　25,236 ㎡ 円山動物園駐車場 220台（普通車）
サービス施設	ベビーカー　29台　食堂・売店　売店5店（兼食堂4店） 車椅子　31台　オフィシャルショップ　2カ所（動物科学館・西門そば） 電動カート　2台　コインロッカー　2カ所（正門・西門）

入園料等の推移

入園料　(円)

設定	区分	料金 一般	料金 団体	料金 ﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ	備考
昭和27.7.13	大人	20	16		12歳以上
	子供	10	8		11歳以下
昭和30.4.1	大人	30	24		12歳以上
	子供	10	8		4～11歳
昭和32.4.1	大人	40	32		12歳以上
	子供	15	12		4～11歳
昭和41.4.1	大人	80	65		高校生以上
	中人	50	40		中学生
	子供	20	15		小学生
昭和44.4.1	大人	100	80		高校生以上
	中人	50	40		中学生
	子供	20	15		小学生
昭和48.4.1	大人	100	80		高校生以上
昭和51.4.1	大人	300	250		高校生以上
昭和55.4.1	大人	400	350		高校生以上
昭和59.4.1	大人	500	450		高校生以上
平成4.4.1	大人	600	540		高校生以上
平成17.4.1	大人	600		1,000	高校生以上 年間ﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ新設
令和2.4.1	大人	800		2,000	高校生400円

遊覧料　(円)

設定	料金 大型	料金 中型	料金 小型	備考
昭和44.4.1	40	30	－	
	30	20	10	
昭和50.4.1	40	30	10	
昭和51.4.1	60	50	30	
昭和55.4.1	70	50	30	
昭和59.4.1	100	－	50	回数券1,000円
昭和63.4.1	150/100	－	50	回数券1,000円
平成４.4.1	180/120	－	100/50	回数券1,200円
平成6.6.17	遊戯施設廃止			

駐車料　(円)

設定	料金 大型	料金 中型	料金 普通	料金 二輪	備考
昭和47.4.1	300	－	150	30	昭和46.8開始
昭和49.4.1	300	－	200	30	
昭和51.4.1	600	－	400	100	
昭和55.4.1	1,000	－	600	100	
平成4.4.1	1,200	1,000	700	100	

4 機構と業務分担

(R6.4.15)

環境局
円山動物園

- 経営管理課
  - 経営係
    1 園内の庶務・経理
    2 園内の契約事務
    3 駐車場の管理
    4 遺失物の処理
    5 車両の管理
    6 園の使用料の減免
    7 防災対策
    8 園内他課係等の主管に属しないこと
  - 管理係
    1 園内施設改修、整備工事等の設計及び監督
    2 管理施設、動物舎等園内諸施設の保守管理
    3 委託業務の指導監督
    4 園内の財産台帳の管理
    5 園内巡視、除雪及び清掃
- 保全･教育推進課
  - 推進係
    1 課内の庶務に関すること
    2 札幌市動物園条例（動物園ステップアップ制度含む）に関すること
    3 動物園応援基金に関すること
    4 寄附に関すること
    5 市民動物園会議に関すること
    6 円山動物園基本方針ビジョン2050及び実施計画に関すること
    7 広報・報道に関すること
    8 広聴に関すること
    9 企業・団体等の動物園支援事業に関すること
  - 保全･教育担当係
    1 環境・生物多様性保全の情報収集・調査研究に関すること
    2 飼育動物種管理、保全計画推進に関すること
    3 教育・環境教育プログラムに関すること
    4 保全・教育関係情報の発信に関すること
    5 大学等との共同研究に関すること
    6 動物専門員の研修に関すること
    7 イベント、有料プログラムに関すること
- 飼育展示･診療担当課
  - 飼育展示一担当係
    1 動物の飼育・種の保全に関すること
    2 動物の調査及び研究に関すること
    3 動物についての教育普及に関すること
  - 飼育展示二担当係
    1 動物の飼育・種の保全に関すること
    2 動物の調査及び研究に関すること
    3 動物についての教育普及に関すること
  - 飼育展示三担当係
    1 動物の飼育・種の保全に関すること
    2 動物の調査及び研究に関すること
    3 動物についての教育普及に関すること
  - 動物診療担当係
    1 動物の診療及び防疫に関すること
    2 傷病鳥獣に関すること
    3 動物診療の調査及び研究に関すること
    4 動物舎の安全管理に関すること
    5 獣医衛生に関すること
    6 獣医療に携わる職員の技術向上に関すること

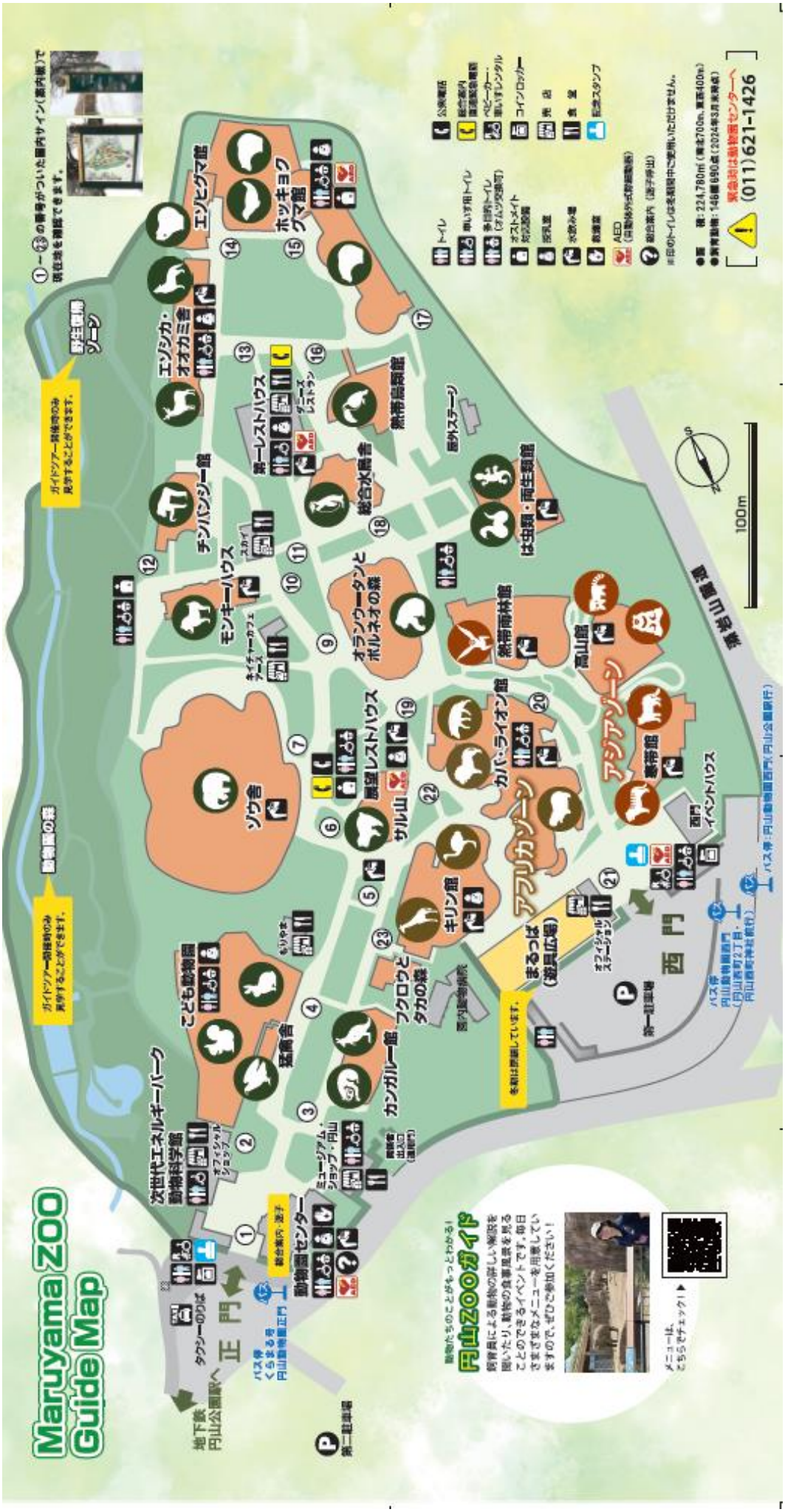
職員の配置と職種

(R6.4.15)

			事務職	技術職							技能職	会計年度任用職員				
			事務	衛生	造園	電気	土木	機械	建築	専門	機械	公園	飼育	解説	事務	運転手
計		73	9	11	1	1		1	1	29	2	2	9	3	3	1
経営管理課	経営係	8	4	1											2	1
	管理係	8			1	1		1	1		2	2				
保全・教育推進課	推進係	6	4	1											1	
	保全教育担当係	6		2						1				3		
飼育展示･診療担当課	飼育展示一担当係	16	1	1						9			5			
	飼育展示二担当係	13		1						9			3			
	飼育展示三担当係	12		1						10			1			
	動物診療担当係	4		4												

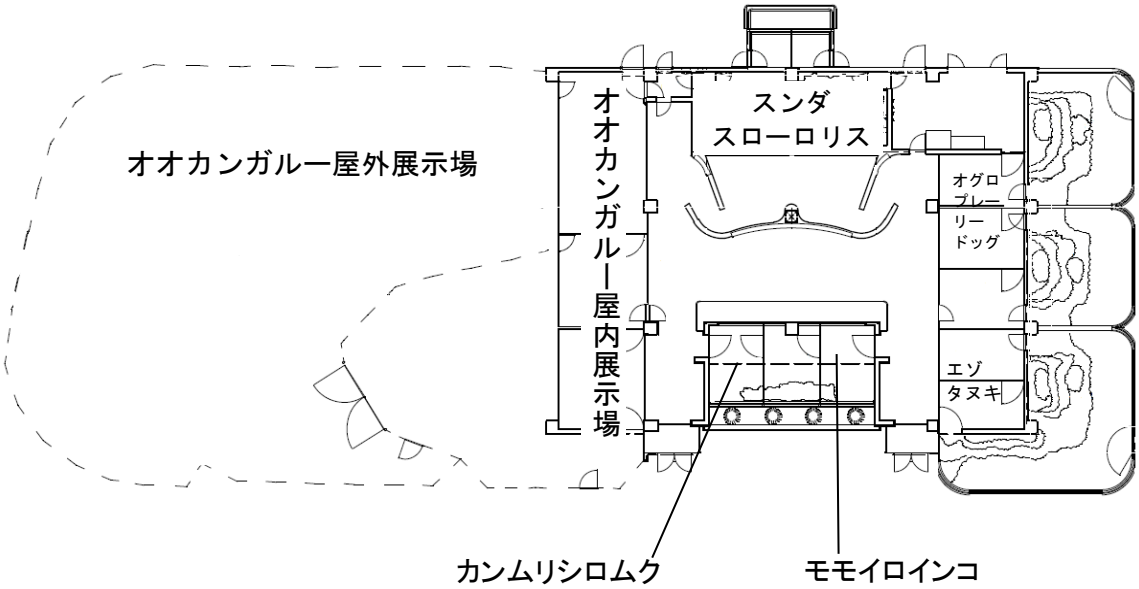
５　主な展示施設と位置図

名称	建設	規模	特　　徴
オランウータンとボルネオの森	昭和52.11 平成20.3 屋外改修 令和6.5 屋内改築	屋内1347.69㎡ 屋外482.42㎡	1977年に類人猿館を建築し、ゴリラ、チンパンジー、オランウータン、テナガザルなどの類人猿を飼育してきた。施設の老朽化が進み、屋内放飼場の改築工事を行った。新施設は、旧施設と比べて屋内放飼場の面積が約３倍、高さが２倍となり、樹上での生活を基本とするオランウータンの本来の能力が発揮できる施設を目指した。また、オランウータンのほかに熱帯雨林を再現した植栽や、熱帯雨林に棲む魚や虫なども飼育。屋内施設の改築に伴い、類人猿館から名称を変更。
猛禽舎	昭和53.6	314.48㎡	鉄骨金網張り一部モルタル造で、高さ4.6～6mのケージの中に、とまり木、池、巣台などを備えてオオワシ、オジロワシ、シマフクロウを展示している。
こども動物園	昭和55.12 平成3.3.拡張 平成20.3改修	434.44㎡	安全で親しみやすい動物を展示する施設であり、ヒツジ・ニワトリ・アヒル・ガチョウなどを放し飼いにして、子供たちが動物との触れ合いを楽しめるようになっている。平成19年度には展示エリアを拡大し、既存施設をビーバーの森、ドサンコの森に改修するとともに、トイレ等の新築を行なった。
サル山	昭和57.10 平成27.10改修	572.61㎡	深さ4.5m、直径25mの円形放養場。平成27年度に放養場中央部を改修した際には「高校生によるワークショップ」を開催し、ニホンザルにとってより自然な環境を提供できるよう「市民意見」も取り込んだ形で行った。
モンキーハウス	昭和59.10 平成26.12改修	屋内454.09㎡ 屋外126.00㎡	雨天時や冬期には、屋内で観察できる猿類の展示場で、冬期間日光が一日中入るように設計されている。ワオキツネザル、ダイアナモンキー、フサオマキザル、ブラッザグェノン、マンドリル、ドグェラヒヒを展示している。
総合水鳥舎	昭和61.12	屋内133.08㎡ 屋外571.99㎡	暖房設備のある屋内放養場をもち、池にも凍結を防止し快適な水温を維持できる設備を備え、冬期間も観察できるようになっている。
カンガルー館	平成元.8 平成28.11改修	屋内267.37㎡ 屋外99.76㎡	カンガルーを展示すると共に昼夜を逆転させた夜行性動物舎も備えている。平成19年4月タスマニア館から名称変更。
動物科学館	平成3.3	922.48㎡	野生動物の生き方やくらし方、動物と人間とのつながり、自然環境保護の大切さをよく理解することができるように、ジオラマや映像機器を使い、わかりやすく楽しく学べる施設~~である~~。
熱帯鳥類館	平成7.3 平成27.2改修	屋内676.26㎡ 屋外166.66㎡	バードホール内の熱帯植物の中を熱帯鳥類が自由に飛びまわり、一日3回スコールが降り注ぐなど、より野生の自然環境に近い状態で観察することができる。
動物園センター	平成10.3	1,218.43㎡	園内の総合案内をはじめ、動物情報の提供やギャラリー、研修・学習会場としての役割を持ち、天候に影響されず一年を通じて動物に関する情報を来園者に提供する。
チンパンジー館	平成12.9	屋内301.67㎡ 屋外153.61㎡	チンパンジーの野生に近い状態での展示（生態展示）を目的とした専門館。屋外展示場には高さ15mのジャングルジムを設置し、アリ塚も設けている。
フクロウとタカの森	平成15.1	186.55㎡	柱へ擬木の使用，止まり木も実際の倒木などを利用し、園内の木々と調和した動物舎。
リスザルドーム	平成16.3	120.50㎡	周りがガラス張りの通路とし，頭上をリスザルが行き来する生態を観察することができる施設。
園内動物病院	平成17.12	369.95㎡	診療室、検査室の他、入院室、解剖室並びに検疫室を有する。飼育動物の治療の他、小中高校生を対象にした教育プログラムを実施し、環境教育に取り組んでいる。
展望レストハウス	平成18.3	290.00㎡	ガラス越しにニホンザルが餌を食べる様子を間近で見られ、ゆったりとくつろぎながら生態を観察することができる施設。子どもたちが遊んだり、絵本を読んだりできるスペースもある。
エゾシカ・オオカミ舎	平成20.3	597.06㎡	ガラス越しにエゾシカ・オオカミ両方の動物たちを間近にゆっくり観覧できる施設。エゾシカ放養場のオープンデッキでは、エゾシカを間近に観察でき、オオカミ放養場では、動き回るオオカミの姿をブリッジ、展望デッキ及び多くののぞき窓など様々な角度から観察できるよう工夫している。また、多目的トイレ、授乳室、キッズルーム（森のひろば）なども設置している。
ザリガニ小屋	平成21.3	48.20㎡	在来種ニホンザリガニを飼育している。
猛禽類野生復帰施設	平成22.2	943.61㎡	傷病保護及び園内繁殖した猛禽類の野生復帰や飛行訓練を目的として、トレーニングケージ、繁殖ケージ、繁殖研究棟等を建設した。
エゾヒグマ館	平成22.3	屋内152.21㎡ 屋外525.24㎡	エゾヒグマの本来の姿や生態を展示することで、身近なところから環境問題や北海道の自然を考えるメッセージを発信する場として建設した。 施設の特徴としては、大きなアクリルガラスを設置した２か所の観覧スペースや、「プール」、「雨宿りスペース」、「えさ穴」等、ヒグマの様々な行動を間近で観察することができる施設となっている。
は虫類・両生類館	平成23.3	645.00㎡	植栽や擬岩、演色性の高い照明等の導入により、展示動物の生息地にあったレイアウトを施し、来園者の高揚感を創出するとともに、美術品を鑑賞するような静かで落ち着いた空間構成になっている。 熱帯、亜熱帯、日本・温帯と生息地に合わせた展示を行う「小中型展示ゾーン」は、４０マスに分かれており間近で観察することが出来る。また、大型の動物を展示する「大型展示ゾーン」では、ワニが水中で泳ぐ姿を観察できるようなっている。さらに、バックヤードを公開型とすることで、動物が孵化する様子なども観察することができる。
寒帯館	平成24.12	屋内540.19㎡ 屋外625.90㎡	生息地の環境を再現した「生息環境展示」を採用することにより、動物の本来的な動きを再現している。また、環境エンリッチメントに配慮し、飼育動物福祉の向上を図っている。
高山館	平成24.12	屋内392.50㎡ 屋外559.37㎡	屋内・屋外放育場とも、自然木を活用し、動物本来の生き生きとした動きを引き出せるようになっている。特にレッサーパンダの観覧スペースには、観覧者の上部に吊り橋やサークルなどを配し、観覧者とレッサーパンダが一体の空間に過ごせるようになっている。
熱帯雨林館	平成24.12 平成29.11改修	屋内943.68㎡ 屋外525.24㎡	アジア圏の熱帯雨林に生息する動物を集約した施設となっており、それぞれの動物に応じた環境の再現をおこなう展示手法を用いている。屋外放飼場も、ガラスの多用により観覧者が動物との一体感を感じられるようになっている。
カバ・ライオン館	平成27.8	屋内1780.78㎡ 屋外1459.83㎡	サバンナ及びその水辺に生息する動物たちを中心に、肉食動物・草食動物、捕食者・被捕食者を効果的に展示することにより食物連鎖や動物たちの共生、“命のつながり”を表現する施設となっている。特にカバは水中の行動が観察できるよう、プール壁面の一部をガラス化している。
キリン館	平成27.8	屋内971.76㎡ 屋外1251.06㎡	できるだけ動物と観客の地面の高さを合わせ、動物の大きさを感じることができるとともに、屋内外ともに柵を工夫し、動物をより細かいところまで観察することができるようになっている。特に、建物2階からはアフリカゾーンを一望できるうえ、キリンの目線の高さから観察できるようになっている。
ホッキョクグマ館（新館）	平成29.10	屋内1419.5㎡ 屋外1572.2㎡	北極圏に住むホッキョクグマとアザラシを展示し、北極圏の生態系の一部を見て、生息地のことや、その環境について学ぶきっかけになるだけでなく、海外の動物園との連携を進めていくため、世界基準のホッキョクグマの施設基準に沿った獣舎となっている。
ホッキョクグマ館（旧世界の熊館）	昭和55.3	屋内574.71㎡ 屋外1066.41㎡	自然木、擬岩、池などを配置した放養場を主体に、おり式を組合せ屋内に産室を備えた他に例のない施設。ホッキョクグマを展示している。
ゾウ舎	平成30.10	屋内4,117.51㎡ 屋外2,360㎡	ゾウの群れでの動きや採食行動など、自然に近い行動をゆっくりと観察することができる施設となっている。また、屋内・屋外ともに床面には砂を敷き詰めているほか、ゾウの健康維持で重要な水場を確保するため、水浴び可能なプールを設置するなど、動物の福祉に十分に配慮したつくりとなっている。加えて、飼育員とゾウ両方の安全を確保するため、準間接飼育法によりゾウの健康管理等を行うことができる施設。

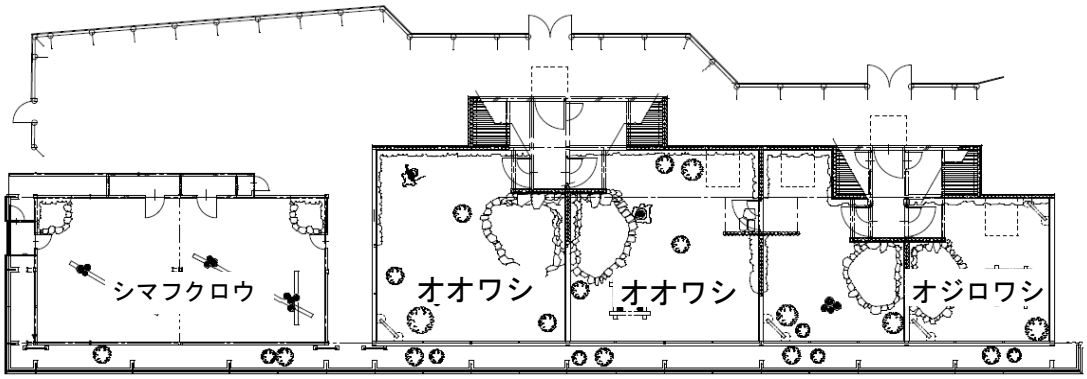

Maruyama ZOO
Guide Map
正門
西門
地下鉄 円山公園駅へ
タクシーのりば
バス停 くらまる号 円山動物園正門
動物園センター
総合案内・迷子
第二駐車場
次世代エネルギーパーク
動物科学館
こども動物園
猛禽舎
カンガルー館
フクロウとタカの森
キリン館
サル山
展望レストハウス
ゾウ舎
モンキーハウス
チンパンジー館
エゾシカ・オオカミ舎
エゾヒグマ館
ホッキョクグマ館
第一レストハウス
総合水鳥舎
熱帯鳥類館
屋外ステージ
オランウータンとボルネオの森
カバ・ライオン館
熱帯雨林館
は虫類・両生類館
アフリカゾーン
アジアゾーン
高山館
豪華館
イベントハウス
まるっぱ（遊具広場）
第一駐車場
医療動物病院
動物園の森
野生復帰ゾーン
ガイドツアー時間内のみ見学することができます。
ガイドツアー時間内のみ見学することができます。
冬期は閉園しています。
100m
N
① ～ ㉓ の番号がついた園内サイン（案内板）で現在地を確認できます。
トイレ
赤いッ子用トイレ
多目的トイレ（オムツ交換可）
ポストポイント（投函可能）
授乳室
水飲み場
飲食店
AED（自動体外式除細動器）
総合案内（迷子呼出）
※日のトイレは冬期間中ご使用いただけません。
公衆電話
総合案内/遺失物取扱所
ベビーカー・車いすレンタル
コインロッカー
売店
食堂
記念スタンプ
園：224,780㎡（東西700m、南北400m）
●飼育動物：146種690点（2024年3月末現在）
緊急時は動物園センターへ
(011)621-1426
動物たちのことがもっとわかる！
円山ZOOガイド
飼育員による動物の詳しい解説を聞いたり、動物の食事風景を見ることのできるイベントです。毎日さまざまなメニューを用意していますので、ぜひご参加ください！
メニューは、こちらでチェック！

（R6.4.1現在）

カンガルー館

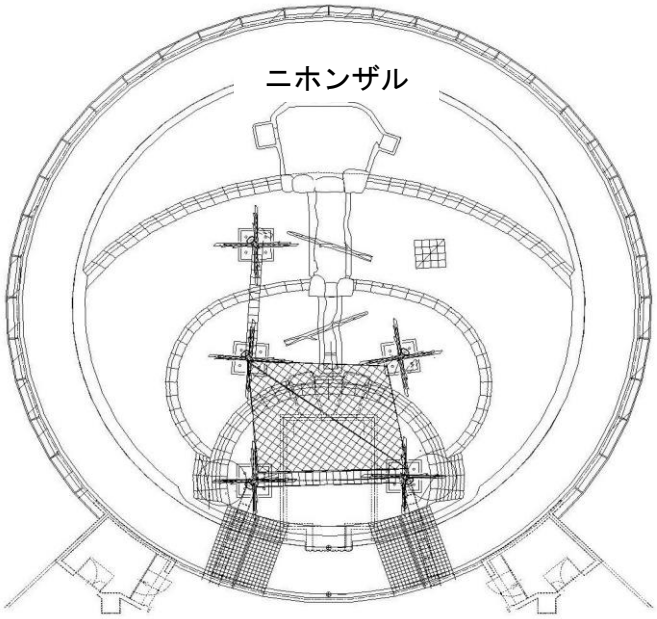


猛禽舎

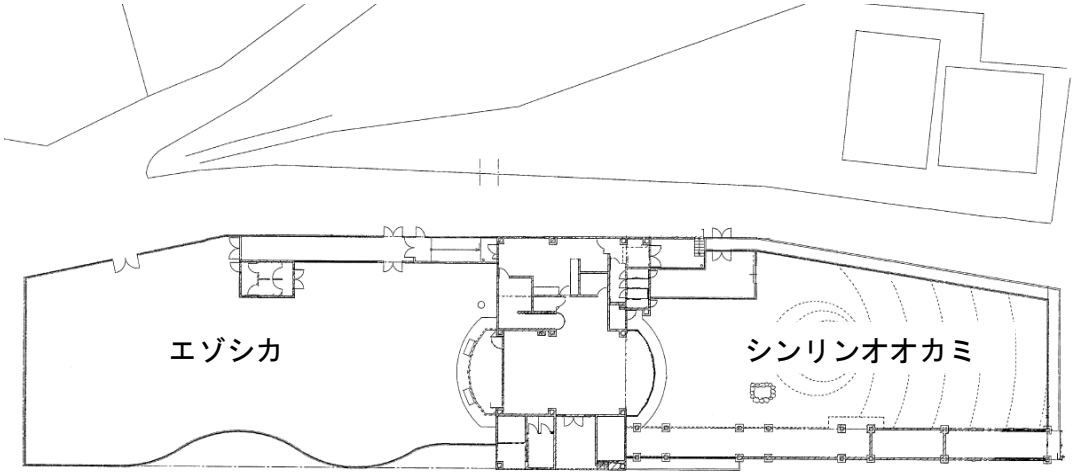


（R6.4.1現在）

サル山

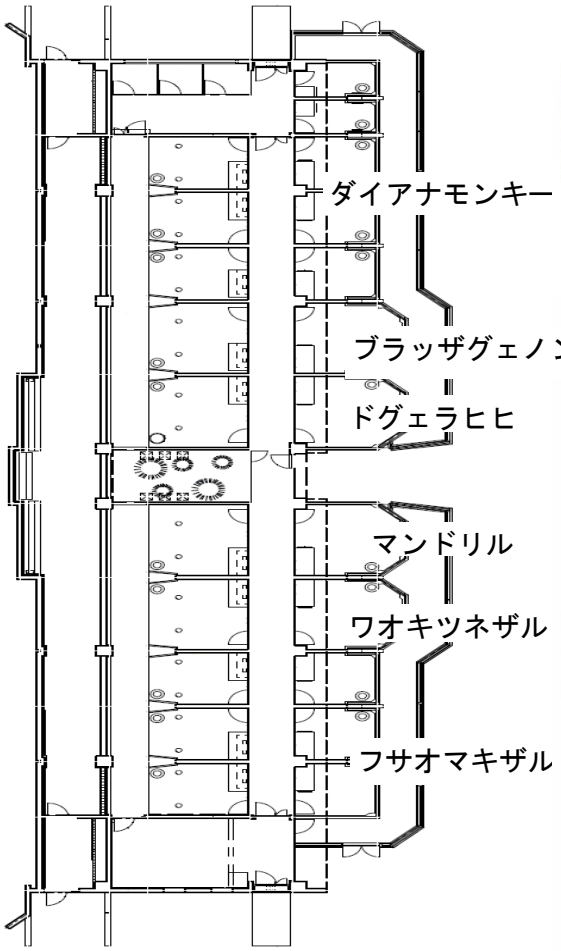


エゾシカ・オオカミ舎

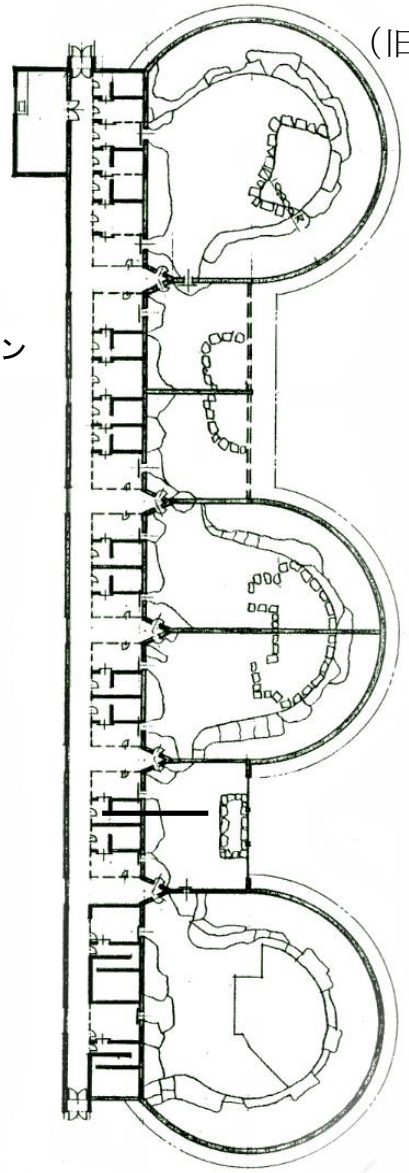


（R6.4.1現在）

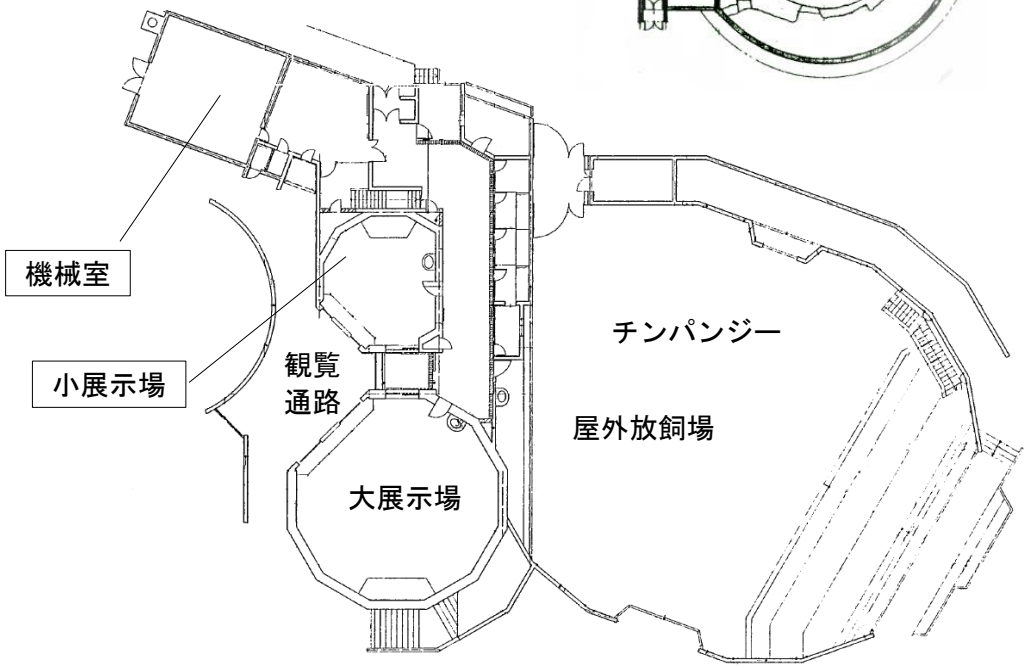
モンキーハウス



ホッキョクグマ館
（旧世界の熊館）

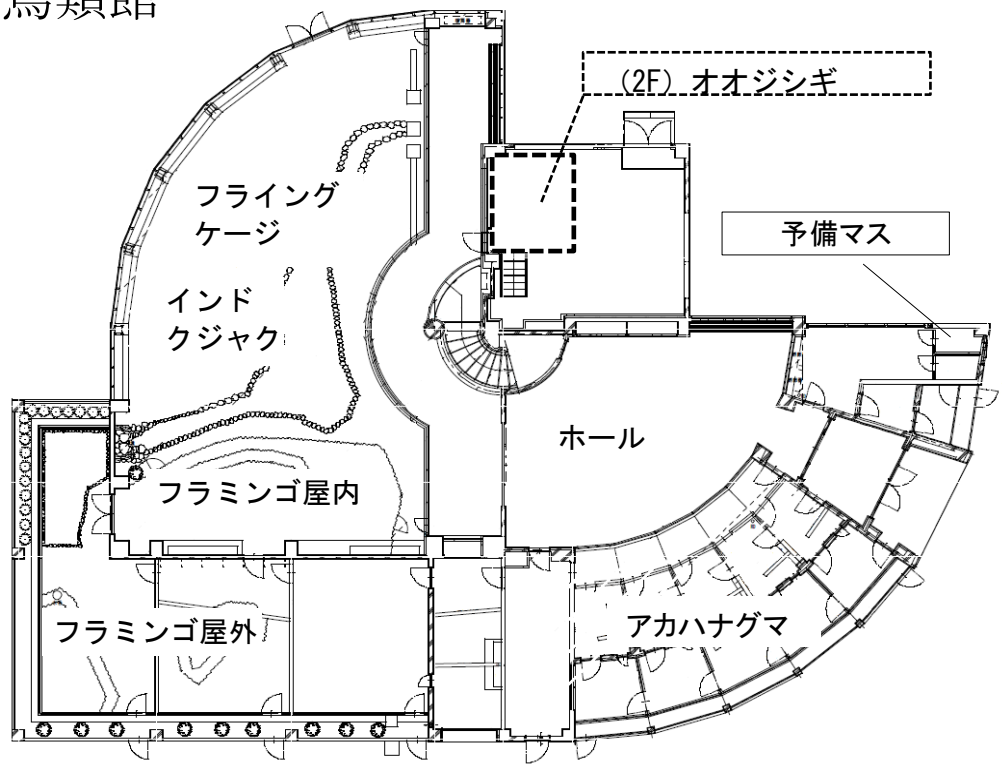


チンパンジー館

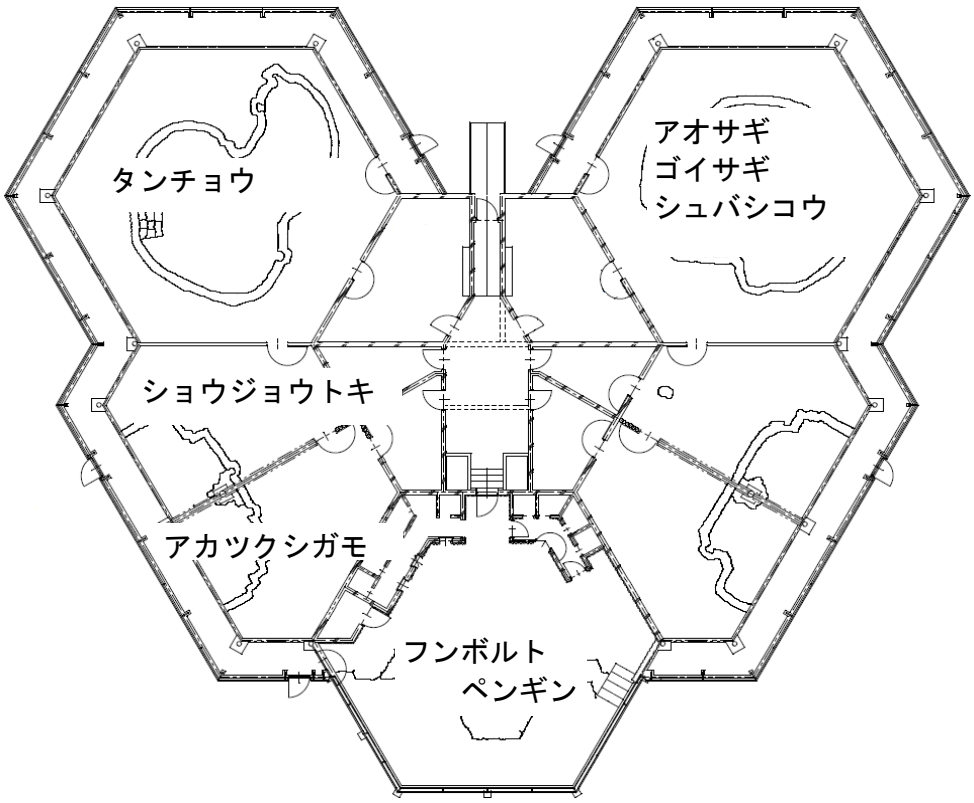


（R6.4.1現在）

熱帯鳥類館

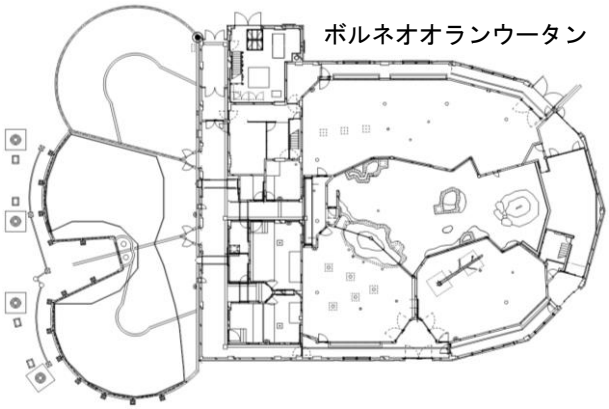


総合水鳥舎

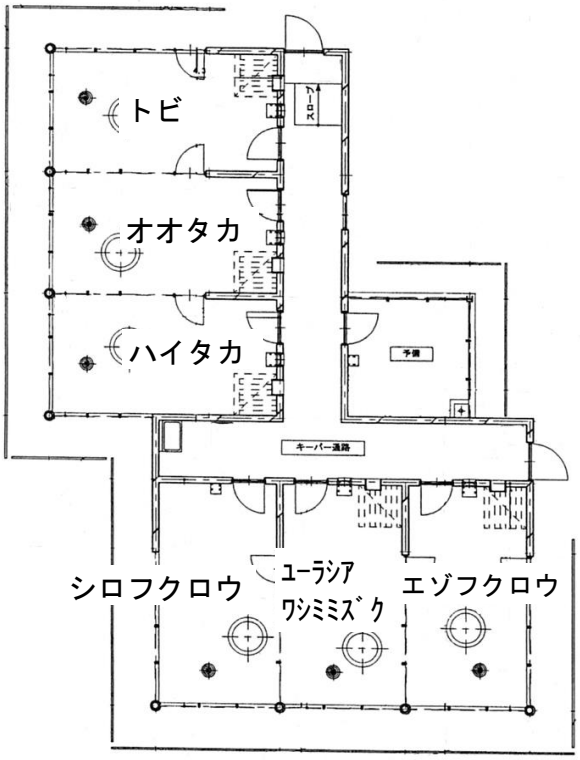


（R6.4.1現在）

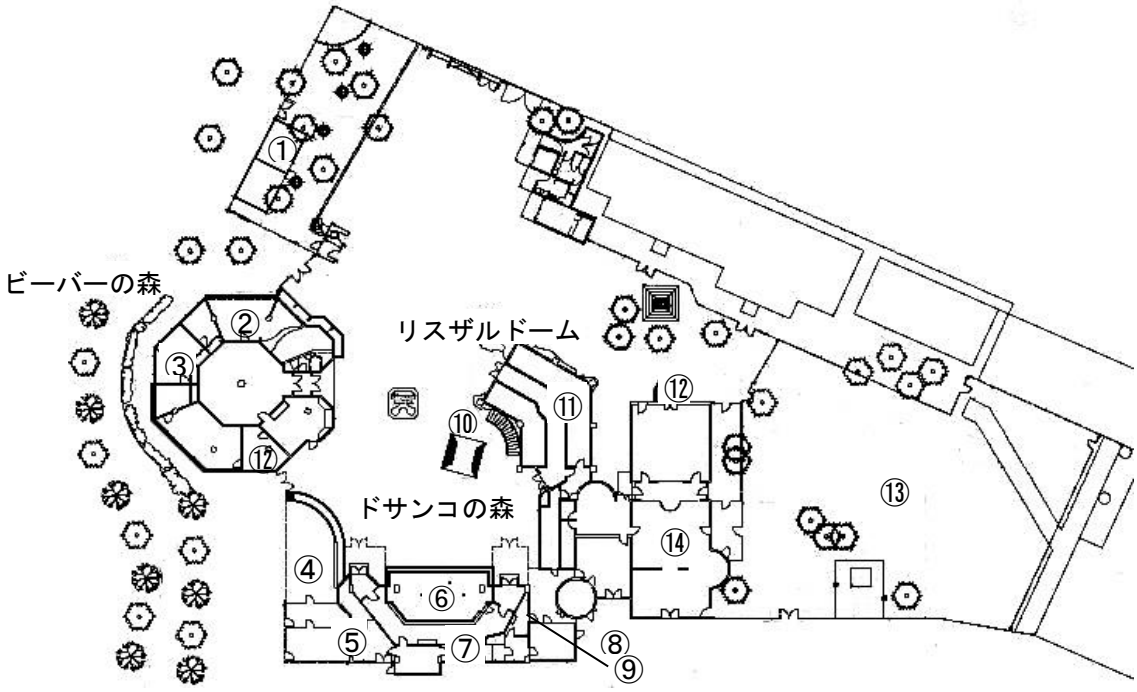
オランウータンと ボルネオの森



フクロウとタカの森



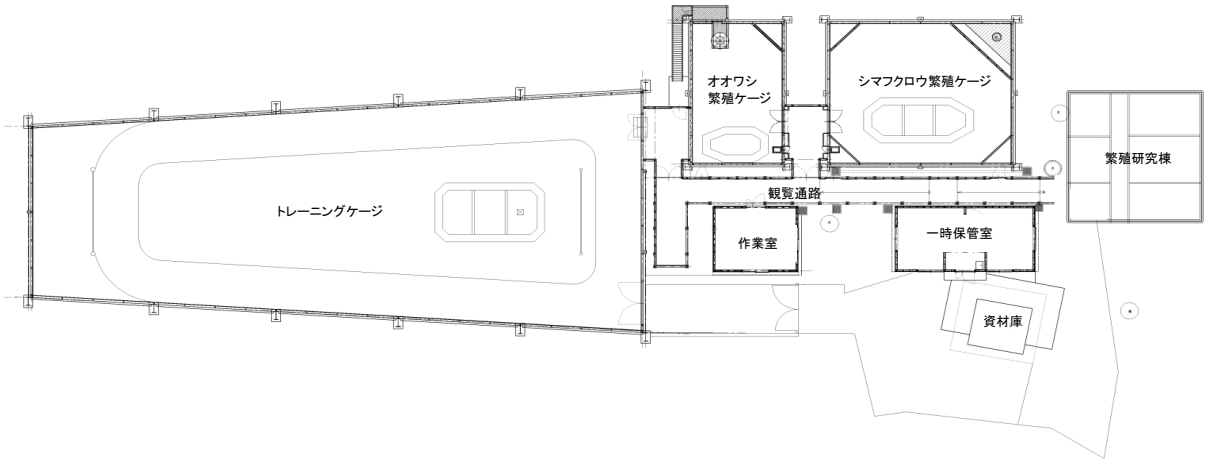
こども動物園



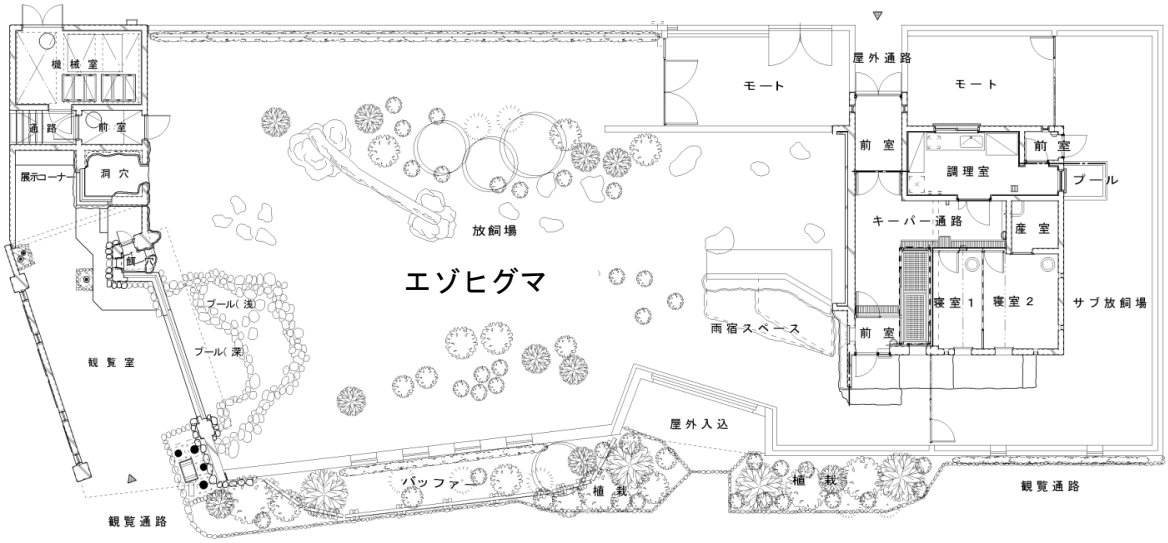
①	ニワトリ	⑧	エゾヤチネズミ
②	コールダック、ガチョウ	⑨	エゾアカネズミ
③	アライグマ	⑩	アメリカビーバー
④	エゾユキウサギ	⑪	リスザル
⑤		⑫	モルモット
⑥	エゾリス	⑬	シェットランドポニー
⑦	エゾモモンガ	⑭	ヒツジ

猛禽類野生復帰施設

（R6.4.1現在）

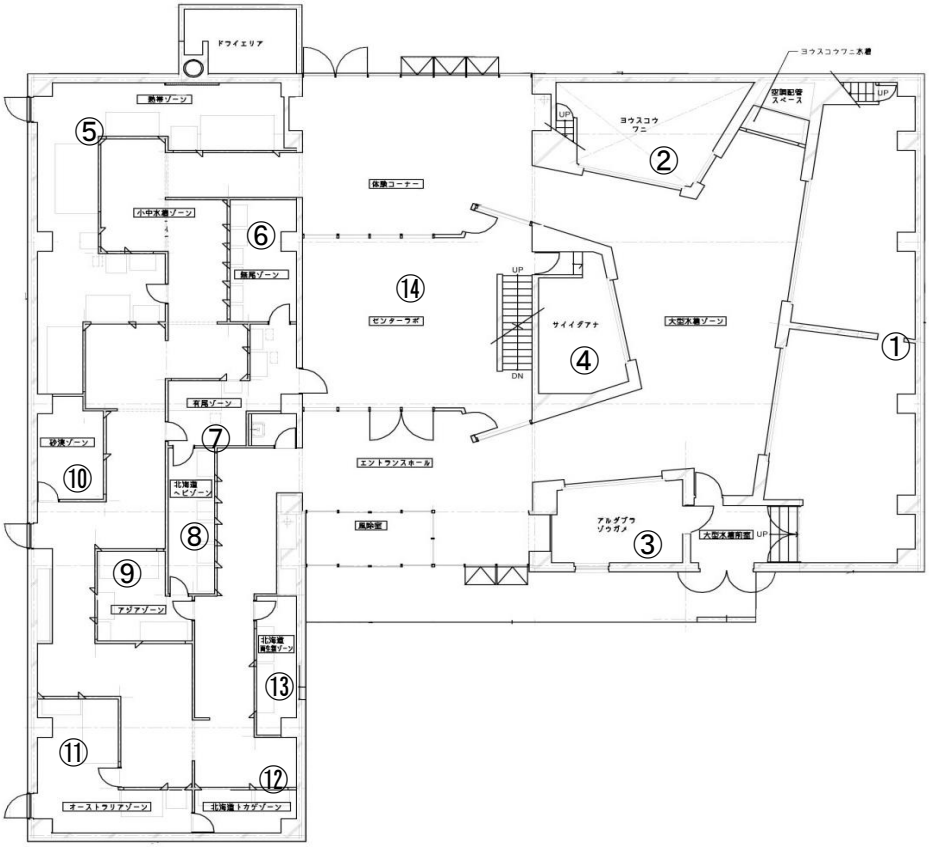


エゾヒグマ館



（R6.4.1現在）

は虫類・両生類館

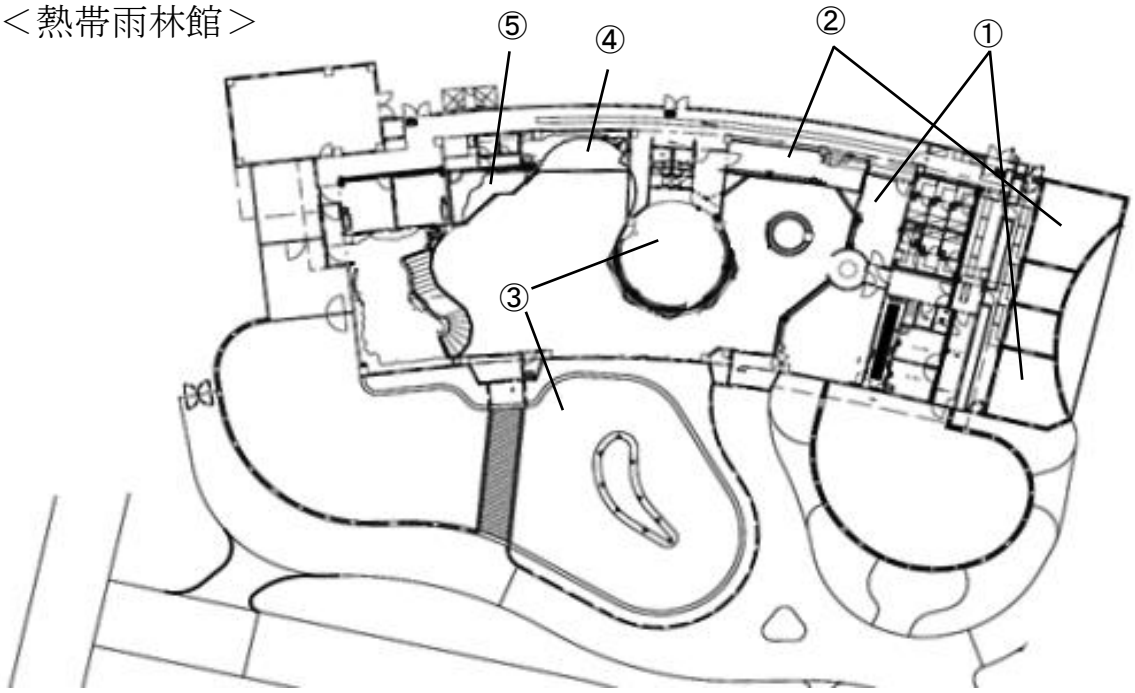


①	ガビアルモドキ	⑨	アジア産は虫類
②	ヨウスコウワニ	⑩	砂漠産は虫類
③	アルダブラゾウガメ	⑪	オーストラリア産は虫類
④	サイイグアナ	⑫	北海道産トカゲ
⑤	熱帯産は虫類	⑬	北海道産両生類
⑥	両生類（無尾類）	⑭	センターラボ
⑦	両生類（有尾類）		
⑧	北海道産ヘビ		

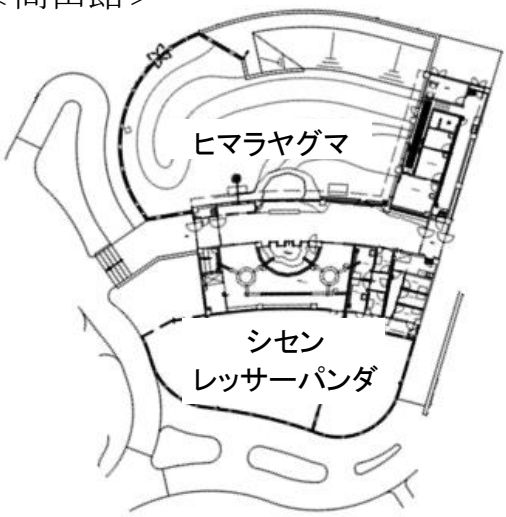
（R6.4.1現在）

アジアゾーン

＜熱帯雨林館＞



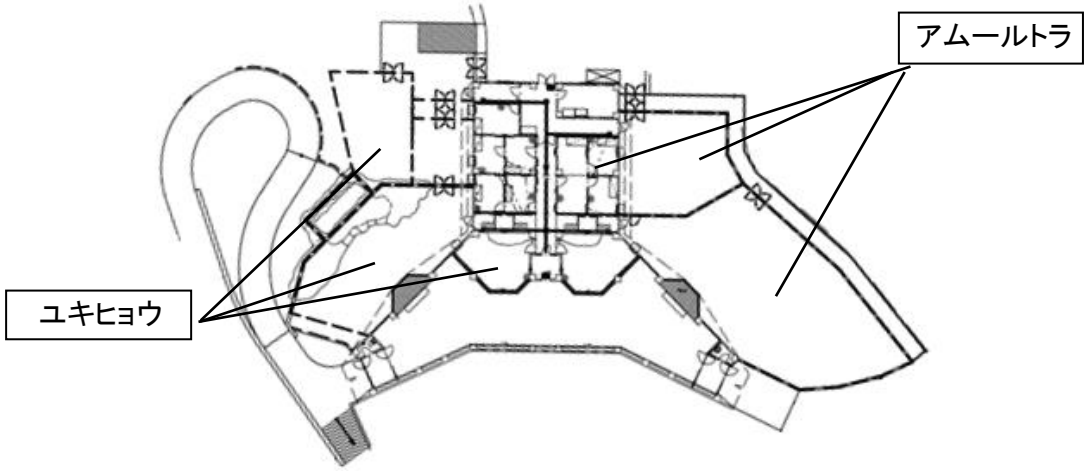
＜高山館＞



熱帯雨林館

①	シシオザル
②	クロザル、テナガザル
③	シロテテナガザル
④	コツメカワウソ
⑤	

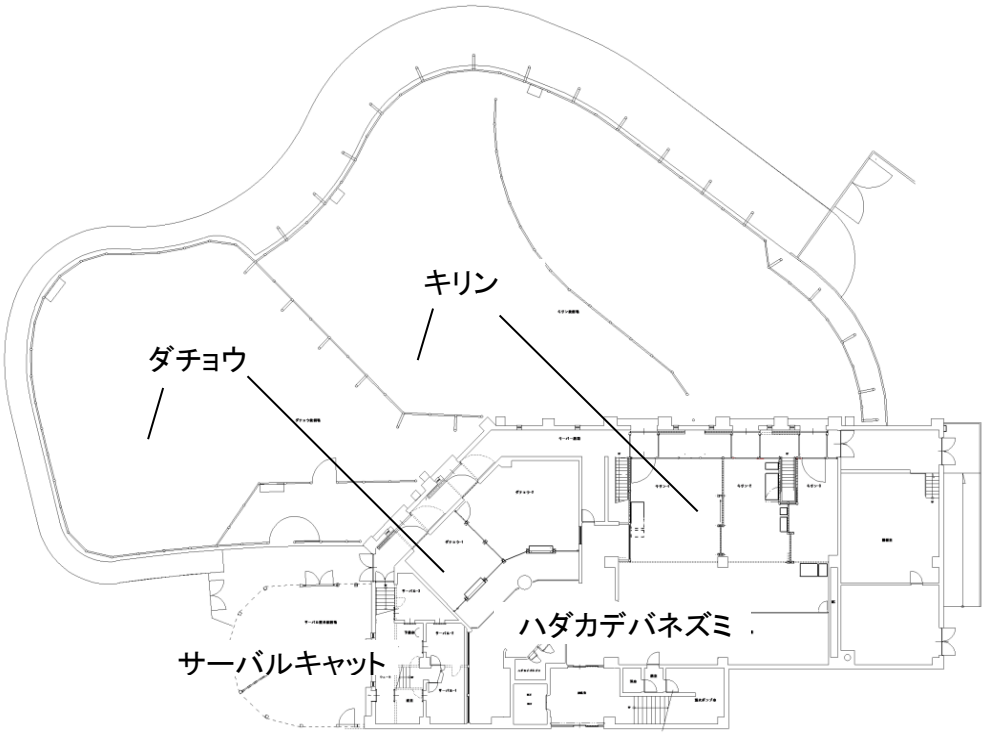
＜寒帯館＞



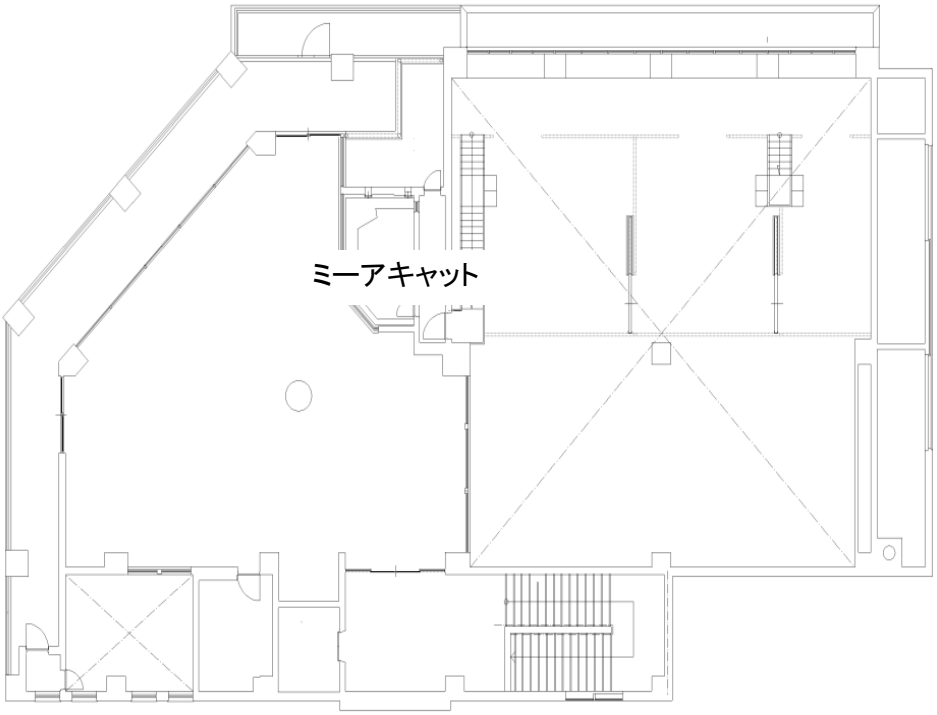
（R6.4.1現在）

アフリカゾーン

＜キリン館1階＞

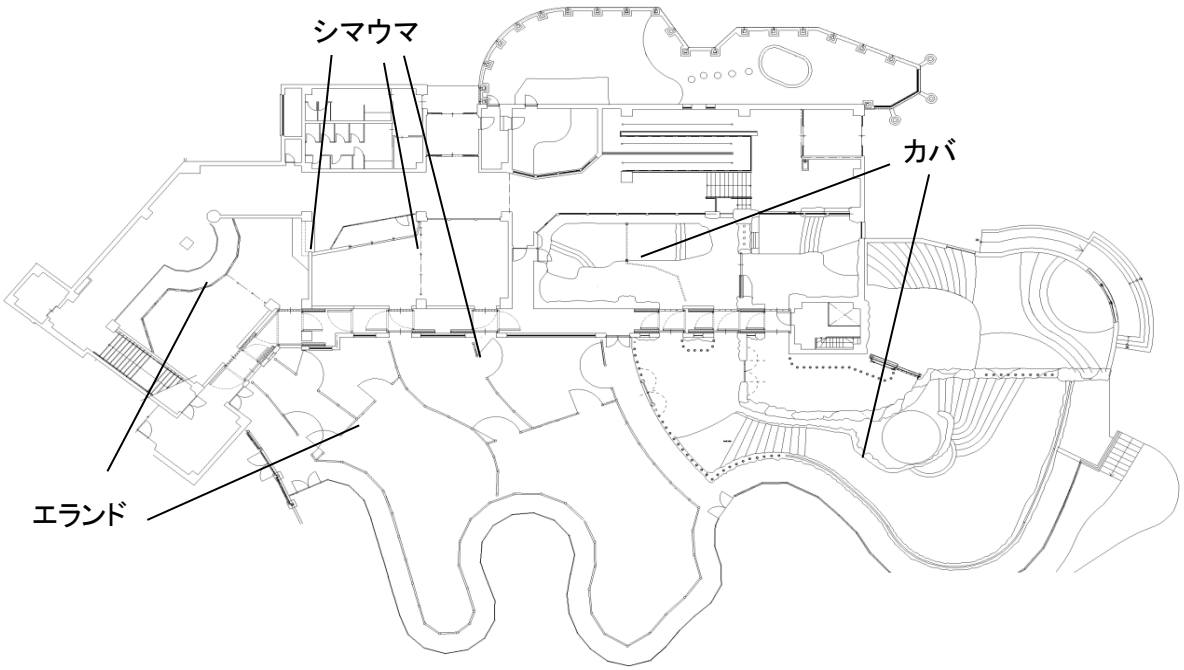


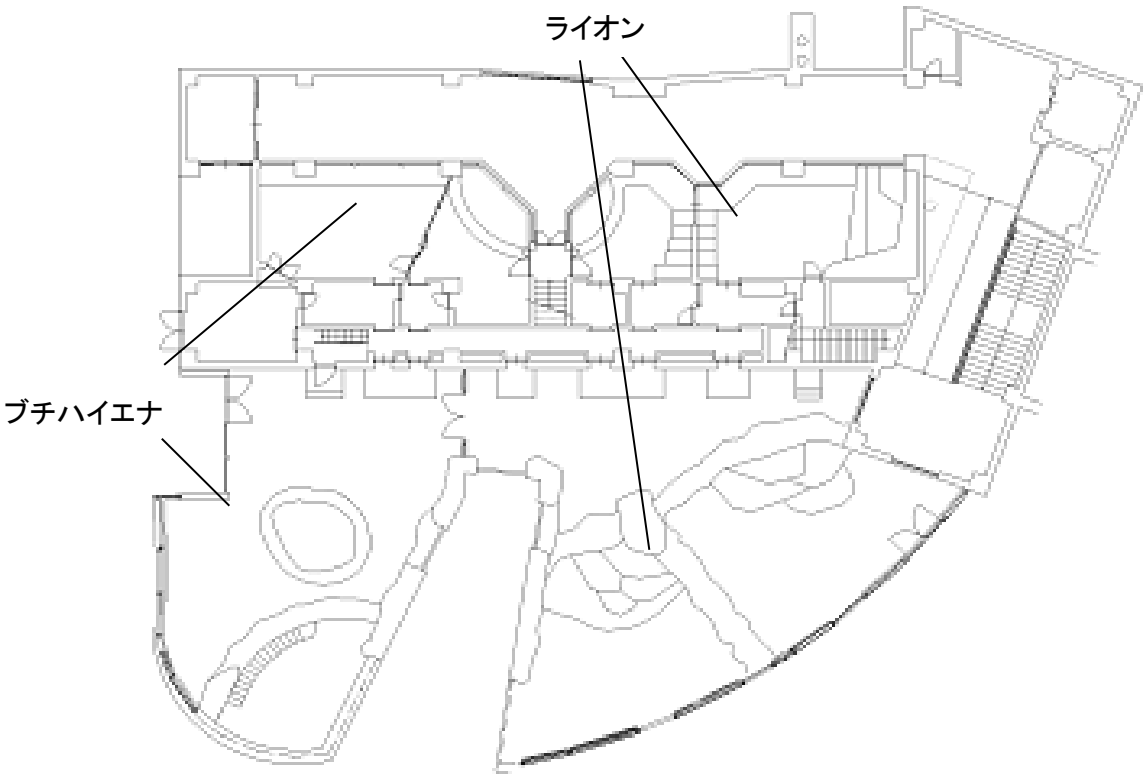
＜キリン館2階＞



（R6.4.1現在）

＜カバ・ライオン館＞



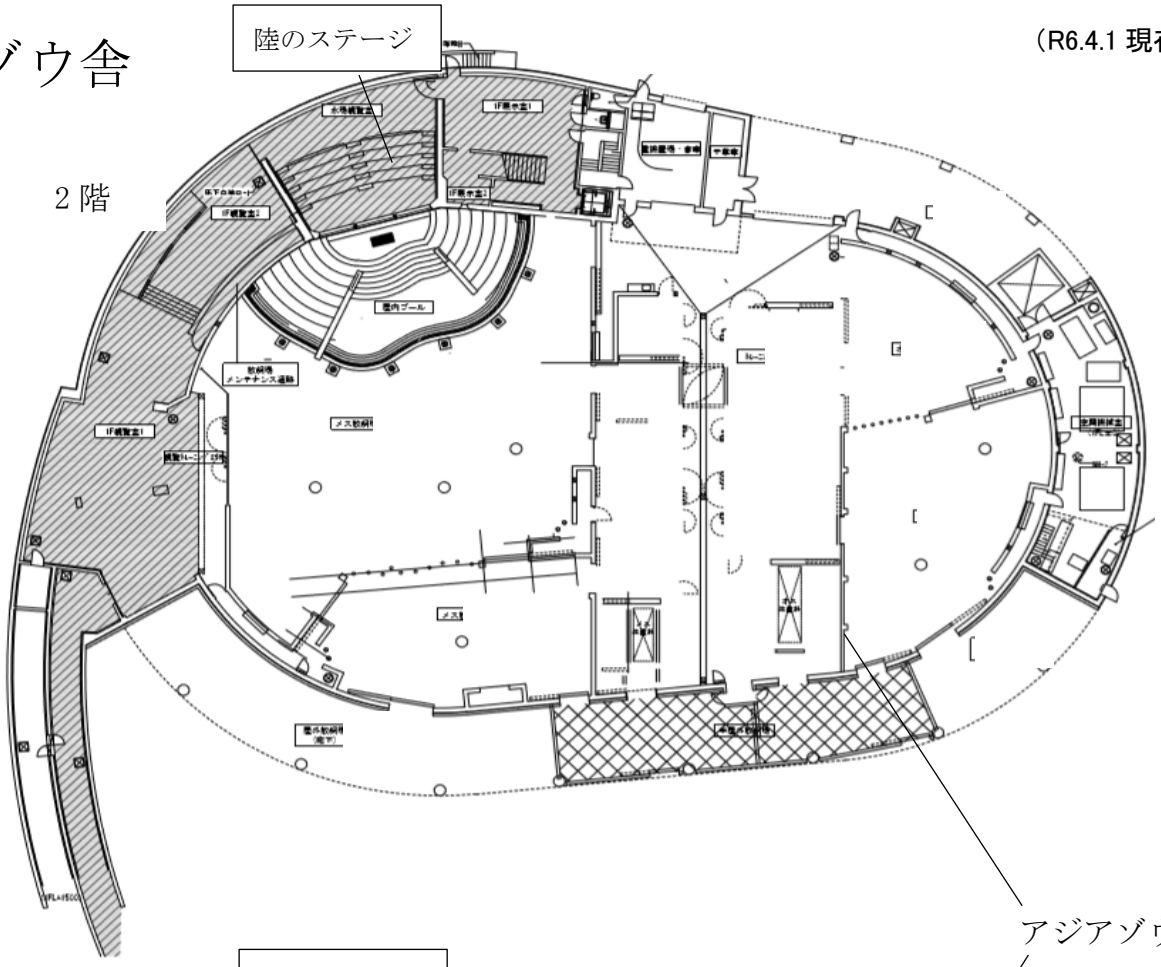


ゾウ舎

（R6.4.1 現在）

陸のステージ

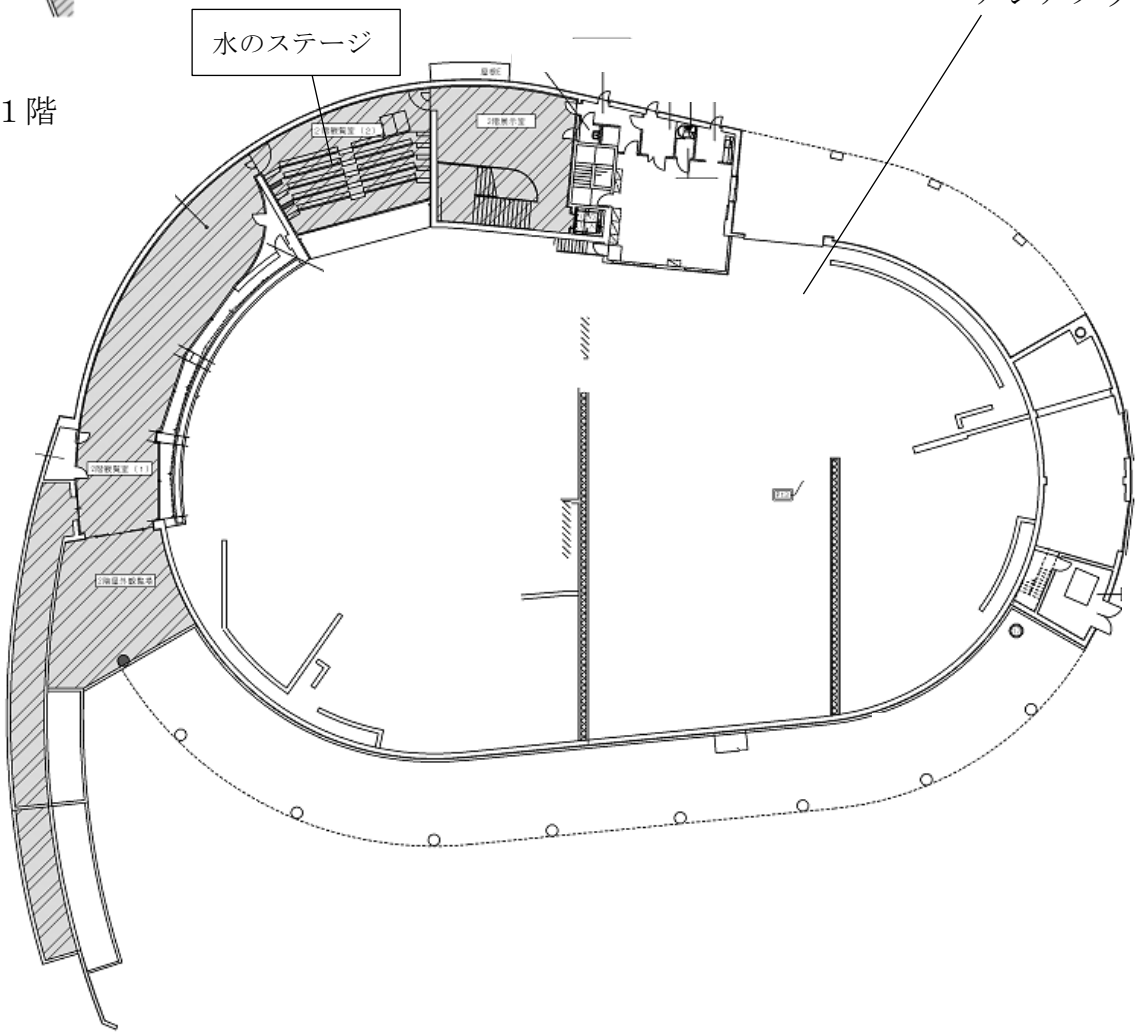
２階



アジアゾウ

水のステージ

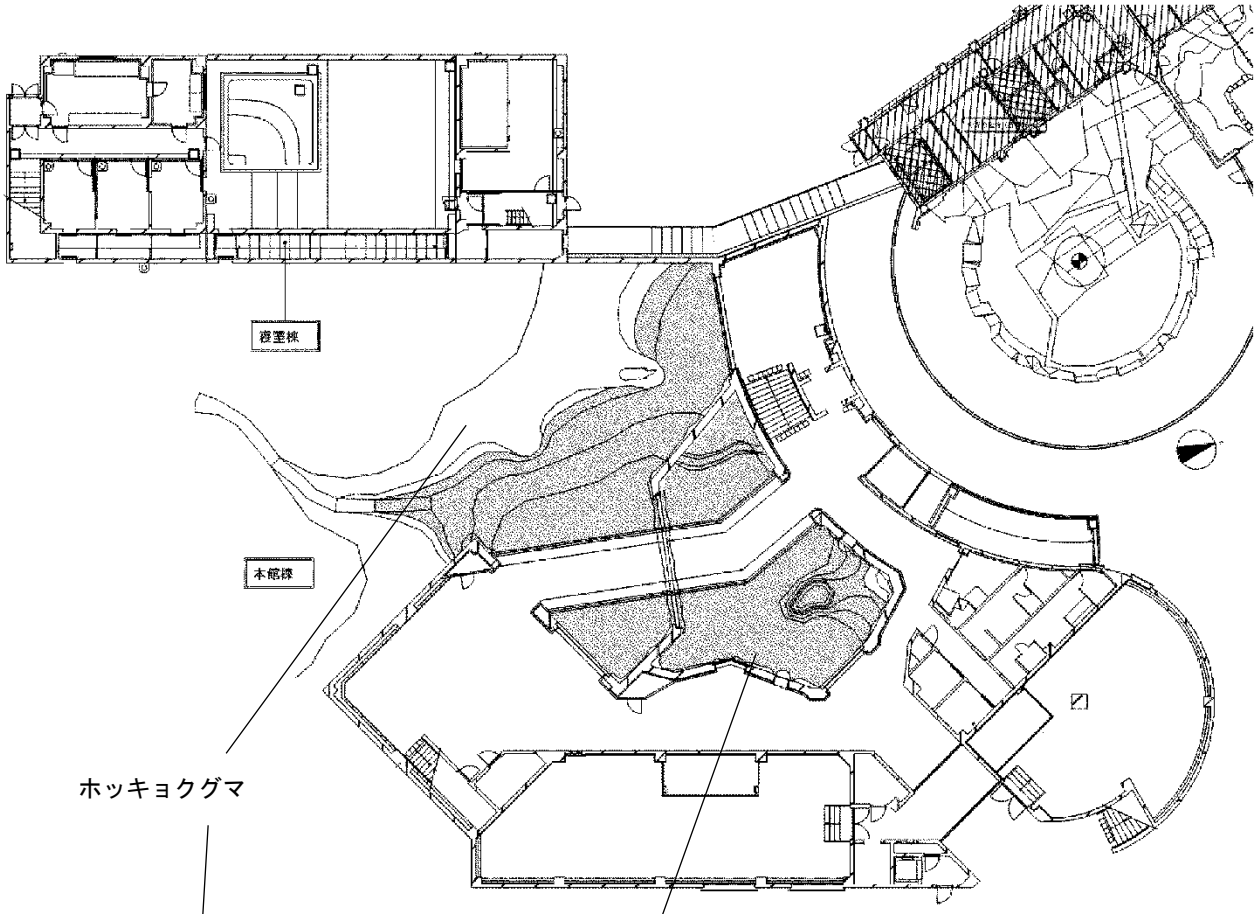
１階



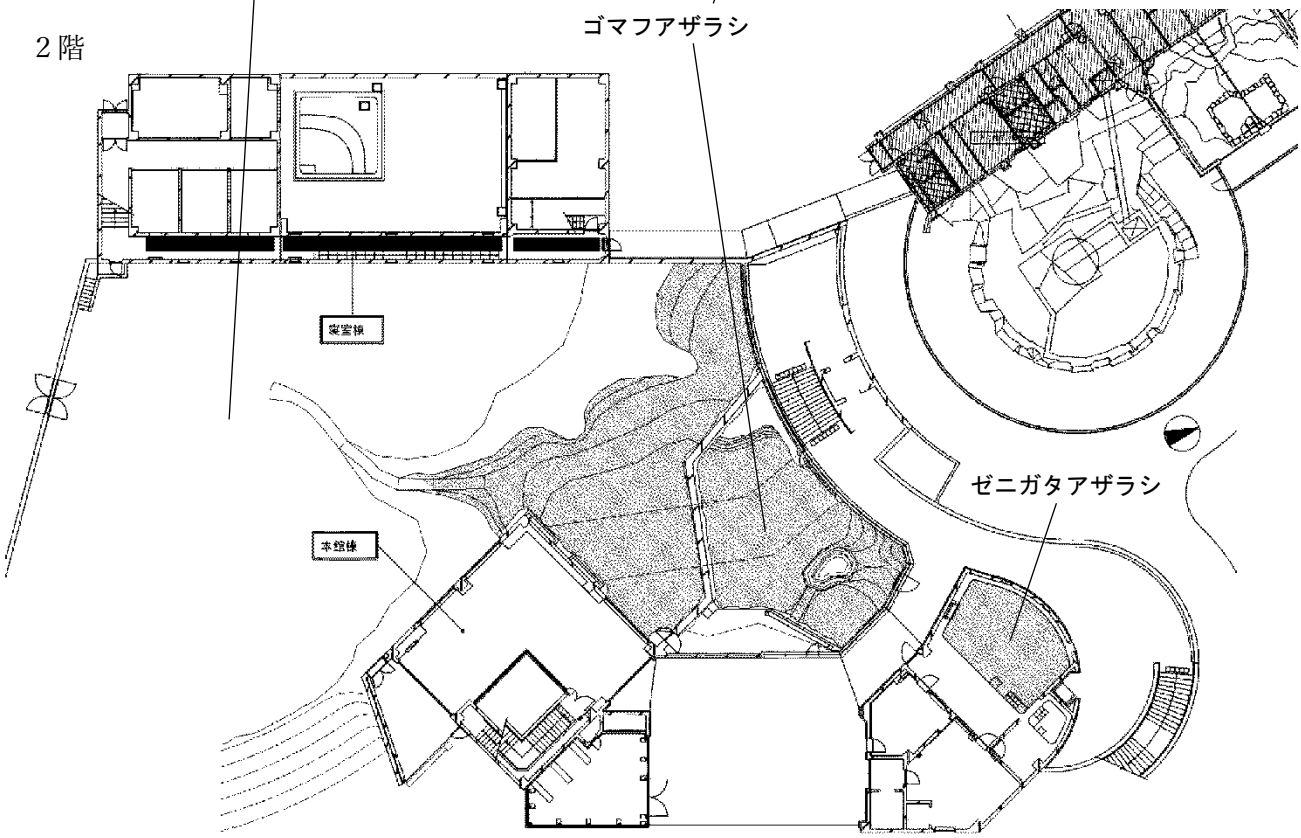
ホッキョクグマ館（新館）

（R6.4.1 現在）

1階



2階



管理施設一覧

(R6.4.1)

名　　称	構　　造	面　積	取得	年度	取得価格	備　　考
屋外ステージ	木　　造	168.55 ㎡	建設	昭46	4,950,000 円	
屋外キュービクル	鉄骨鋼板張り	1箇所	〃	46	2,210,000 円	
国旗掲揚塔	鋼管ポール	1箇所	〃	46	140,000 円	
飼料貯蔵庫	鉄　骨　造	121.00 ㎡	〃	49	9,717,400 円	H28屋上防水改修
管理倉庫	木造モルタル	62.37 ㎡	〃	52	6,720,000 円	
乾草倉庫	軽量鉄骨	181.00 ㎡	〃	53	4,100,000 円	
トラクター車庫	鉄　　骨	18.15 ㎡	〃	54	380,000 円	
高圧受電室	鉄筋コンクリート	54.00 ㎡	〃	54	22,909,000 円	
ボランティア控室	木造モルタル	137.70 ㎡	〃	54	18,758,000 円	
汚水調整槽	鉄筋コンクリート	1箇所	〃	55	14,778,000 円	300㎡
飼育第三倉庫	軽量鉄骨	77.76 ㎡	〃	59	8,786,000 円	
総合倉庫	鉄骨一部鉄筋コン	393.66 ㎡	〃	60	36,229,000 円	
通用門詰所	木造モルタル	7.29 ㎡	改築	60	994,000 円	25年建設
生ごみ集積場	木　　造	8.10 ㎡	建設	60	913,000 円	
受水槽		1箇所	〃	61	25,119,000 円	
2号受水槽室	軽量鉄骨	164.03 ㎡	〃	61	11,350,000 円	
ボイラー倉庫	鉄　骨　造	218.00 ㎡	〃	平元	136,000,170 円	
倉庫	鉄　骨　造	149.50 ㎡	〃	2	16,902,300 円	車庫含む
飼料倉庫	鉄筋コンクリート	430.30 ㎡	〃	3	117,164,000 円	
第一レストハウス	鉄　骨　造	280.73 ㎡	〃	4	86,701,000 円	
倉庫（作業所）	軽量鉄骨	49.90 ㎡	所管換	5	1,745,000 円	
管理棟（西門）	鉄筋コンクリート	117.62 ㎡	建設	7	66,603,500 円	
受水槽		1箇所	〃	9	160,629,900 円	園内埋設給水管含む
1号受水槽室	鉄　骨　造	171.11 ㎡	〃	9	24,580,500 円	
動物園ｾﾝﾀｰ附属棟	鉄筋コンクリート	161.52 ㎡	〃	9	66,298,650 円	
展望レストハウス	鉄筋コンクリート	290.00 ㎡	〃	17	113,050,350 円	
西門イベントハウス	鉄　骨　造	339.24 ㎡	寄附	22	0 円	札幌振興公社より寄付
ｵﾌｨｼｬﾙｽﾃｰｼｮﾝ	鉄　骨　造	227.39 ㎡	〃	22	0 円	札幌振興公社より寄付
糞尿処理施設	鉄　骨　造	51.88 ㎡	建設	24	36,168,400 円	
高山館裏物置	鉄　骨　造	19.27 ㎡	〃	24	1,089,600 円	
キリン館横物置	鉄　骨　造	8.19 ㎡	〃	28	2,991,600 円	
ﾊﾞｲｵ発酵処理施設	鉄筋コンクリート	464.77 ㎡	〃	令元	488,891,992 円	
乾草庫	鉄　骨　造	108.00 ㎡	〃	4	46,257,039 円	
計	２８棟・５箇所	4,481.03 ㎡			1,533,127,401 円	

動物施設一覧

(R6.4.1)

名称	構造	面積	取得	年度	取得価格	備考
ワシ舎	鉄骨造	72.00 ㎡	建設	昭39	774,000 円	１号動物舎
ｵﾗﾝｳｰﾀﾝとﾎﾞﾙﾈｵの森（屋外放飼場）	鉄骨造 一部鉄筋コンクリート	482.42 ㎡	〃	52	64,202,344 円	36号動物舎 H23増築
猛禽舎	鉄骨造	314.48 ㎡	〃	53	21,977,000 円	37号動物舎
ホッキョクグマ館（旧世界の熊館）	鉄筋コンクリート	1,641.12 ㎡	〃	54	231,000,000 円	39号動物舎
モンキーハウス	鉄筋コンクリート	580.09 ㎡	〃	59	192,065,000 円	16号動物舎 H23増築
総合水鳥舎	鉄骨・金網檻	705.07 ㎡	〃	61	100,841,500 円	44号動物舎　H22増築
カンガルー館	鉄筋コンクリート	367.13 ㎡	〃	平元	192,047,748 円	H24増築 H29改修
こども動物舎	鉄筋コンクリート	434.44 ㎡	〃	2	173,239,700 円	拡張
シカ・トナカイ放養場調理室	木造（ﾛｸﾞﾊｳｽ）	11.52 ㎡	〃	5	5,374,000 円	
熱帯鳥類館	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	842.92 ㎡	〃	7	710,022,656 円	H23増築
チンパンジー館	鉄筋コンクリート	455.28 ㎡	〃	12	371,571,450 円	
フクロウとタカの森	壁式鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造／平屋建	186.55 ㎡	〃	14	40,114,750 円	
リスザルドーム	鉄筋コンクリート	120.50 ㎡	〃	15	132,274,000 円	40号動物舎
ふれあい用教室	鉄筋コンクリート	86.00 ㎡	改築	16	59,607,000 円	
ｴｿﾞｼｶ・ｵｵｶﾐ舎	鉄骨造	597.06 ㎡	建設	19	129,515,000 円	
ﾆﾜﾄﾘｳｻｷﾞ小屋舎	木造	32.40 ㎡	〃	19	51,700,000 円	
ザリガニ小屋	木造	48.20 ㎡	〃	20	10,182,900 円	
猛禽類野生復帰施設一時保管庫	木造	40.50 ㎡	〃	21	7,274,658 円	
猛禽類野生復帰施設作業室	木造	24.30 ㎡	〃	21	4,340,843 円	
野生復帰施設繁殖研究棟	鉄骨造	118.81 ㎡	〃	26	27,651,330 円	
猛禽類野生復帰施設トレーニングケージ	鉄骨造	580.00 ㎡	〃	21	78,975,048 円	
猛禽類野生復帰施設ｵｵﾜｼ繁殖ケージ	鉄骨造	60.00 ㎡	〃	21	22,397,277 円	
猛禽類野生復帰施設ｼﾏﾌｸﾛｳ繁殖ケージ	鉄骨造	120.00 ㎡	〃	21	27,444,309 円	
エゾヒグマ館	鉄筋コンクリート	677.45 ㎡	〃	21	141,649,200 円	
は虫類・両生類館	鉄筋コンクリート	645.00 ㎡	〃	23	426,125,700 円	
寒帯館	鉄筋コンクリート	1,166.09 ㎡	〃	24	321,407,000 円	
高山館	鉄筋コンクリート	951.87 ㎡	〃	24	279,711,450 円	
熱帯雨林館	鉄筋コンクリート	1,468.92 ㎡	〃	24	597,574,950 円	
カバ・ライオン館	鉄筋コンクリート	3,240.61 ㎡	〃	27	1,061,298,497 円	
キリン館	鉄筋コンクリート	2,222.82 ㎡	〃	27	531,650,053 円	
ホッキョクグマ館（新館）	鉄筋コンクリート	2,991.70 ㎡	〃	29	2,100,615,599 円	
ゾウ舎	鉄筋コンクリート	6,477.51 ㎡	〃	30	2,909,314,308 円	
ｵﾗﾝｳｰﾀﾝとﾎﾞﾙﾈｵの森（屋内施設）	鉄筋コンクリート	1,347.69 ㎡	〃	令5	1,219,070,866 円	
計	32棟	29,110.45 ㎡			12,243,010,136 円	

教育等施設

名称	構造	面積	取得	年度	取得価格	備考
動物科学館	鉄筋コンクリート	922.48 ㎡	建設	平2	404,306,500 円	
動物園センター	鉄筋コンクリート	1,218.43 ㎡	〃	9	596,780,500 円	
園内動物病院	鉄筋コンクリート	369.95 ㎡	〃	17	177,244,200 円	
計	３　棟	2,510.86 ㎡			1,178,331,200 円	

便益施設

名称	構造	面積	取得	年度	取得価格	備考
公衆電話ボックス	ガラス張	１箇所	建設	平3	0 円	身障者用ＮＴＴ設置
多目的トイレ	鉄筋コンクリート	72.86 ㎡	〃	16	37,149,000 円	
こども動物園ﾄｲﾚ棟	木造	49.00 ㎡	〃	19	16,115,000 円	
ﾓﾝｷｰﾊｳｽ横ﾄｲﾚ棟	鉄筋コンクリート	54.52 ㎡	〃	22	41,869,650 円	
は虫類館横ﾄｲﾚ棟	鉄筋コンクリート	55.90 ㎡	〃	23	62,082,300 円	
計	４棟・１箇所	232.28 ㎡			157,215,950 円	

Ⅲ 主な行事と広報活動

１　令和５年度の主な行事

名称および日時	内　　容
4月23日 **円山動物園ボランティア及び森のボランティア活動開始式及び表彰状贈呈式**	円山動物園ボランティア及び森のボランティアの登録証交付兼任命式を実施
4月15日～23日 **「飼育の日」に係る展示**	「飼育の日」（４月19日）にちなんで、動物の飼育について学ぶことができるクイズイベントを実施
4月15日～16日 **環境広場ほっかいどう2023への出展**	どうぶつ足あとクイズ、動物園条例紹介動画放映
4月29日～5月9日 **写真展：オランウータンがすむ森～ボルネオの自然とヒト～**	オランウータンの生息地であるボルネオ島に生息する野生動植物や自然環境、文化、改築中のオランウータン館のコンセプト等を紹介する写真展、トークイベント
5月1日～21日 **アースデイ絵画コンクール展示会**	アースデイin円山動物園の実施に際して行った絵画コンクールの展示会。テーマ：「豊かな自然の中で生きる動物」
5月20日～21日 **第17回アースデイin 円山動物園**	円山動物園を会場として「地球のことを考え行動する」をテーマにした物販とパネル展示。開催テーマ：「気候変動対策～私たちにできること～」
5月30日 **北海道コカ・コーラボトリング寄付金贈呈式**	北海道コカ・コーラボトリング株式会社より、動物園内の売上の一部を寄付金として贈呈
6月6日～11日 **ヒツジの日特別展**	羊に関するパネル展、羊毛フェルト制作の実演、特別ガイド、クイズ
6月11日 **トヨペット植樹式**	札幌トヨペット株式会社より、アジアゾーン高山館横の植栽の贈呈
7月7日～23日 **世界チンパンジーの日イベント**	生息地や生態についてのパネル展示
7月15日～17日、8月7日～9日 **子どもの一日飼育係**	（昭和44年度から実施） 市内・近郊の小学４年生～６年生を対象に、動物園の飼育業務を通じて、動物園の魅力や役割を伝えるイベント
7月16日 **モルモット感謝の日ワークショップ**	モルモットのフィーダーの作成、エサ詰め体験
7月17日 **シロクマキャンペーン**	発泡スチロール協会の協力で、ホッキョクグマへ活魚のプレゼントを実施
7月17日～8月13日 **道みんの日特別企画展**	北海道みんなの日（道民の日）(7月17日)にちなんで、北海道に住む動物に関するパネル展示及び特別ガイド、ワークショップの実施
7月26日 **動物福祉の日**	職員の動物福祉に関する研修会の実施、円山動物園における動物福祉の取り組み事例を放映（8月11日～31日）
7月28日～8月6日 **夏の特別企画展**	生体や標本・パネルの企画展示、スタンプラリーや学習プログラム等を実施
7月29日～8月27日 **コウモリフェスティバルプレ展示**	コウモリの体のつくりや新型コロナウイルスとの関係などのパネル展示
8月3日 **コープさっぽろ協賛金贈呈式**	コープさっぽろより、協賛金の贈呈
8月4日 **ホッキョクグマに氷のプレゼント**	暑い夏を快適に過ごせるように、ホッキョクグマに氷をプレゼント
8月4日 **コウモリ観察会**	北大植物園にてコウモリを観察
8月26日～27日 **コウモリフェスティバル**	生態等に関する研究や保護活動などについての講演会、北大植物園にてコウモリを観察

8月27日 **南幌町野菜贈呈式**		札幌市まちづくり政策局のさっぽろ連携中枢都市圏連携事業として、南幌町から野菜の贈呈
9月10日 **zooポラまつり**		円山動物園ガイドボランティアによるイベント
9月16日～24日 **実りの秋イベント**		動物の食に着目したガイド、特別給餌や園内樹木の解説等の実施
9月21日 **動物慰霊祭**		令和4年9月１日から令和5年8月31日までの1年間に当園で飼育展示中に死亡した動物の慰霊祭 （昭和50年度から実施）
9月24日～10月22日 **第51回円山動物園幼児･児童動物画ｺﾝｸｰﾙ入選作品展示**		コンクール入選作品（市長賞・教育長賞・円山動物園長賞・金賞・銀賞・銅賞・佳作）を展示
9月24日 **第51回幼児･児童動物画コンクール表彰式**		市内に住む小学生以下の児童から応募のあった633点の中から選ばれた入選者への表彰
10月1日 **札幌！カムイかんきょう会議**		子どもたちが動物の立場にたって環境問題や人間と動物との共生について考える体験型ワークショップ
10月14日～15日 **自然とキノコ展～自然界のキノコの役割とキノコの生活～**		野生動物のすみかである森林と関係し、生態系の分解者の役割を持つ「キノコ」をテーマとした実物及びパネル展
10月16日～31日 **世界ユキヒョウの日イベント**		ユキヒョウの生態や生息地等に関するポスター、生息地の伝統品・民族衣装の展示、トークイベント
10月28日～29日、11月4日～5日 **円山Z00ナイトツアー**		夜の動物の生態を観察するため、夜行性動物を中心に、飼育員が夜の動物について解説しながら閉園後の園内を巡るツアーを実施
12月9日～1月8日 **干支の特別展示**		2024年の干支である【辰】に関し 、「竜に九似あり」という言葉から関連する動物についてパネルの展示を実施。クイズラリー
12月14日 **ユニフォーム寄付贈呈式**		市内の協賛企業等からユニフォームの贈呈
1月5日～9日 **夏休み自然観察記録コンクール入選作品展示会**		子どもたちが身の回りの自然を見て作文や絵にしたものを展示
1月13日～2月9日 **海鳥展**		海鳥に関するパネルや実寸大ぬいぐるみ、骨格標本や剥製の展示、立体模型などをによる海鳥の繁殖地の環境の紹介。講演会
2月4日～11日 **スノーフェスティバル2024**		冬期間に活動的になる動物種、季節によって身体の特徴や生態が変化する動物種及び温暖な地域に生息する動物の当園での冬期間の過ごし方等を発信
2月23日～24日 **国際ホッキョクグマの日の特別イベント**		ホッキョクグマを飼育している4園館（天王寺動物園、静岡市立日本平物園、札幌市円山動物園、よこはま動物園ズーラシア）とShoeZの合同イベントとして、生態や生息地の状況等を解説
3月3日～17日 **西岡公園自然調査報告展**		西岡公園ヤンマ団・サカナ組による調査・研究の展示
広報	○円山動物園だより	年4回発行（7,9,12,3月）
	○円山動物園リーフレット	随時デザインの変更、外国語版も発行（英語、韓国語、繁体語、簡体語含む）
	○広報さっぽろ	随時
	○円山動物園公式ホームページ	URL:http://www.city.sapporo.jp/zoo/
	○円山動物園公式X	URL:https://X.com/marudou_fan
	○円山動物園公式Instagram	URL:https://www.instagram.com/maruyamazoo_official/
	○円山動物園公式YouTube	URL:https://www.youtube.com/channel/UCBash6sQRx12x_2El-sdP4Q
	○広報番組	「きょうは、円山動物園シーズン5」の製作
貸出教材	○「円山動物園まるごと体験リポート」	飼育作業や動物園の役割などを紹介したビデオ。平成16年制作。21分。
	○「円山動物園に行こう」	円山動物園の紹介ビデオ。2020年制作。約15分。
	○レプリカ	ゾウのフン、トラの足型などのレプリカと教材解説書

２ 令和5年度「円山ZOOガイド」

	名　称	内　　容	体験・観察 遭遇できる場所
1	エゾユキウサギガイド	エゾユキウサギについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園 ドサンコの森
2	世界ウサギの日特別ガイド	ウサギについて、「世界ウサギの日」特別版で飼育員が解説いたします。	こども動物園 ドサンコの森
3	スノーフェスティバル特別版エゾユキウサギガイド	エゾユキウサギについて、スノーフェスティバル特別版で飼育員が解説いたします。	こども動物園 ドサンコの森
4	リスザルガイド	リスザルについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園 リスザルドーム
5	リスザルのお食事ガイド	飼育員の解説を聞きながら、リスザルの食事風景をご覧いただけます。	こども動物園 リスザルドーム
6	実りの秋特別 リスザルガイド	リスザルについて、実りの秋特別版で飼育員が解説いたします。	こども動物園 リスザルドーム
7	アライグマガイド	アライグマについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園 ビーバーの森
8	ウマ(シェトランドポニー) ガイド	シェトランドポニーについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園
9	ビーバーガイド	ビーバーについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園 ビーバーの森
10	ヒツジガイド	ヒツジについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園
11	エゾタヌキのお食事ガイド	飼育員の解説を聞きながら、エゾタヌキの食事風景をご覧いただけます。	カンガルー館
12	スノーフェスティバル特別版エゾタヌキガイド	エゾタヌキについて、スノーフェスティバル特別版で飼育員が解説いたします。	カンガルー館
13	ガチョウとコールダックガイド	ガチョウとコールダックについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園
14	コールダックガイド	コールダックについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園
15	カイコのガイド	カイコについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園 ビーバーの森屋内
16	アジアゾウガイド	アジアゾウについて、飼育員が解説いたします。	ゾウ舎
17	世界ゾウの日特別ガイド	アジアゾウについて、「世界ゾウの日」特別版で飼育員が解説いたします。	ゾウ舎　屋外
18	アジアゾウ枝給餌ガイド	コープさっぽろ様からいただいた枝を給餌しながら、アジアゾウについて飼育員が解説いたします。	ゾウ舎屋内 陸のステージ
19	ニホンザルのお食事ガイド	飼育員の解説を聞きながら、ニホンザルの食事風景をご覧いただけます。	サル山
20	「世界ニホンザルの日」 特別ガイド	「世界ニホンザルの日」特別版で飼育員の解説を聞きながら、ニホンザルの食事風景をご覧いただけます。	サル山
21	スノーフェスティバル特別版ニホンザルガイド	スノーフェスティバル特別版で飼育員の解説を聞きながら、ニホンザルの食事風景をご覧いただけます。	サル山

名　称		内　　容	体験・観察 遭遇できる場所
22	コウモリガイド	コウモリについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園 ドサンコの森　屋内
23	エゾヒグマガイド	エゾヒグマについて、飼育員が解説いたします。	エゾヒグマ館
24	実りの秋特別 エゾヒグマガイド	エゾヒグマについて、実りの秋特別版で飼育員が解説いたします。	エゾヒグマ館
25	オオムラサキガイド	飼育員と一緒に動物園の森など園内を散策しながら、 生息する日本の国蝶「オオムラサキ」を観察します。	動物園センター
26	は虫類・両生類ガイド	は虫類・両生類館にいる動物たちについて、飼育員が解説いたします。	は虫類・両生類館
27	実りの秋特別 は虫類・両生類ガイド	は虫類・両生類館にいる動物たちについて、実りの秋特別版で飼育員が解説いたします。	は虫類・両生類館
28	「世界カメの日」特別ガイド	カメについて、「世界カメの日」特別版で飼育員が解説いたします。	は虫類・両生類館
29	ワニのガイド	ガビアルモドキやヨウスコウワニについて、飼育員が解説いたします。	は虫類・両生類館
30	「世界ワニの日」特別ガイド	ワニについて、「世界ワニの日」特別版で飼育員が解説いたします。	は虫類・両生類館
31	二ホンザリガニガイド	二ホンザリガニについて、飼育員が解説いたします。	動物園センター 情報ホール
32	熱帯鳥類館ガイド	熱帯鳥類館で飼育している動物たちについて、飼育員が解説いたします。	熱帯鳥類館
33	熱帯鳥類館のお食事ガイド	飼育員の解説を聞きながら、熱帯鳥類館で飼育している動物たちの食事風景をご覧いただけます。	熱帯鳥類館
34	フラミンゴガイド	ベニイロフラミンゴとチリーフラミンゴについて、飼育員が解説いたします。	熱帯鳥類館
35	オオジシギガイド	オオジシギについて、飼育員が解説いたします。	熱帯鳥類館２階
36	オオワシガイド	オオワシについて、飼育員が解説いたします。	猛禽舎
37	シマフクロウガイド	シマフクロウについて、飼育員が解説いたします。	猛禽舎
38	フクロウとタカの森ガイド	フクロウとタカについて、飼育員が解説いたします。	フクロウとタカの森
39	国際フクロウ啓発デー特別ガイド	フクロウについて、国際フクロウ啓発デー特別版で飼育員が解説いたします。	フクロウとタカの森
40	野生復帰施設ガイド	猛禽類の繁殖や研究を行っている非公開施設、「猛禽類野生復帰施設」へ特別にご案内いたします。	猛禽類野生復帰施設
41	アカハナグマガイド	アカハナグマについて、飼育員が解説いたします。	熱帯鳥類館
42	アカハナグマのお食事ガイド	飼育員の解説を聞きながら、アカハナグマの食事風景をご覧いらだけます。	熱帯鳥類館
43	チンパンジーガイド	チンパンジーについて、飼育員が解説いたします。	チンパンジー館
44	世界チンパンジーの日特別ガイド	チンパンジーについて、「世界チンパンジーの日」特別版で飼育員が解説いたします。	チンパンジー館

名　称		内　　容	体験・観察 遭遇できる場所
45	オオカミガイド	オオカミについて、飼育員が解説いたします。	エゾシカ・オオカミ舎
46	スノーフェスティバル特別版 オオカミガイド	オオカミについて、スノーフェスティバル特別版で飼育員が解説いたします。	エゾシカ・オオカミ舎
47	エゾシカガイド	エゾシカについて、飼育員が解説いたします。	エゾシカ・オオカミ舎
48	モンキーハウスガイド	モンキーハウスにいる動物たちについて、飼育員が解説いたします。	モンキーハウス
49	フサオマキザルガイド	フサオマキザルについて、飼育員が解説いたします。	モンキーハウス
50	マンドリルガイド	マンドリルについて、飼育員が解説いたします。	モンキーハウス
51	ホッキョクグマガイド	ホッキョクグマについて、飼育員が解説いたします。	ホッキョクグマ館
52	アザラシガイド	アザラシについて、飼育員が解説いたします。	ホッキョクグマ館
53	「国際アザラシの日」特別ガイド	アザラシについて、「国際アザラシの日」特別版で飼育員が解説いたします。	ホッキョクグマ館 1階水中トンネル
54	実りの秋特別版 アザラシガイド	アザラシについて、実りの秋特別版で飼育員が解説いたします。	ホッキョクグマ館
55	ペンギンのお食事ガイド	飼育員の解説を聞きながら、フンボルトペンギンの食事風景をご覧いただけます。	総合水鳥舎
56	スノーフェスティバル特別版ペンギンガイド	スノーフェスティバル特別版で飼育員の解説を聞きながら、ペンギンの食事風景をご覧いただけます。	総合水鳥舎
57	キリンガイド	キリンについて、飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン キリン館
58	「世界キリンの日」特別ガイド	キリンについて、「世界キリンの日」特別版で飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン キリン館
59	ミーアキャットガイド	ミーアキャットについて、飼育員が解説いたします。	キリン館　屋内2階
60	動物園の動物の食べものガイド	動物園動物の食べものについて、飼育員が解説いたします。	キリン館屋外
61	ダチョウガイド	ダチョウについて、飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン キリン館
62	カバガイド	カバについて、飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン カバ・ライオン館
63	シマウマガイド	シマウマについて、飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン カバ・ライオン館
64	ハイエナガイド	ブチハイエナについて、飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン カバ・ライオン館
65	ハイエナの屠体給餌ガイド	飼育員の解説を聞きながらハイエナへの屠体給餌をご覧いただけます。	アフリカゾーン カバ・ライオン館
66	「世界ライオンの日」特別ガイド	ライオンの獣舎内を見学しながら、ライオンについて「世界ライオンの日」特別版で飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン カバ・ライオン館
67	オランウータンガイド	飼育員が動物病院に移動したボルネオオランウータンを見ながら、解説いたします。	動物病院
68	レッサーパンダガイド	レッサーパンダについて、飼育員が解説いたします。	アジアゾーン 高山館
69	スノーフェスティバル特別版 レッサーパンダガイド	レッサーパンダについて、スノーフェスティバル特別版で飼育員が解説いたします。	アジアゾーン 高山館
70	ヒマラヤグマガイド	ヒマラヤグマについて、飼育員が解説いたします。	アジアゾーン 高山館

名　称		内　　容	体験・観察 遭遇できる場所
71	カンガルーガイド	カンガルーについて、飼育員が解説いたします。	カンガルー館
72	スノーフェスティバル特別版 カンガルーガイド	カンガルーについて、スノーフェスティバル特別版で飼育員が解説いたします。	カンガルー館
73	シシオザルガイド	シシオザルについて、飼育員が解説いたします。	熱帯雨林館
74	マレーグマガイド	マレーグマについて、飼育員が解説いたします。	熱帯雨林館
75	ユキヒョウガイド	ユキヒョウについて、飼育員が解説いたします。	アジアゾーン 寒帯館
76	スノーフェスティバル特別版 ユキヒョウガイド	ユキヒョウについて、スノーフェスティバル特別版で飼育員が解説いたします。	アジアゾーン 寒帯館
77	アムールトラの屠体給餌ガイド	飼育員の解説を聞きながらアムールトラへの屠体給餌をご覧いただけます。	アジアゾーン 寒帯館
78	「世界トラの日」特別ガイド	アムールトラについて、「世界トラの日」特別版で飼育員が解説いたします。	アジアゾーン 寒帯館
79	シロテテナガザルガイド	シロテテナガザルについて、飼育員が解説いたします。	熱帯雨林館
80	カワウソガイド	カワウソについて、飼育員が解説いたします。	熱帯雨林館
81	「リスの日」特別ガイド	エゾリスについて、「リスの日」特別版で飼育員が解説いたします。	こども動物園 ドサンコの森
82	どうみんの日特別ワークショップ	ペーパークラフトを作りながら北海道に住む野生動物の体について、飼育員の解説を聞きながら特徴を比べていただけます。	動物園プラザ
83	海鳥展ガイド	本物と同じ重さのぬいぐるみや骨格標本を使って、海に暮らす「海鳥」の特徴について飼育員が解説いたします。	動物科学館
84	触ってみよう毛皮のガイド	いろいろな動物の本物の毛皮を触りながら、動物たちの毛の役割について解説員が解説いたします。	動物園センター 情報ホール

３ 令和５年度広報発表調書

No.	日 付	主 な 内 容	No.	日 付	主 な 内 容
1	R5.4.14	ゴマフアザラシ「マシロ」の仔が誕生しました	26	R5.10.18	ウェルカムボード 贈呈式を実施します
2	R5.4.21	北海道建築士会札幌支部と協働したこども動物園の魅力アップ事業（第二弾）の実施について	27	R5.10.18	円山動物園 PR大使任命式を実施します
3	R5.4.27	写真展「オランウータンがすむ森～ボルネオの自然とヒト～」開催	28	R5.10.18	アジアゾウの仔 愛称発表
4	R5.5.23	シロテテナガザルの仔が誕生しました	29	R5.10.18	絵本作家そら さん トークショー
5	R5.5.25	北海道コカ・コーラボトリング株式会社様からの寄付金贈呈式のご案内	30	R5.12.7	「干支展『辰』を開催します」
6	R5.5.31	ゴマフアザラシの仔の愛称投票の実施について	31	R5.12.13	NDA 様からのユニフォーム贈呈式を開催します
7	R5.6.5	2023 ヒツジの日イベント開催について	32	R5.12.21	オランウータン新施設に関する記者説明会を実施します
8	R5.6.8	札幌トヨペット植樹贈呈式を開催いたします	33	R6.1.25	「第四回海鳥展」及び講演会開催のお知らせ
9	R5.6.9	日本相続知財センター札幌と円山動物園との寄附に関する協定締結について	34	R6.1.25	多言語解説サイトの試行利用開始
10	R5.6.15	シロテテナガザルの仔の死亡について	35	R6.2.5	ホッキョクグマの「ホクト」が転出します
11	R5.6.18	カバ「ドン」の死亡について	36	R6.3.4	ライオン「クレイ」の今後の飼育展示について記者説明会を開催します
12	R5.6.22	屠体給餌に関するワークショップを開催いたします			
13	R5.6.29	株式会社キタデン様からの寄附金の贈呈について			
14	R5.6.29	第51 回円山動物園幼児・児童動物画コンクールの募集を行います			
15	R5.6.30	市民動物園会議 市民委員を募集します			
16	R5.7.5	ゴマフアザラシの仔の愛称が「ハク」に決まりました			
17	R5.7.12	北海道建築士会札幌支部と協働したこども動物園の魅力アップ事業（第三弾）「モルモットが快適に過ごせる空間デザインコンペ」開催！			
18	R5.7.14	一般社団法人親切会北海道支部車椅子贈呈式を行います			
19	R5.8.3	円山動物園の動物に氷のプレゼント！			
20	R5.8.19	ユキヒョウ「アクバル」が死亡しました			
21	R5.8.20	アジアゾウが誕生しました			
22	R5.9.6	ホッキョクグマ「デナリ」の死亡について			
23	R5.9.6	報道機関に対するアジアゾウの仔の事前公開について			
24	R5.9.20	円山動物園「動物慰霊祭」の開催について			
25	R5.10.10	マレーグマの「ウメキチ」が転出します			

Ⅳ 令和5年度入園者状況

1　月別入園者

		有料				団体無料				個人無料
		ﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ入園	一般	高校生	団体	大人	中学生	小学生	幼児	
４月	57,293	6,849	28,465	589	314	138	20	334	193	20,391
５月	97,249	8,779	47,192	1,140	1,050	912	2,401	344	2,855	32,576
６月	71,756	7,032	30,424	2,219	1,375	2,025	1,351	2,762	5,497	19,071
７月	64,517	5,358	30,034	860	773	1,156	1,204	2,046	2,049	21,037
８月	72,566	4,674	36,803	1,408	546	910	399	2,117	2,379	23,330
９月	131,129	13,186	56,023	1,513	1,575	3,522	153	10,244	9,201	35,712
10月	135,272	14,152	64,070	2,196	1,417	1,993	137	2,710	5,277	43,320
11月	63,640	7,673	32,501	614	575	390	58	614	574	20,641
12月	32,658	4,549	18,325	850	191	126	9	103	455	8,050
１月	42,327	6,520	21,997	852	277	319	28	384	549	11,401
２月	40,155	5,704	22,472	576	310	301	2	54	1,656	9,080
３月	57,048	7,967	28,780	1,360	197	399	100	193	998	17,054
計	865,610	92,443	417,086	14,177	8,600	12,191	5,862	21,905	31,683	261,663
		532,306				71,641				

2　年度別入園者

		有料				団体無料				個人無料
年度	入園者数	ﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ入園	一般	高校生	団体	大人	中学生	小学生	幼児	
14年	550,803		267,768		17,513	15,085	2,200	26,226	32,178	189,833
15年	515,319		250,465		17,452	12,075	2,249	25,699	30,016	177,363
16年	499,762		220,101		17,105	16,141	3,019	31,987	42,744	168,665
17年	436,625	54,289	166,427		14,817	13,940	2,876	31,730	41,798	165,037
18年	611,521	84,002	203,157		15,719	14,834	4,401	32,441	42,299	214,668
19年	609,614	92,441	193,797		17,319	17,946	3,898	34,437	44,048	205,728
20年	700,558	120,006	226,378		18,882	16,067	3,972	32,439	43,101	239,713
21年	923,503	183,888	323,336		22,753	17,689	4,388	30,759	42,933	297,757
22年	832,419	167,443	232,905		23,814	17,025	4,037	32,381	43,610	311,204
23年	791,754	173,954	237,166		17,999	17,439	4,838	34,831	42,185	263,342
24年	748,321	145,891	211,998		16,842	16,732	5,063	30,324	44,065	277,406
25年	959,431	195,669	278,403		20,575	18,982	5,767	35,812	45,625	358,598
26年	871,280	179,763	244,632		27,160	17,172	4,460	29,774	42,617	325,702
27年	981,119	219,013	282,946		34,792	17,447	4,926	30,375	42,990	348,630
28年	791,024	169,277	228,165		36,384	16,189	4,717	27,550	40,929	267,813
29年	813,047	158,807	253,383		37,420	15,919	4,356	31,630	41,825	269,707
30年	1,009,685	199,155	331,482		50,338	16,673	4,151	27,615	42,078	338,193
元年	1,021,282	192,439	336,285		54,263	18,429	4,351	28,675	41,893	344,947
2年	506,596	104,634	176,851	5,395	2,554	6,059	6,520	11,197	18,823	174,563
3年	369,194	54,855	149,120	4,753	2,162	5,122	3,311	11,958	15,484	122,429
4年	737,444	83,667	330,526	14,353	7,411	10,765	6,607	20,299	29,168	234,648
5年	865,610	92,443	417,086	14,177	8,600	12,191	5,862	21,905	31,683	261,663

Ⅴ　予算と決算

１　年度別歳入内訳表

（円）

区分		令和６年度（予算）	令和５年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度
経常費	運営費	536,573,000	426,981,445	372,574,503	184,407,847	220,269,652
	入園料	452,408,000	399,629,080	323,695,760	153,396,720	193,671,270
	売店	8,672,000	9,011,080	7,935,320	8,674,443	9,307,114
	有料プログラム	180,000	162,000	0	0	262,500
	円山動物園駐車場	－	－	412,300	20,400	－
	道支出金	24,000	113,500	25,500	18,000	44,000
	寄付金	17,986,000	1,954,720	11,033,167	5,388,045	7,876,146
	繰入金（動物園応援基金分）	17,000,000	－	－	－	－
	広告料	837,000	187,500	1,197,500	442,500	965,000
	保険料	138,000	245,407	163,654	117,750	112,965
	動物園収入等	13,883,000	11,172,158	12,250,114	6,257,582	8,030,657
	その他	25,445,000	4,506,000	15,861,188	10,092,407	－
動物園応援基金収入※		144,000,000	116,576,096	(64,224,000)	(17,912,092)	(3,506,000)
円山公園駐車場収入（繰入金を除く）		145,445,000	132,239,600	66,794,100	85,629,100	146,175,200

※ふるさと納税等を通じた寄付金収入。令和４年度以前は一般財源として経常費を補填。動物園応援基金設立に伴い、令和５年度から同基金への積立を開始。

２　年度別支出財源

（円）

区分		令和6年度（予算）	令和5年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度
運営費	特定財源（使用料等）	536,573,000	426,981,445	372,574,503	184,407,847	220,269,652
	一般財源	376,816,000	368,207,851	449,413,843	441,170,107	409,604,377
	計	913,389,000	795,189,296	821,988,346	625,577,954	629,874,029
整備費	宝くじ収入	－	－	－	－	
	繰越金	－	－	－	－	
	市債	－	882,632,000	226,000,000	60,000,000	22,605,000
	基金	－	－	－	－	
	一般財源	121,386,000	20,925,607	94,228,480	46,053,601	30,503,108
	計	121,386,000	903,557,607	320,228,480	106,053,601	53,108,108
合計		1,034,775,000	1,698,746,903	1,142,216,826	731,631,555	682,982,137

（円山公園駐車場）　（円）

区分		令和6年度（予算）	令和5年度	令和４年度	令和３年度	令和２年度
運営費	特定財源（駐車場収入等）	145,445,000	132,239,600	121,701,700	66,794,100	85,629,100
	市債	－	－	－	－	－
	消費税還付金	－	－	1,572,500	－	－
	基金繰入金	26,555,000	17,295,161	17,315,915	17,336,669	17,357,423
	繰越金	－	1,573,406	－	213,353,724	－
	雑入	－		1,185	1,995	－
	計	172,000,000	151,108,167	140,591,300	297,486,488	102,986,523

３　年度別歳出内訳表

（円）

科目			６年度（予算）	５年度	４年度	３年度	２年度
動物園費			1,034,775,000	1,698,746,903	1,142,216,826	731,631,555	682,982,137
	運営費		913,389,000	795,189,296	821,988,346	625,577,954	629,874,029
		報酬	16,081,000	15,716,890	15,244,415	15,011,499	17,723,488
		給料	19,510,000	17,865,600	17,582,400	18,056,400	17,573,980
		職員手当	41,277,000	36,533,287	37,097,568	37,749,604	38,181,044
		共済費	7,377,000	6,290,406	5,661,871	5,696,300	5,958,794
		報償費	715,000	297,473	274,451	82,390	587,529
		旅費	4,926,000	3,569,411	3,029,944	1,326,477	1,422,402
		需用費	319,805,000	304,209,945	308,430,662	258,504,192	261,138,816
		役務費	9,029,000	8,714,490	9,227,026	8,400,403	10,582,315
		委託料	323,814,000	270,931,028	292,583,469	262,440,849	256,575,420
		使用料及び賃借料	18,141,000	13,475,689	14,878,303	15,217,710	10,316,543
		備品購入費	6,937,000	331,210	8,887,056	2,276,809	8,960,985
		負担金補助及び交付金	1,777,000	677,771	649,626	815,321	811,773
		動物園応援基金造成費	144,000,000	116,576,096	108,441,555	－	－
		その他	－	－	－	－	40,940
	整備費		121,386,000	903,557,607	320,228,480	106,053,601	53,108,108
		職員手当	－	－	－	－	－
		報償費	－	－	－	－	－
		旅費	－	344,000	50,140	－	－
		需用費	－	1,617,790	30,360	693,572	239,800
		役務費	－	555,050	－	863,600	－
		委託料	121,386,000	40,796,878	17,085,000	25,503,339	52,868,308
		使用料及び賃借料	－	938,030	－	－	－
		工事請負費		859,200,919	296,776,700	78,893,100	－
		備品購入費	－	104,940	6,286,280	99,990	－
		負担金補助及び交付金	－	－	－	－	－
円山公園駐車場事業			172,000,000	141,698,460	140,591,300	297,486,488	126,942,913
	駐車場管理費		172,000,000	141,698,460	140,591,300	297,486,488	126,942,913
		報酬	1,612,000	1,544,910	1,534,716	1,410,276	－
		給与	4,556,000	3,998,400	3,806,300	2,640,300	4,352,900
		職員手当	4,006,000	4,047,448	3,909,645	1,769,352	3,040,821
		共済費	2,089,000	1,581,431	1,489,807	1,196,644	1,692,575
		旅費	175,000	97,960	122,114	－	－
		需用費	44,244,000	1,555,906	1,071,730	1,070,850	198,000
		役務費	60,000	55,370	358,920	32,670	67,910
		委託料	55,249,000	51,052,369	51,258,478	56,174,027	40,194,806
		使用料及び賃借料	－	－	730,000	－	－
		工事請負費	－	46,019,600	34,817,200	－	－
		備品購入費	－	－	－	63,800	365,200
		負担金補助及び交付金	9,000	6,505	26,169	5,737	8,078
		積立金	－	－	－	200,842,456	53,279,000
		公課費	8,000,000	9,937,400	2,738,900	4,851,300	6,386,200
		繰出金（公債償還）	26,555,000	17,295,161	17,315,915	17,336,669	17,357,423
		繰出金（一般会計）	25,445,000	4,506,000	21,411,406	10,092,407	－

４　動物園応援基金

（円）

区　　分		令和6年度（予算）	令和5年度	令和4年度
期首残高		225,017,651	108,441,555	0
収入		144,000,000	116,576,096	108,441,555
	ふるさと納税	132,000,000	75,039,300	103,519,780
	動物園への直接寄付	12,000,000	41,536,796	4,921,775
支出		17,000,000	0	0
	取崩額	17,000,000	0	0
期末残高		352,017,651	225,017,651	108,441,555

※利子収入を除く

５　品目別飼料購入内訳

（単位：円）

品　名	金額
1 野菜類	**10,144,297**
ニンジン	847,990
小松菜	1,226,940
キャベツ	1,539,010
ジャガイモ	15,070
サツマイモ	1,345,273
白菜	632,390
セロリ	827,904
ピーマン	723,525
レタス	278,388
もやし	494,401
キュウリ	95,427
チンゲンサイ	258,654
ブロッコリー	410,109
トマト	483,638
長ネギ	62,700
ゴボウ	37,860
玉ネギ	52,025
ナス	64,850
大根	25,256
かぼちゃ	722,887
2 果実類	**8,211,368**
ブドウ	1,333,959
リンゴ	4,418,449
バナナ	545,399
キウイフルーツ	362,901
オレンジ	1,320,017
パイナップル	230,643
3 雑穀類	**474,690**
小麦	28,600
ひまわりの種	58,850
乾草大豆	17,820
落花生	187,920
麻の実	132,000
白エゴマ	49,500
4 肉類	**9,465,655**
馬肉	5,016,000
鶏肉	423,402
シカ肉	825,000
マウス	1,125,300
冷凍ウズラ	1,047,200
冷凍ひな	868,373
その他	160,380
5 魚類	**5,569,214**
ホッケ	2,620,030
ワカサギ	272,800
煮干	942,480
沖あみ	289,493
オオナゴ	1,192,901
コマイ	115,748
ニシン	117,612
フクラギ	18,150

品　名	金額
6 鶏卵	**442,897**
7 乳製品	**385,001**
牛乳	282,330
ヨーグルト	102,671
8 配合飼料類	**4,338,612**
サル用ペレット	760,815
草食動物用ペレット	1,834,188
クマ用ペレット	680,196
モルモット用ペレット	396,726
満腹感、消化器サポート	204,005
その他	462,682
9 鳥用飼料類	**2,477,246**
ミルワーム	865,920
フラミンゴ用ペレット	1,087,570
キジ用ペレット	51,282
ハト配合えさ	185,702
ダチョウ用ペレット	50,820
カモ用ペレット	79,475
ツル用ペレット	72,600
その他	83,877
10 パン類	**22,129**
角食	22,129
11 牧草・乾牧草類	**15,968,917**
乾牧草	6,191,697
クローバー	5,243,650
青草	1,452,000
アルファルファ	552,235
ルーサンシングルプレス	1,430,858
ルーサンヘイキューブ	501,188
ルーサンキューブ挽割	506,605
稲わら	51,480
ミネカル	39,204
12 その他	**8,175,192**
竹	1,466,520
おから	100,754
アラビアゴム	98,252
飼料用枝葉	220,000
サトウキビ	140,800
はちみつ	88,128
ヤマモモ	211,200
シラカシ	3,795,000
ニレ	972,840
マテバシイ	11,880
トウネズミモチ	955,680
シェービングマット	79,200
その他	34,938
合計	**65,675,218**

６　開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度	昭和26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
入園者数　合　計	**275,000**	**284,188**	**578,233**	**468,780**	**507,843**	**705,236**	**573,760**	**531,531**	**556,097**	**640,096**	**688,255**
有料入園者数		219,188	466,233	362,780	407,843	536,236	423,760	439,531	442,097	493,096	529,255
大人（人）	－	122,380	274,943	224,403	242,340	336,159	273,826	263,292	265,384	305,228	360,919
中人（人）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
小人（人）	－	96,808	191,290	138,377	165,503	200,077	149,934	176,239	176,713	187,868	168,336
無料入園者数	275,000	65,000	112,000	106,000	100,000	169,000	150,000	92,000	114,000	147,000	159,000
札幌市の人口（各年10月1日現在）	399,984	411,350	435,662	459,632	487,391	500,238	522,126	546,053	570,082	615,628	623,046
備考				第１回 世界動物 博覧会		神武景気	第2回 世界動物 博覧会	北海道博 覧会		開園10年 記念事業	
入園料　大人（円）		普通20 団体16			普通30 団体24		普通40 団体32				
中人（円）											
小人（円）		普通10 団体8					普通15 団体12				
備考		27年7月31日より有料 大人（12歳以上） 小人（11歳以下）			大人（12歳以上） 小人（4歳以上11歳以下）						
決算　経常費　収入（千円）	1,229	3,848	7,241	7,498	10,583	14,567	15,968	15,750	16,029	18,265	21,602
入園料（千円）		3,294	7,123	5,651	8,472	11,483	12,518	12,424	12,517	14,162	15,997
遊覧料（千円）	1,229	503		1,517	1,823	2,712	2,736	2,606	2,770	3,347	4,756
駐車場　駐車台数											
駐車場　駐車料（千円）											
寄付金											
その他		51	118	330	288	372	714	720	742	756	849
支出（千円）	1,713	4,921	6,780	8,744	8,697	10,868	13,490	13,887	15,371	10,960	11,817
臨時費支出（千円）	5,724	1,360	5,966	6,880	3,988	7,405	12,690	28,473	1,994	3,568	6,716

６　開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度			37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
入園者数	**合　計**		**827,762**	**878,060**	**899,421**	**1,082,286**	**865,381**	**836,960**	**943,871**	**841,125**	**916,433**	**852,408**	**912,379**
	有料入園者数		604,762	629,060	634,421	806,286	664,381	620,960	680,871	612,125	674,433	619,408	662,844
		大人（人）	430,216	460,321	471,391	583,927	453,983	438,835	495,054	441,166	480,099	446,866	478,499
		中人（人）	－	－	－	－	62,431	60,097	59,709	53,427	62,375	55,678	58,030
		小人（人）	174,546	168,739	163,030	222,359	147,967	122,028	126,108	117,532	131,959	116,864	126,315
	無料入園者数		223,000	249,000	265,000	276,000	201,000	216,000	263,000	229,000	242,000	233,000	249,535
札幌市の人口（各年10月1日現在）			658,938	710,172	758,125	821,217	844,319	881,408	919,366	957,377	1,010,123	1,033,829	1,079,278
備考						開園15年記念事業	冬期開園熱帯動物館完成				開園20年記念事業	駐車場開設	
入園料	大人（円）		普通40 団体32				普通80　団体65			普通100　団体80			
	中人（円）						普通50　団体40						
	小人（円）		普通15 団体12				普通20　団体15						
	備考		昭和36年4月1日より小学生未満無料				大人（高校生以上）　中人（中学生）　小人（小学生）						
決算	経常費	収入（千円）	25,554	27,404	31,106	36,135	59,352	56,517	60,526	77,204	85,167	85,580	101,898
		入園料（千円）	18,726	19,803	20,161	25,455	40,724	38,919	43,323	47,452	52,004	48,119	51,461
		遊覧料（千円）	5,845	6,464	8,703	9,651	16,239	15,110	14,727	25,140	29,366	28,770	32,501
		駐車場 駐車台数										24,231	72,821
		駐車場 駐車料（千円）										3,615	11,321
		寄付金			1,000		20		1,000	3,463	2,650	2,050	3,300
		その他	983	1,137	1,242	1,029	2,369	2,488	1,476	1,149	1,147	3,026	3,315
		支出（千円）	15,569	19,080	19,080	26,779	35,977	35,977	45,560	47,457	57,058	65,413	79,631
	臨時費支出（千円）		5,885	9,815	14,919	11,176	70,029	21,526	11,974	19,000	44,874	98,041	9,921

６　開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
入園者数　合　計	**1,120,654**	**1,247,395**	**1,158,339**	**1,090,381**	**998,781**	**1,004,161**	**1,005,557**	**917,992**	**880,732**	**917,699**	**875,151**
入園者数　有料入園者数	495,976	552,125	528,455	502,012	455,699	456,484	455,027	414,816	390,242	415,058	393,264
入園者数　有料入園者数　大人（人）	495,976	552,125	528,455	502,012	455,699	456,484	455,027	414,816	390,242	415,058	393,264
入園者数　有料入園者数　中人（人） 入園者数　有料入園者数　小人（人）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料										
入園者数　無料入園者数	624,678	695,270	629,884	588,369	543,082	547,677	550,530	503,176	490,490	502,641	481,887
札幌市の人口（各年10月1日現在）	1,130,828	1,201,408	1,240,617	1,276,547	1,307,686	1,336,207	1,371,108	1,401,758	1,463,723	1,467,000	1,552,108
備考	オイルショック	熱帯植物館完成	開園25年記念事業		類人猿館完成	猛きん舎白鳥舎完成	動物病理研究室完成・世界のクマ館完成	開園30年記念事業	オオカミ放養場完成	サル山完成	洋蘭温室完成
入園料　大人（円）	普通100 団体 80			普通300　団体250				普通400　団体350			
入園料　中人（円） 入園料　小人（円） 入園料　備考	昭和48年4月1日より 中学生以下無料										
決算　経常費　収入（千円）	108,290	122,196	126,331	343,494	238,283	241,818	263,641	290,631	276,390	310,202	303,281
決算　経常費　入園料（千円）	48,671	54,204	51,792	148,242	134,579	134,799	134,291	163,916	154,268	164,311	155,530
決算　経常費　遊覧料（千円）	38,297	41,714	47,288	55,844	55,226	57,476	78,292	59,953	53,307	66,604	79,405
決算　経常費　駐車場　駐車台数	82,639	98,594	102,176	91,710	92,670	96,421	99,613	87,993	90,413	105,756	93,037
決算　経常費　駐車場　駐車料（千円）	12,868	20,022	20,586	37,312	37,673	39,178	40,414	53,810	55,265	64,357	58,992
決算　経常費　寄付金	4,950	2,052	1,750	2,350	2,450	2,450	2,700	2,400	2,700	2,700	2,400
決算　経常費　その他	3,504	4,204	4,915	8,036	8,355	7,915	7,944	10,552	10,850	12,230	6,954
決算　経常費　支出（千円）	98,431	146,891	176,411	197,260	221,958	229,932	266,674	327,116	346,638	373,077	377,949
決算　臨時費支出（千円）	258,730	47,946	48,314	24,207	153,390	82,979	332,487	276,140	173,501	185,215	109,999

6　開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度			59	60	61	62	63	平成元年	2	3	4	5	6
入園者数	合　計		**792,500**	**845,243**	**829,186**	**808,350**	**840,978**	**883,993**	**879,417**	**964,459**	**795,546**	**773,704**	**655,757**
	有料入園者数		353,510	375,719	360,428	353,362	367,620	388,323	383,152	414,881	347,731	341,349	289,753
	大人（人）		353,510	375,719	360,428	353,362	367,620	388,323	383,152	414,881	347,731	341,349	289,753
	中人（人）		昭和48年4月1日より 中学生以下無料										
	小人（人）												
	無料入園者数		438,990	469,524	468,758	454,988	473,358	495,670	496,265	549,578	447,815	432,355	366,004
札幌市の人口（各年10月1日現在）			1,519,764	1,542,979	1,567,724	1,594,914	1,621,148	1,648,508	1,660,819	1,696,056	1,716,624	1,731,670	1,744,806
備考			モンキーハウス完成	開園35年記念事業	総合水鳥舎改築			タスマニア館完成	開園40年記念事業こども動物園拡張・動物科学館新築		レストハウス完成		熱帯鳥類館新築西門第一駐車場改築
入園料	大人（円）		普通500　団体450								普通600　団体540		
	中人（円）		昭和48年4月1日より 中学生以下無料										
	小人（円）												
	備考												
決算	経常費	収入（千円）	343,312	354,528	334,924	442,141	365,963	381,134	375,049	405,290	408,181	397,454	271,727
		入園料（千円）	175,153	186,314	178,877	175,231	182,483	192,830	190,042	206,047	206,907	203,259	172,486
		遊覧料（千円）	101,929	100,918	93,220	100,326	107,739	107,457	102,477	109,856	106,642	100,984	33,285
		駐車場 駐車台数	92,178	95,751	86,242	97,282	106,549	114,392	116,903	128,476	114,739	112,034	73,367
		駐車場 駐車料（千円）	56,007	58,159	52,384	59,040	64,555	69,203	70,627	77,584	80,909	79,028	51,539
		寄付金	1,700	1,600	1,300	1,400	1,400	1,400	1,400				
		その他	8,523	7,537	9,143	8,862	9,786	10,244	10,503	11,803	13,723	14,183	14,417
		支出（千円）	396,986	408,972	407,585	401,299	394,797	429,175	458,298	501,151	507,939	544,562	515,121
	臨時費支出（千円）		210,333	138,000	190,350	103,295	39,189	362,619	775,949	154,500	270,484	274,986	821,437

６　開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度			平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16
入園者数	**合　計**		**918,222**	**805,546**	**731,885**	**725,298**	**590,331**	**557,721**	**573,741**	**550,803**	**515,319**	**499,762**
	有料入園者数		400,327	348,100	315,462	307,655	273,111	287,102	302,619	285,281	267,917	237,206
		大人（人）	400,327	348,100	315,462	307,655	273,111	287,102	302,619	285,281	267,917	237,206
		中人（人）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料									
		小人（人）										
	無料入園者数		517,895	457,446	416,423	417,643	317,220	270,619	271,122	265,522	247,402	262,556
札幌市の人口 （各年10月1日現在）			1,774,344	1,790,886	1,792,218	1,799,861	1,811,421	1,822,368	1,833,531	1,846,035	1,859,035	1,874,109
備考			遊園地 キッドラ ンド完成		動物園 センター 完成			開園50年 記念事 業・ﾁﾝﾊﾟﾝ ｼﾞｰ館 完成・ 総入園者 4,000万人		フクロウ とタカの 森完成	リスザル ドーム 完成	
入園料	大人（円）		一般600　団体540									
	中人（円）		昭和48年4月1日より 中学生以下無料									
	小人（円）											
	備考											
決算	経常費	収入（千円）	261,013	230,802	213,955	974,933	188,360	196,561	206,013	195,167	183,517	166,609
		入園料	238,576	207,277	187,752	183,250	162,563	170,983	180,447	170,118	159,614	141,297
		遊覧料										
		寄付金										
		その他	22,437	23,525	26,203	25,823	25,797	25,578	25,566	25,049	23,903	25,312
		支出（千円）	518,195	510,977	539,229	528,424	512,031	506,860	491,254	497,462	480,593	482,080
	臨時費支出（千円）		102,036	58,571	930,085	237,436	194,954	351,846	141,592	115,083	224,465	147,732
	駐車場会計	収入（千円）	88,971	88,024	84,109	78,595	75,034	82,094	83,030	79,560	76,239	69,864
		駐車台数（台）	126,315	125,002	120,479	111,602	106,568	116,620	118,000	113,043	108,311	99,271
		駐車料（千円）	88,971	88,024	84,109	78,595	75,034	82,094	83,030	79,560	76,239	69,864
		支出（千円）	73,859	80,176	81,184	119,314	119,647	119,850	118,938	118,409	117,318	115,363

6　開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度			17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
入園者数	合　計		**490,914**	**611,521**	**609,614**	**700,558**	**923,503**	**832,419**	**791,754**	**748,321**	**959,431**	**871,280**
	有料入園者数		235,533	302,878	303,557	365,266	529,977	424,162	429,119	374,731	494,647	451,555
		大人（人）	235,533	302,878	303,557	365,266	529,977	424,162	429,119	374,731	494,647	451,555
		中人（人）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料									
		小人（人）										
	無料入園者数		255,381	308,643	306,057	335,292	393,526	408,257	362,635	373,590	464,784	419,725
札幌市の人口 （各年10月1日現在）			1,880,875	1,888,687	1,894,344	1,898,473	1,904,278	1,914,434	1,922,824	1,928,776	1,936,189	1,942,648
備考			年間パスポート発売				エゾヒグマ館完成	新は虫類・両生類館完成 キッドランド閉鎖	開園60年記念事業	わくわくアジアゾーン完成	遊具広場「まるっぱ」オープン	
			平成12～17年度の入園者数については、平成18年4～9月の入園者実数調査に基づき、有料、無料の比率を再計算して平成18年度版より修正値を掲載している。									
入園料	大人（円）		一般600　団体540									
	年間パスポート		1,000									
	中人（円）		昭和48年4月1日より 中学生以下無料									
	小人（円）											
	備考											
決算	経常費	収入（千円）	158,531	192,565	205,391	238,052	346,544	260,304	245,002	235,024	300,462	270,133
		入園料	134,894	163,002	167,028	191,258	274,493	214,254	213,890	192,335	252,143	229,135
		遊覧料										
		寄付金			8,513	10,432	35,724	15,934	12,882	21,708	28,692	11,877
		その他	23,637	29,563	29,850	36,362	36,327	30,116	18,230	20,981	19,627	29,121
		支出（千円）	471,166	478,531	476,729	442,439	473,403	463,451	456,480	463,591	473,689	464,538
	臨時費支出（千円）		344,391	20,891	263,160	160,735	388,115	725,887	544,847	1,406,542	186,361	1,625,573
	駐車場会計	収入（千円）	71,880	85,037	85,835	98,224	149,188	106,869	104,107	103,419	127,520	132,764
		駐車台数（台）	102,205	120,805	121,953	139,623	171,535	151,944	148,032	147,759	182,145	166,344
		駐車料（千円）	71,880	85,037	85,835	98,224	120,904	106,869	104,107	103,419	127,520	116,764
		支出（千円）	111,551	103,935	103,935	103,935	132,219	100,535	100,563	100,563	118,265	132,470

６　開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度			27	28	29	30	令和元年	2年	3年	4年	5年
入園者数	**合　計**		**981,119**	**791,024**	**813,047**	**1,009,685**	**1,021,282**	**506,596**	**369,194**	**737,444**	**865,610**
	有料入園者数		536,751	433,826	449,610	580,975	582,987	289,434	210,890	435,957	532,306
		大人（人）	536,751	433,826	449,610	580,975	582,987	284,039	206,137	421,604	518,129
		高校生（人）	－	－	－	－	－	5,395	4,753	14,353	14,177
		中人（人）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料								
		小人（人）									
	無料入園者数		444,368	357,198	363,437	428,710	438,295	217,162	158,304	301,487	333,304
札幌市の人口（各年10月1日現在）			1,953,784	1,958,405	1,962,918	1,965,940	1,970,052	1,961,682	1,973,331	1,973,011	1,969,912
備考				アフリカゾーン全面オープン	ホッキョクグマ館オープン	アジアゾウ４頭来園、ゾウ舎オープン	バイオ発酵処理施設竣工	新型コロナウイルス感染症拡大防止による休園（81日間）	新型コロナウイルス感染症拡大防止による休園（101日間）	札幌市動物園条例制定	アジアゾウタオ誕生（８月19日）
入園料	大人（円）		一般 600 団体 540					一般　800 団体　720 高校生 400			
	年間パスポート		1,000					2,000			
	中人（円）		昭和48年4月1日より 中学生以下無料								
	小人（円）										
	備考										
決算	経常費	収入（千円）	302,060	260,019	266,391	338,454	345,094	220,007	184,408	355,073	426,981
		入園料	267,568	223,603	237,030	304,891	310,099	193,671	153,397	323,696	399,629
		遊覧料									
		寄付金	13,239	15,636	6,664	8,245	14,161	7,876	5,388	11,033	1,955
		その他	21,253	20,780	22,697	25,318	20,834	18,460	25,623	20,344	25,397
		支出（千円）	573,289	500,629	526,857	591,303	649,952	604,687	608,439	651,179	795,189
	臨時費支出（千円）		789,606	417,061	2,476,290	2,788,200	407,144	78,295	123,193	382,596	924,108
	駐車場会計	収入（千円）	600,743	152,359	138,748	162,769	167,970	102,987	297,486	140,591	151,108
		駐車台数（台）	175,739	169,444	173,876	206,797	207,344	121,951	95,046	161,241	188,441
		駐車料（千円）	123,137	119,095	112,290	145,370	146,176	85,629	66,794	121,702	132,240
		支出（千円）	589,419	152,359	131,494	123,869	136,191	126,943	297,486	140,591	141,698

Ⅵ　保全活動・教育活動・その他の取組

１　保全活動

(1) オオワシプログラム

円山動物園にとってオオワシは、開園当初から飼育していた動物の一つであるとともに、日本の動物園として初めて飼育下繁殖に成功するなどシンボリックな動物です。そのオオワシは北海道に越冬のため飛来しますが、生息数は現在約 5,000 羽といわれ、絶滅が危惧されています。円山動物園では関係機関と連携した飼育下繁殖個体を用いた野生復帰技術の確立や、講演会等による取組の情報発信を行っています。

ロシア情勢の影響を受け繁殖地であるロシアでの放鳥が困難となる中、オオワシの渡りに関する知見を集積できる取組を、関係機関とともに検討を行っています。

【令和５年度の取組】
・野生復帰検討委員会第２回会議開催
・関係機関との会議３回

(2) ニホンザリガニプロジェクト

冷たくきれいな水に棲むニホンザリガニは、近年生息環境の悪化や外来生物による影響などにより生息数の減少が懸念されています。円山動物園では、円山地区の生息地への野生復元・定着を目指し、飼育下で繁殖させる技術の確立に向けた調査研究を進めるとともに、市内の生息状況調査や、来園者への普及啓発を行っています。

【令和５年度の取組】
・捕獲個体の飼育展示及び飼育下個体の繁殖
・動物園の森での試験放流に向けた環境整備及び調査の実施

(3) トガリネズミ調査

札幌にも生息し身近な存在でありながら、生態についてほとんど知られていないトガリネズミを飼育・展示することで、生物多様性確保の必要性の啓発や、飼育下繁殖技術確立に向けた生態に関する基礎的知見を集積しています。円山動物園では、令和３年度に世界初となるヒメトガリネズミの出産事例を確認しています。

【令和５年度の取組】

・飼育下生まれのヒメトガリネズミ同士によるペアリングの実施
・こども動物園どさんこの森においてヒメトガリネズミの展示開始
・北海道内での生息調査を実施
（7 月 26 日～28 日：根室市）
・北海道大学と協力して北大総合博物館にてトガリネズミ展を開催
（開催期間：12 月 12 日～24 日）

トガリネズミ展の様子

(4) 天売島海鳥調査

海鳥は、その３割の種が人為的影響、環境悪化などにより、絶滅の危機に瀕しています。人間と海鳥が共存しつつ日本における海鳥の一大繁殖地となっている天売島での海鳥調査に参加するとともに、漁業での混獲や外来生物、気候変動など海鳥に大きな影響を与えている問題について特別展を開催し、情報発信を行っています。

【令和５年度の取組】

・海鳥展等による情報発信（１月 13 日～２月９日、テーマ「気候変動」、期間中の１月 28 日（日）には海鳥展講演会を実施）

(5) 春国岱エゾシカ調査

関係機関と連携してエゾシカによる植生被害の実態を把握するために、令和２年、根室市春国岱において GPS 機能付き首輪型カメラをエゾシカに装着しました。そこで得た知見をエゾシカ・オオカミ舎２階に掲示するとともに、エゾシカによる植生被害を木の枝で組んだ植生柵で防ぐことができるか、エゾシカ放飼場に実際に植生柵を設置して効果を検証しています。

【令和５年度の取組】
・エゾシカ放飼場の植生柵の効果検証継続
・エゾシカによる海浜植生への影響と対策に関するシンポジウムにて、当園の取り組みについて報告（12 月 22 日）

(6) コウモリ調査

コウモリは、北海道に 20 種類ほどの生息が確認されています。活動時間が夜でしかも飛翔しているため、生態の多くの部分が分かっておらず、保全に必要となる情報が不足しています。円山動物園ではコウモリの保全を進めるため、平成 23 年より市民団体と共同で、円山地区及び札幌市内での調査を開始しました。現在まで札幌市内で初確認となる種も含め 11 種のコウモリの生息を確認し、飼育や繁殖にも取り組んでいます。

【令和５年度の取組】
・円山地区で確認されたクロオオアブラコウモリのねぐら利用状況調査（35 回）
・捕獲個体の飼育展示
・北大植物園でのコウモリ観察会の実施（８月４日）
・コウモリフェスティバルを園内にて開催（８月 26 日～27 日）

２　教育活動

(1) ガイド・講座等

ア　園内ガイド（ゾウ舎ツアー、飼料庫ガイド、動物病院ガイド等）
イ　園内講座、出前講座
ウ　講演会
エ　教材提供等

【ア園内ガイド、イ講座　令和５年度実績】※複数プログラムに参加している団体あり

種別	件数	人数（名）	ゾウ舎ツアー	飼料庫ガイド	動物園の見どころ	動物園の役割	飼育員のお仕事	獣医のお仕事	ホッキョクグマ	ゾウ	ボラガイド	インタビュー
幼　児	5	35	－	9	－	－	24	－	－	－	－	2
小学校	99	5,928	111	207	1,181	514	1,088	2,422	127	114	36	128
中学校	44	1,531	41	171	167	322	120	－	443	11	85	171
高校	1	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4
大学・専門学校	9	354	67	－	30	195	－	－	55	－	7	－
その他	33	662	79	126	69	20	117	－	114	40	97	－
合　計	191	8,514	298	513	1,447	1,051	1,349	2,422	739	165	225	305

(2) 飼育担当者等によるガイド

ア　飼育担当者による動物の解説等（※内容はP25「令和５年度『円山ZOOガイド』」を参照）
イ　ボランティアによるサンデーガイド、森の散策タイム

(3) 教育イベント

	種　別	開催日	参加人数
体験プログラム	こどもの一日飼育係	7 月 15 日～17 日 8 月 7 日～9 日	54 人
	コウモリ観察会	8 月 4 日	20 人
展示・企画	飼育の日特別展示	4 月 15 日～23 日	238 人
	写真展:オランウータンがすむ森～ボルネオの自然とヒト～	4 月 29 日～5 月 9 日	577 人
	アースデイ	5 月 20 日、21 日	6,289 人
	ヒツジの日特別展、特別ガイド	6 月 6 日～11 日	188 人
	世界チンパンジーの日 パネル展示	7 月 7 日～23 日	378 人
	道みんの日特別企画展	7 月 17 日～8 月 13 日	602 人
	コウモリフェスティバル	7 月 29 日～8 月 27 日 ※プレ展示含む	788 人
	幼児・児童動物画コンクール	9 月 24 日～10 月 22 日※作品展示期間	1,405 人
	世界ユキヒョウの日特別展示	10 月 16 日～31 日	584 人
	円山 ZOO ナイトツアー	10 月 28 日～29 日 11 月 4 日～5 日	108 人
	干支展	12 月 9 日～1 月 8 日	872 人
	海鳥展、講演会	1 月 13 日～2 月 9 日	351 人
	国際ホッキョクグマの日イベント	2 月 23 日～24 日	293 人
		合　計	12,747 人

(4) 教育機関との連携

ア　教員セミナー・研修

札幌市教育センター専門研修（65 人）

イ　実習生の受入

博物館実習（７人）、飼育実習（３人）

ウ　連携授業

近隣小学校における連携授業の実施(学年ごとにテーマ設定)（計６回、3～6 年生）

(5) 発行物による情報発信

【令和５年度実績】

媒体名	発行主体	発行回数等
動物園だより	円山動物園	年４回発行、113,500 枚／回
道新まなぶん	株式会社北海道新聞社	５月号に記事を掲載
エコチル	株式会社アドバコム	毎月記事を掲載

(6)　動物相談受付状況　（電話・来園者）

(R5.4.1～R6.3.31)

種　別	件　数	主な動物	相談内容概要
哺乳類	36	キツネ、タヌキ、イタチ、ウサギ等	○追い払う・寄せ付けない方法　○保護・引き取りをしてほしい ○傷病個体発見時の対応　○やむを得ない保護時の対応　○生態、種類 ○野生動物による被害　○遭遇した時の対処方法 ○発見時の連絡先　○自宅・敷地内に来た場合の対処方法 ○飼育方法
鳥　類	39	カラス、カモ、スズメ、ハト等	○追い払う方法　○保護・引き取りをしてほしい ○傷病個体発見時の対応　○やむを得ない保護時の対応　○生態、種類 ○餌付けについて　○死体の処理の方法　○巣を撤去したい ○野鳥の持つウイルス・病気について　○攻撃された場合の対処法 ○動物病院等の紹介をしてほしい　○足環について ○自宅敷地内への迷い込み・産卵・孵化している場合の対処法 ○敷地内や道路等で車に轢かれそうになっている　○飼育方法
爬虫類	10	アカミミガメ（ミドリガメ）、ヘビ、イグアナ	○追い払う方法　○引き取りをしてほしい　○引き取り先の紹介 ○保護後飼育できない　○ケガ・体調不良の対処法
両生類	2	アマガエル、メキシコサンショウウオ（ウーパールーパー）	○珍しい種を見つけたが動物園で飼育するか ○飼育方法
魚　類	0	―	―
無脊椎動物	1	アゲハ蝶	○幼虫の食害の対処方法
当園関連	3	園内の動物	○園内の動物の種類・展示
その他	4	野生動物	○種判別してほしい（毛、フン）
合　計	95	件	

３　調査研究

（１）事例発表

シマフクロウの繁殖に向けた取り組みについて

〇菊池晏那[1]１・弓山良[3]・塚田光司[1]・本田直也[2]
（1.札幌市円山動物園　2.野生生物生息域外保全センター　3.札幌市環境局発寒清掃工場）
＊3.前所属：札幌市円山動物園

札幌市円山動物園では2016年よりシマフクロウの繁殖に取り組んでおり，2023年までに3回，計5羽の繁殖に成功した。このたび，繁殖成功までの取り組み及び前年生まれの幼鳥と同居させた状態での繁殖への取り組みについて報告する。当園で飼育している繁殖ペアのメスは傷病保護個体であり飛翔が困難な個体である。対応として2017年から巣箱周辺への目隠しの設置,地面から巣箱までのスロープ設置等,飛翔困難個体でも繁殖に支障をきたさないよう環境を整備した。これにより繁殖行動（交尾，巣への出入り，求愛給餌等）を確認することができたが産卵には至らなかった。2019年からは1～3月の餌の質の改善を行った。与える餌を30ｃｍ程度の冷凍魚から15ｃｍ程度の活魚に変更し，週に1～２回，10～20尾程度給餌したところ求愛給餌の回数が増え，産卵に至ったが，孵化までは至らなかった。2021年からは繁殖ケージ（12×10×8m）内の池（6×2m）に一度に100～300尾の活魚を投入し自由採餌とした。活魚が不足した場合は残餌が少し出る程度の量（一日に10～30匹程度）のマウスを給餌した。　その後2021年に初めて孵化に至り，2023年まで毎年ふ化に成功している。これらのことから，シマフクロウが落ち着ける環境の提供に加え，適切な時期に質の良い餌を豊富に与えることがシマフクロウの繁殖環境として重要だと考えられる。また，幼鳥の存在が繁殖行動に及ぼす影響に関する知見を得るため，2023年に前年生まれの幼鳥と親鳥とを同居させた状態で繁殖に取り組んだ。結果として，闘争することなく孵化に至り，ふ化後42日である現在（2023年6月1日）もヒナは順調に成育中である。個体による差はあるものと思われるが，全羽が十分に採餌できる状態を維持できれば性成熟前の幼鳥が同居した状態でも繁殖も可能であると考えられる。

【発表】令和５年６月27日　北海道地区 飼育技術者研究会

（２）事例発表

類似する飼育環境下の霊長類における異常行動割合の種差について

〇松本直也[1]・祐川猛[1]
（1.札幌市円山動物園）

動物園などの飼育動物は，欲求不満や葛藤状態が持続すると常同歩行などの異常行動を発現することが

知られている。今回，類似する飼育環境下の霊長類 7 種に対して異常行動を含む行動の定量評価を行い，種差を検討した。対象個体は，同施設で飼育されている霊長類 7 種計 14 頭（クロシロエリマキキツネザル 1 頭，ワオキツネザル 1 頭，フサオマキザル 2 頭，ブラッザグエノン 2 頭，ダイアナモンキー3 頭，ドグェラヒヒ 3 頭，マンドリル 2 頭)。評価期間は 2023 年 5 月 1 日から５月 23 日。評価方法は，１日３回(9 時，12 時，16 時）の瞬間サンプリングを実施した。行動目録は，フサオマキザルの先行研究をもとに 11 項目 （リラックス，親和的行動，移動，探餌および摂餌，非エンリッチメント物の利用，エンリッチメント物の利用，社会的遊び，逃避，支配的行動，警戒行動，異常行動)に分類した。各個体においてそれぞれ計 38 回，計 13 日間の行動記録を得た。全期間の各行動割合の平均は，リラックス 46%，探餌および摂餌 22%，異常行動 14%，移動 11%，親和的行動 6%，他は 1%未満であった。各回の異常行動割合の平均は，1 回目に最大となり 31%となったが，２回目および３回目は 1%未満となった。種差については，キツネザル２種およびブラッザグエノンで異常行動は 1%未満，フサオマキザルは 3%未満となった。一方で，ダイアナモンキー，ドグェラヒヒ，マンドリルにおいては，それぞれ 25%，19%，8%となった。類似する飼育環境下において，異常行動割合に種差や個体差があることを定量的に確認できた。特定の種や個体で異常行動を認めない環境であっても，種や個体によっては欲求が満たされないため，個体毎の評価が重要であると考えられる。統一された評価法によって相対的に比較をすることが可能となり，取り組みの優先順位を決める判断材料に有用であると考えられた。

【発表】令和５年６月 27 日　北海道地区 飼育技術者研究会

（３）事例発表

マレーグマにおける抗てんかん薬の血中濃度測定に基づいた治療の１例

○佐渡晃浩[1]・境秀文[1]・柿阪圭太[1]・光崎昌輝[1]・林紘太郎[1]・柏渕幸治[1]
（1.札幌市円山動物園）

[背景と目的]
てんかん治療に使用される抗てんかん薬の有効血中濃度については，種差や個体差があるため，症例ごとの有効血中濃度の設定や，過剰投与による副作用の発現リスクを低減するためには，治療薬物モニタリング(TDM: Therapeutic Drug Monitoring)を実施することが望ましいとされている。ただし，継続的に血中濃度をモニタリングするためには，定期的な血液の採取が必要となることから，動物園動物では困難な場合も多い。今回，てんかん発作を呈したマレーグマ(Helarctos malayanus)のゾニサミド血中濃度（トラフ値とする）について，ハズバンダリートレーニング下で継続的に血液を採取しモニタリングを行ったことで，発作の良好なコントロールに至った症例を報告する。
[治療経過]
対象動物はマレーグマの雄，13 歳。2016 年頃より断続的にふらつきなどの神経症状が認められていたが明確な原因は不明であった。2018 年 2 月 17 日に痙攣発作を起こしていることを確認し，同年 3 月 7 日に

麻酔下で検査を行い，代謝性疾患や内科的疾患などの基礎疾患を除外した。痙攣発作以外は全身状態も良好で他の症状を認めないことから，脳神経疾患による症候性てんかんまたは特発性てんかんと診断した。発作の頻度は少ないが，動物の習性から発作時の落下による重大な事故が懸念されることや，発作後徴候が 10 分以上と長く，てんかん発作重積に陥る可能性が危惧されたため、抗てんかん薬による治療を開始した。治療薬はゾニサミド 4mg/kg BID から開始し，治療の開始と同時に，ゾニサミドの血中濃度測定のための採血トレーニングを開始した。当初，てんかん発作は低頻度に抑えられていたが，2018 年 5 月 8 日から 10 日にかけて，3 日連続で発作が認められたため，ゾニサミドを 5mg/kg BID に増量，臭化カリウムを 15mg/kg BID で追加投与するとともに，ゾニサミドが定常状態に達するまでの期間はジアゼパムを併用した。ジアゼパムについては 1 か月程度の期間で漸減し投薬を終了した。その後，10 か月程は発作が認められていなかったが，2019 年 3 月 21 日，3 月 27 日に発作が認められたため，ゾニサミドを 8mg/kg BID，臭化カリウムを 20mg/kg BID に増量し，ジアゼパムとプレドニゾロンを一時的に投与した。その後もゾミサミドの血中濃度をモニタリングしながら投薬量を調節し，6mg/kg で使用していたが，2023 年 3 月 10 日に軽度の発作が認められ，3 月 18 日，３月 31 日，４月１日，４月２日にも同様の発作が頻発したため，ゾニサミドの投薬量を 7.5mg/kg BID に増量し現在は良好にコントロールできている。

[結果と考察]

発作が起きる直近に測定していたゾニサミド血中濃度は 20μg/ml 前後が多く，発作のコントロールには最低でも 25-30μg/ml 以上に血中濃度を維持していく必要があると考えられる。発作の頻度や重症度が軽減していることから，投薬による効果が得られていると考えられるが，MRI 検査や CSF 検査については実施していない。そのため、脳腫瘍などによる症候性てんかんを否定できておらず，今後，経時的な症状の悪化や頻度の増加がないか注視していく必要がある。また，現在まで血液学的検査，血液生化学検査に異常は認められておらず，血中濃度のモニタリングにより，薬物の過剰投与を避けることができていると考えられる。しかし，長期使用による副作用が発現する可能性を否定できないため，今後も有効血中濃度を維持しながら，過剰投与にならないよう細心の注意を払ったうえで投薬を継続していきたい。

【発表】令和５年９月 24 日　日本野生動物医学会大会

（４）事例発表

カバの塩酸エトルフィンによる麻酔報告

○柿阪圭太[1]

（1. 札幌市円山動物園）

症例

動物　カバ
性別　オス
年齢　53 歳
体重　1700 kg (推定)
麻酔目的　研究
副次目的　安楽殺

1

経過

病日	経過
1	放飼場で起立不能となる 神経疾患を疑いプレドニゾロンの注射を試みるも穿刺不可
2	苦痛の緩和を目的に鎮静剤を投与 (キシラジン100mg/head TID)
3	QOLの維持が困難と判断 麻酔下で安楽殺を実施

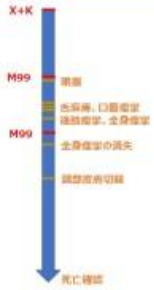
2

麻酔方法・手順

ケタミンとキシラジンによる鎮静
▼
エトルフィンによる意識消失
▼
頸部皮膚を切開
▼
頸静脈に塩化カリウムを急速投与

3

麻酔記録



経過時間	処置・症状
0:00	鎮静薬投与（X＋K）
0:18	M99投与
0:19	眼振
0:25	舌麻痺
0:26	口唇痙攣
0:27	左後肢痙攣
0:29	眼振消失、全身痙攣
0:32	M99追加投与
0:36	全身痙攣の消失
0:39	頸部皮膚切開
1:13	死亡確認

4

考察（M99投与量）

M99追加投与
・痙攣及び侵襲刺激への反応消失
・追注後41分後に死亡と判断
▼
M99追加投与により絶命か
▼
安楽殺ではなく麻酔維持が目的であれば
低用量のM99追加投与が妥当か

5

考察（M99投与量）

・当園でのM99使用経験が非常に乏しい
・安楽殺処置も長年実施していなかった
・安楽殺ガイドライン制定後、初めての安楽殺
▼
確実に個体を致死させる必要があったため
M99を初回と同量追加投与実施

6

【発表】令和５年 11 月７日　大型動物麻酔研究会（要旨がないため、発表資料の一部を抜粋）

（５）事例発表

準間接飼育によるアジアゾウの出産について

〇鎌田祐奈[1]・小林真也[1]・吉田翔悟[1]・野村友美[1]・相田佑樹[1]・坪松耕太[1]
（1.札幌市円山動物園）

札幌市円山動物園では，4 頭のアジアゾウ「シーシュ」（オス・15 歳），「シュティン」（メス・32 歳），「パール」（メス・20 歳），「ニャイン」（メス・10 歳）を準間接飼育にて飼育している。2023 年 8 月 19 日にパールがメス 1 頭を出産したため報告する。
2021 年 3 月よりシーシュとパールの終日同居を開始した。2022 年 5 月頃に乳房の張りに気づき，5 月に血中プロジェステロン値の測定結果から妊娠を疑う。10 月にエコー検査により胎児を確認し，妊娠が確定した。
出産前には血中プロジェステロンが急激に低下することが知られており，24 時間以内に 50%減少を目安とし，低下後平均 3 日で出産に至ると言われている。2023 年 8 月 1 日から出産が近づいている兆候を示す陣痛様行動が見られたが，8 月 1 日の時点では血中プロジェステロンは高値を示していた。その後 16 日間は弱い徴候が不定期に起こる状態が続いた。8 月 16 日に血中プロジェステロンの急激な低下が見られ，8 月 19 日の日中に粘液栓の排出を確認した。
8 月 19 日 21 時 40 分頃から強い陣痛が確認され，22 時 38 分に破水，22 時 39 分にメス 1 頭を出産した。パールは初産であったが，ゾウが出産時に行うとされる胎児を激しく蹴る行動を始めた。その行動が 5 分程度続き，仔ゾウが上半身を起こすような行動を見せたところでパールは落ち着き，仔ゾウの起立を介助，22 時 49 分に仔ゾウの起立を確認した。出産後およそ 1 時間 20 分後には授乳をしていることも確認できた。出生時の体重は推定 110 kg，全長は推定 90 ㎝であった。出産後は母子ともに落ち着いており，翌朝から放飼場の移動やパールの採血を問題なく実施することができた。仔ゾウの状態は安定しており，9 月 15 日より来園者への公開も開始している。
今後は，準間接飼育でのトレーニングを進めるとともに，ゾウヘルペスの対策など健康管理に取り組んでいく。

【発表】令和５年 11 月 27 日　ゾウ会議

（６）事例発表

カバの安楽死処置実施までの経過について

〇清水道晃[1]
（1.札幌市円山動物園）

札幌市円山動物園では，傷病動物に対し可能な限りの治療を実施しているため，終末期が延長し QOL が低下する傾向にあった。このため，動物福祉の確保を目的とした安楽死処置の実施と，その際の円滑な意

思決定のために 2023 年 3 月 9 日，札幌市円山動物園安楽死処置ガイドライン（以下ガイドライン）を定めた。2023 年 6 月 17 日，ガイドライン制定後初めて，カバ（ドン，オス，53 歳）の安楽死処置を実施したのでその経過を報告する。2023 年 6 月 15 日 11：15 分頃，屋外放飼場へ向かう途中で転倒し，体の左側を下にした横臥の姿勢のまま起立不能となった。急遽飼育施設を閉鎖し，寒冷紗にて日除けを設置し，皮膚の乾燥を防ぐため断続的に体表へ向けて散水，自重による循環障害を軽減するために乾草やクッションマットを配置する等の処置を行った。水を直接口に流し込むがほぼ嚥下する事ができていなかった。同日 15：00 頃，ドンの容態を考慮し，ガイドラインに基づき「安楽死処置検討会議」を開催した。起立不能による恐怖，苦痛を伴っており，回復の見込みが無いこと，カバらしい行動・採食・飲水等ができず，生活の質が著しく低下していること，さらに苦痛を伴うことが予想されたことから，安楽死処置が妥当と判断し，安楽死処置の実施を発意した。2023 年 6 月 16 日，徐々に活力は低下しており，褥瘡も確認した。2023 年 6 月 17 日，引き続き起立不能で，褥瘡は拡大し，更に活力も低下していた。採食・飲水もできず，回復は見込めないことから，ドンの動物福祉を確保するため，同日 9：00 頃，円山動物園として安楽死処置の実施を決定し，同日 14：00 に処置を開始，15：31 に死亡を確認した。今回の事例では，ガイドラインにより円滑な意思決定ができ，傷病動物に対して QOL の低下を最小限に抑えることができた。ガイドライン及び今回の事例が，他園館で制定する際の参考となるよう情報提供をしていきたい。

【発表】令和６年１月 24 日　動物園技術者研究会

（７）事例発表

拡張型心筋症のミーアキャットの一例

光崎昌輝[1]

(1.札幌市円山動物園)

拡張型心筋症(DCM)は，心筋の収縮力低下と心臓内腔拡大を特徴とする疾患である。犬・猫においては遺伝的要因やタウリン・L-カルニチンなどの欠乏，ウイルス性心筋炎などが関与していると考えられているが，ミーアキャットの DCM については症例報告が少なく知見が乏しい。今回，本園で飼育しているミーアキャットについて，DCM と診断し治療を行ったので報告する。

当園で飼育しているミーアキャット(5 歳，雄)において，活動性低下と食欲不振が認められた。初発時は捕獲困難であったため，2 病日目に捕獲し，検査を実施したところ，心陰影拡大や努力性呼吸，脱水が認められた。ICU 管理とし，心不全や肺炎を疑いピモベンタン(0.25mg/kg/PO)及び抗生剤(セフォベジン/8mg 力価/SC)の投与を開始した。4 病日目には，肺野の透過性低下，腹水及び胸水貯留が認められ，エコー検査を実施し DCM と診断した。以後は，QOL の維持・向上を目的とした治療を行い，心原性肺水腫が強く疑われるためフロセミド(1-2mg/kg/SC)投与を行った。肺野の透過性亢進及び ICU 内で立ち上がり動くなど一般状態が一時的に改善することもあったが，8 病日目に急変し死亡した。病理解剖の結果，DCM と診断された。本症例では，X 線検査やエコー検査から DCM と診断し，QOL の改善のための治療を行い一定の効果が認められた。当園で飼育しているミーアキャットは，本症例と血縁関係があることから，本症例と同

様に今後 DCM を発症する可能性がある。今後もモニタリングを継続して行い、本症例の経験を活かし早期発見及び治療に努めたい。

【発表】令和６年２月９日　動物園水族館獣医師臨床研究会

（８）事例発表

準間接飼育下でのアジアゾウの出産について

○小林真也[1]
（1.札幌市円山動物園）

札幌市円山動物園では，4 頭のアジアゾウ「シーシュ」（オス・15 歳），「シュティン」（メス・32 歳），「パール」（メス・20 歳），「ニャイン」（メス・10 歳）を準間接飼育にて飼育しています。2023 年 8 月 19 日にパールがメス 1 頭を出産したため，その事前準備と出産についてお話します。
繁殖を目指し，2021 年 3 月よりシーシュとパールの終日同居を開始しました。交尾行動は定期定期に確認されており，2022 年 4 月以降の血中プロジェステロン値の測定結果から妊娠を疑い，同年 10 月にエコー検査により妊娠が確定しました。
その後，ゾウ飼育担当，獣医師，役職者で何度も議論を重ねて円山動物園独自の出産プロトコルを作成し，関係者全員がしっかりと共通認識を持ち，意思統一をした上で，出産に向けた準備を始めました。主な準備の内容は，ハード面では施設の改修や医療機器等を購入。ソフト面では難産になった場合を想定したトレーニングです。
2023 年 8 月 19 日 22 時 39 分にメス 1 頭が生まれ，出産後およそ 1 時間 20 分後には授乳も確認でき，人が介入することなく，円山動物園が目指した形でのアジアゾウの出産ができました。
その後は大きなトラブルもなく順調に成長し，健康管理のためのトレーニングを開始するともに，円山動物園が目指すメス群れの形成に向けて，現在は定期的にシュティン，ニャインとの同居を進めています。
今後の目標は，仔ゾウのトレーニングの確立と，次の繁殖です。

【発表】令和６年２月 26 日　日本飼育技術学会

（９）ポスター発表

準間接飼育下におけるアジアゾウの出産に向けた事前準備について

札幌市円山動物園　○野村友美，小林真也，吉田翔悟，鎌田祐奈，相田佑樹，坪松耕太

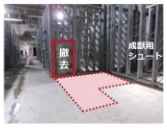
札幌市円山動物園では、4頭のアジアゾウ「シーシュ」（オス・15歳）、「シュティン」（メス・32歳）、「パール」（メス・20歳）、「ニャイン」（メス・10歳）を準間接飼育にて飼育している。2023年8月19日にパールがメス1頭を出産し、準間接飼育下でのアジアゾウの出産は国内初の事例であることから、施設・設備等のハード面及びトレーニング等のソフト面における出産に向けた事前準備について報告する。

	2021	2022			2023				
	3月	4月	5月	9月	10月	1月	2月	3月	8月
	シーシュとの終日同居開始		乳房が顕著に腫脹し妊娠の可能性が浮上	4月～9月のP4が高値であることを確認	妊娠確定　2023年3月～2024年1月を出産時期と推測				出産
ハード					改修工事に向けた設計を開始		・PATHFASTの導入 ・改修工事着工	改修工事完了	
ソフト		安定した採血が可能となる	エコー検査を想定したトレーニング開始	係留に向け重点的にトレーニング開始	エコー検査にて胎仔を初確認	四肢の係留が可能となる	係留および直腸へのアプローチが可能となる		

ハード面

（施設・設備に関すること）

1.　仔ゾウ用トレーニングエリアおよび体重計の新設



トレーニングエリアの人用扉を撤去し成獣用シュートの横に仔ゾウ用トレーニングエリアを設置

バースケールの埋め込みが不可能だったため約20㎝床面を上げ、入り口はコンクリートでスロープを作成

2.　プールへの落下防止柵の設置

※屋外メイン放飼場はプールへの落下の危険性がある期間は使用しないため対策は実施せず

屋内プール

ゾウ舎建設時にポールを立てる基礎のみ設置済みであったため、今回の工事ではポールの作成・設置、チェーンの設置を実施

屋外プール（サブ放飼場）

構造および予算面から改修工事が困難であったため、直径50㎝ほどの丸太を組み合わせ木柵を設置

2023年3月には完成していたものの、他個体が使用しているうちにほぼ全壊したため、仔の誕生後再度設置し消防ホースを用いて連結することで強度を上げた

3.　逸走および別エリアへの移動防止柵の設置

一部はゾウ舎建設時にチェーン装着用のリングのみ設置していた箇所があったが、高さ・間隔・個数が不十分であったため追加で取付

4. 血中プロジェステロンを測定する医療機器※1等の導入

これまでは北海道大学獣医学部に血中プロジェステロン（以下P4）の測定を依頼していたが、採血から結果が出るまでのタイムラグが大きく（２週間～数か月程度）

出産直前のP4の急激な低下に気づくことができない

→ P4を測定する医療機器の導入により採血後約40分※2でP4の値を知ることが可能に

導入後も継続して北海道大学に測定を依頼し数値の正確性を確認

※1：商品名：移動式免疫発光測定装置（PATHFAST）
※2：遠心分離・分注約15分、測定約25分）

ソフト面

（トレーニングに関すること）

1.　出産時期の推定および健康状態の把握に向けた採血

2021年6月を最後に、採血に拒否反応を示すようになり実施困難に
再度トレーニングを重ね、2022年4月以降安定した採血が可能となった

時期	頻度
2021年６月～	採血困難
2022年4月～（安定した採血が可能）	2週間に1度
2022年9月～（妊娠の可能性高）	1週間に1度
2023年2月～（PATHFASTによる検査が可能）	1週間に2度
2023年8月1日（陣痛と思われる行動を確認）	毎日

PATHFASTの導入後は採血後すぐにP4を測定し出産まで継続して数値をモニタリングした

耳裏の静脈に予め麻酔クリーム（リドカイン10%）を塗布しドレッシングフィルムで保護
1～2時間程度静置後25G翼状針を用いて飼育担当者が採血を行う（5～10ml程度）

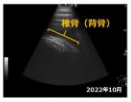
2.　胎仔の状態を確認するためのエコー検査

シュートにて左後肢を出した状態で左腹部からエコーを当てて実施

2022年5月11日～
経腹エコーを想定したトレーニング開始
（腹部の洗浄やプローブにみたてた南京錠を腹部に押し当てる等、獣医師もトレーニングに参加してもらう）

2022年5月21日～
実際にエコー検査を実施するも深度15㎝程までしか映らず胎仔の確認には至らず
これ以降週1回程度の頻度で継続してエコー検査を実施

2022年10月6日（妊娠約12か月）
初めて胎仔と思われるものを確認
これ以降継続的に胎仔と思われるものが動いていることは確認できるものの、心拍の確認や部位の特定はできず



流水とブラシで５分程度洗い流したのちエコーゼリーを潤沢に使用することで写りが鮮明になった

2023年2月（妊娠約16か月）～
係留および直腸へのアプローチが可能となったため経直腸エコーも実施するが胎仔の確認には至らず

2023年8月3日（出産12日前）
経腹エコーにてはっきりと胎仔の鼻を確認
（陰部の横あたりの皺の少ない位置からエコーを実施）

3.　難産に備えた直腸からのアプローチ

直腸からのアプローチはゾウと同一空間に入る必要があり四肢の係留が前提となるため、まずは四肢の係留に向けたトレーニングを実施

2022年4月ごろ～
係留を想定したアンクレット・チェーン装着のトレーニングを開始
前肢のチェーンは問題なく装着できるものの後肢への装着は困難

2022年9月～
重点的に係留トレーニングを開始
後肢は細いロープを当てるところから実施

2023年1月～
前肢・後肢ともにアンクレット・チェーンの装着および四肢の係留が可能となる

2023年2月（妊娠約16か月）～
直腸へのアプローチが可能に
糞のかき出し、直腸洗浄、経直腸エコーの実施

【難産の場合に想定される処置】
・子宮頸管の弛緩、胎仔の位置の確認
・エストラジオールゲルの塗布（直腸、会陰部）
・直腸マッサージ

【発表】令和５年 11 月 27 日　ゾウ会議

（１０） 共同研究・研究協力一覧

	共同先／協力先	テーマ・内容	区分
1	酪農学園大学獣医学群　獣医保健看護学類 動物生命科学ユニット 教授　林 英明	動物輸送に係る糞中コルチゾルによるストレス評価（研究協力）	共同研究
2	北海道大学獣医学部繁殖学教室 准教授　柳川　洋二郎	アジアゾウの血中ホルモン測定に関する共同研究	共同研究
3	酪農学園大学獣医学群　獣医保健看護学類 動物生命科学ユニット 教授　林 英明	アジアゾウの糞中プロジェステロンの調査	共同研究
4	酪農学園大学　獣医学群 獣医保健看護学類 教授　郡山 尚紀	アジアゾウのバイオマーカーに関する研究	共同研究
5	酪農学園大学　獣医学群 獣医保健看護学類 教授　郡山 尚紀	アジアゾウの出産の前後における母子行動およびそれに関する生体反応に関する研究	共同研究
6	北海道大学獣医学部微生物学教室 講師　松野 啓太	ゾウヘルペスウイルスの定期検査と共同研究	共同研究
7	北海道大学大学院獣医学研究院寄生虫学教室 助教　中尾 亮	アジアゾウ（Elephas asiaticus）の保有微生物叢の調査研究	研究協力
8	北海道情報大学 情報メディア学部情報メディア学科 教授　柿並 義宏	アジアゾウ（Elephas asiaticus）の超低周波音の解析	共同研究
9	麻布大学　獣医学部　動物応用科学科 野生動物学研究室 准教授　山本 誉士	アジアゾウの加速度データロガーを用いた飼育動物の行動モニタリングに関する調査	共同研究
10	京都大学野生動物研究センター 教授　村山 美穂	アジアゾウにおけるDNAメチル化を 指標とした年齢推定の研究（協力）	研究協力
11	酪農学園大学　循環農学類 人と動物の関係学研究室 教授　山田 弘司	アジアゾウの餌探索における嗅覚情報の利用の共同研究	共同研究
12	麻布大学　獣医学部　動物応用科学科 野生動物学研究室 准教授　山本 誉士	アジアゾウにおける睡眠と砂山の関係調査	共同研究
13	北海道大学文学部人間科学専攻行動科学研究室 准教授　瀧本 彩加	アジアゾウ子育てに関する行動調査	共同研究
14	京都大学 高等研究院　山本真也准教授 ナチケータ・シャルマ研究院 京都市動物園 生き物・学び・研究センター　山梨 裕美	アジアゾウの道具使用と社会伝播の観察研究	研究協力

	共同先／協力先	テーマ・内容	区分
15	北海道大学獣医学部繁殖学教室 准教授　柳川 洋二郎	アジアゾウの雌由来粘液に関する共同研究	共同研究
16	岐阜大学応用生物科学部動物繁殖学研究室 教授　楠田 哲士	スンダスローロリスの糞中性ホルモンを用いた妊娠判定及び性周期の特定について	共同研究
17	札幌市立大学デザイン学部 准教授　並木 翔太郎	新しいこども動物園における教育コンテンツの提案に向けた予備的研究	共同研究
18	酪農学園大学　循環農学類 人と動物の関係学研究室 教授　山田 弘司	動物との触れあいにおける人と動物との関係の共同研究	共同研究
19	北海道大学理学研究院生物科学部門 教授　増田 隆一	キツネ糞のDNA解析により食性分析（協力）	研究協力
20	北海道大学獣医学部野生動物学教室 准教授　下鶴 倫人	クマ類の血液DNAを用いたメチル化解析による年齢推定に関する研究	研究協力
21	北海道大学獣医学部微生物学教室 教授　迫田 義博	ユーラシアワシミミズクに対するバロキサビル マルボキシルの反復経口投与による安全性研究	共同研究
22	北海道大学　大学院地球環境科学研究院　環境生物科学部門 生態遺伝学分野 助教　早川 卓志	レッサーパンダの腸内細菌および肛門臭腺細菌研究	研究協力
23	大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 研究基盤国際センター計測・分析室 長谷川 絵美	多元素同位体を用いた日本の動物の移動履歴追跡手法の一般化	研究協力
24	北海道大学獣医学部繁殖学教室 准教授　柳川 洋二郎	ユキヒョウの糞中ホルモン測定に関する共同研究	共同研究
25	北海道大学獣医学部毒性学教室 准教授　中山 翔太	動物の雌雄判定	共同研究
26	北海道大学大学院獣医学研究院寄生虫学教室 助教　中尾 亮	動物園動物の保有微生物叢の調査研究	共同研究
27	北海道大学獣医学部毒性学教室	化学物質感受性の動物種差に関する共同研究	共同研究

・共同研究…　研究計画の策定段階からの円山動物園側の関与や、実施に当たって当園職員の積極的な協力が必要となる研究

・研究協力…　円山動物園職員の関与は最小限で、少ない労力で獲得できる試料（動物のフン、抜け毛など）の提供や、フィールドとしての園内利用許可といった、簡単な協力のみを行ったもの。

4　園運営における環境配慮の取組み

(1) 札幌市次世代エネルギーパーク（再生可能エネルギー等の活用及び普及啓発）

・次世代エネルギーパークは、「太陽光や風力発電などの新エネルギーを積極的に導入し、市民が新エネルギーを見て触れて理解できる施設」として、経済産業省資源エネルギー庁が認定しているもの。円山動物園では導入計画が平成 20 年に認定され、平成 23 年にオープンしました。

・園内では、太陽光発電、ペレットボイラー、太陽熱温風暖房、雪冷熱システム、燃料電池（天然ガス）など多様な再生可能エネルギー設備を導入しています。

・動物科学館では普及啓発のための説明看板や体験型展示物などを設置し、来園者への普及啓発を行っています。

(2) バイオ発酵処理設備

・園内で排出される動物の糞に細菌を混ぜ、密閉型の横型サイロで攪拌し、空気を供給することで好気発酵を促し、短期間（約２週間）で高品質な堆肥を作ることができます。

・高温発酵により含水率を低減させるため、堆肥重量は投入重量の約４割となります。

・園内には、動物の糞の処理量が、100kg/日×２台、500kg/日×２台のバイオ発酵処理設備が設置されています。

(3) ゾウ糞の堆肥化

・ゾウ舎裏のバイオ発酵処理施設においては、ゾウの糞のみで堆肥化しています。

・ゾウの糞からできた堆肥については、市内小学校等の関係者に配付し、環境教育教材として活用。関係業者等からは、堆肥で育てた花や野菜の寄付を得るなど、循環型の取組みを進めています。

・ゾウの糞でできた堆肥については、ふるさと納税の返礼品として活用するとともに、当園の応援団体であるさっぽろ円山動物園サポートクラブにも提供し、寄附の返礼品として活用されています。

(4) 廃棄プラスチック削減宣言

・園内の各売店・食堂の事業者と連携して、令和元年 11 月に「廃棄プラスチック削減宣言」を行っています。

・宣言に基づいて、各売店・食堂で使用するプラスチック類の削減を推進しています。

・各売店・食堂から一定期間ごとにプラスチック使用量の報告を受け、共有することでさらなる取組みを促しています。

(5) 園内の植樹

・令和３年３月に円山動物園みどりの基本方針及び円山動物園みどりの取扱指針を策定し、園路や各ゾーンの景観等に合わせた樹木・草花の管理を行っています。

・札幌トヨペット株式会社や各地のライオンズクラブ等の様々な団体から、多くの樹木や草花の寄贈を受け、園路や屋外放飼場に多くの植栽を行っています。

５　その他の取組

(1) 円山動物園ガイドボランティア

(ｱ) 動物解説ボランティア

当園では平成１０年４月より動物解説ボランティア制度を導入しており、園内を４班で担当し、ポイントガイド及び園内を１周するツアーガイド等を行っています。（Ｒ６年４月現在）

登　録　人　数	５３名 （内訳） ふれあい班：１３名 （こども動物園、カンガルー館、フクロウとタカの森、猛禽舎） ワイルド班：１３名 （サル山、アジアゾーン、アフリカゾーン） やせい班：１３名 （オランウータンとボルネオの森、は虫類・両生類館、熱帯鳥類館、総合水鳥舎） クマチカ班：１４名 （モンキーハウス、チンパンジー館、エゾシカ・オオカミ舎、エゾヒグマ館、ホッキョクグマ館）
主な活動内容	ポイントガイド、ツアーガイド、 ボランティア独自企画事業（ボランティアの日、チリモン観察会など）、ニュースレター発行（年３回）
募　集　年　度	平成１０、１２、１５、１７、１８、１９、２１、２４、２６、２８、２９、３０、令和元、令和２、令和４年度

(ｲ) 動物園の森ボランティア

平成２１年４月から、動物園の森ボランティア制度を導入しており、森の散策ガイドや管理作業を行っています。（Ｒ６年４月現在）

登　録　人　数	４０名 （内訳）動物園の森のみ
主な活動内容	散策ガイド土日祝木、通常１日２回実施 季節ごとに外来植物を駆除 生き物情報の記録、写真撮影など
募　集　年　度	平成２１、２３、２４、２６、２７、２９、３０、令和２、令和４年度

(2) さっぽろ円山動物園サポートクラブ

平成27年度から、わがまちの動物園をより良く継続していこうという思いを共有していくために、企業等と市民が円山動物園を支援する団体を設立し、下記のとおり、当該団体が実施主体となる新たな動物園支援制度「さっぽろ円山動物園サポートクラブ」の運営を開始しました。

基本理念	動物個体ではなく、わがまちの動物園を企業と市民が一体になって支援（寄付）する制度
団体名称	さっぽろ円山動物園サポートクラブ
組織形態	円山動物園を応援する企業等が会員として上記団体の運営資金の支援、事業計画・予算等を定め、当園が事務局を担う実行委員会組織としている。
制度運営開始日	平成27年4月1日
市民からの寄付金募集の取扱い	１．募集は円山動物園内動物園センターの自動販売機、総合案内窓口または口座振込で行う。 ２．寄付金（1口500円）を受領し、領収書として動物カードを交付する。 ３．寄付者は「サポーター」となり、希望者には、動物の近況や寄付の状況、その他イベント情報を提供するメールマガジンを送付する。なお、有効期間は、カード交付日の翌年同月末日までとする。 ４．その他、サポートクラブが指定する日に、サポーター限定でグッズの贈呈など、動物園のイベントに関連した特典を設ける。
令和５年度の寄付額	3,995,700円
寄付金の使途	動物舎の環境整備など、動物エンリッチメントの向上となる使い道を予め指定して寄付を募る。

【これまでの取組の概要】

回　数	項　目	目標金額	寄付金募集期間	完　了
第1回	チンパンジー館屋内放飼場遊具（ボルダリング）	60万円	H27.4.1～ H27.4.30	H27.7公開
第2回	エゾシカ・オオカミ舎 オオカミ外放飼場への植樹	130万円	H27.5.1～ H28.7.31	H29.3公開
第3・4回	モンキーハウス等のモンキーへの遊具設置	20万円 10万円× 2か所	H28.8.1～ H28.10.19	H29.6公開
第5回	リスザルなどのモンキーたちのアスレチック用ロープの増設	30万円	H28.10.20～ H29.6.7	H29.9公開
第6回	アジアゾーン熱帯雨林館 テナガザルが遊べるロープの設置	21万円	募金契約差額 で設置	H30.9公開

第７回	アジアゾーン熱帯雨林館 マレーグマ外放飼場日除けネット	48 万円	H31.4.1～R1.5.30	R1.9 公開
	カンガルー館内モモイロインコ・カンムリシロムク展示場緑化	30 万円	H31.4.1～R1.12.27	R2.1 公開
第８回	アムールトラ専用体重計	61 万円	R1.10.1～ R2.2.15	R1.10 公開
第９回	ユキヒョウ専用体重計	61 万円		R2.7 公開
第 10 回	モンキーハウス日除け設置	11 万円	募金契約差額 で設置	R2.7 公開
第 11 回	ホッキョクグマ館アザラシプール日除け設置	110 万円	募金契約差額 で設置	R2.8 公開
第 12 回	エゾユキウサギ子ども動物園放飼場改修	36 万円	団体寄付等により 実施	R2.9 公開
第 13 回	ホッキョクグマ「ララ」放飼場段差	52 万円	R2.10.15～R2.10.20	R2.11 公開
第 14 回	ライオン・ブチハイエナ専用体重計	60 万円	R2.11.1～R2.11.26	R2.12 公開
第 15 回	キリン屋外のエサ台高所設置	50 万円	R2.12.12～R3.1.15 (団体寄付金を含む)	R3.4 公開
第 16 回	ホッキョクグマ「ララ」放飼場段差改修第２弾・第３弾	100 万円	R3.3.24～R3.4.7	R3.4 公開
第 17 回	大型動物用おもちゃ	100 万円	R3.6.17～R3.10.12	R4.4 公開
第 18 回	シロテテナガザル・シシオザル・アカハナグマのロープ購入	15 万円	R4.6.11～R4.7.21	R4.7 公開
第 19 回	レッサーパンダ屋内放飼場改修	200 万円	R4.7.25～R4.3.15	R4.6 公開
第 20 回	ホッキョクグマ館アザラシメインプールの寒冷紗増設	120 万円	市民からの寄付により 実施	R5.6 公開
第 21 回	レッサーパンダ屋内放飼場床改修	110 万円	市民からの寄付により 実施	R6.3 公開

Ⅶ　飼育動物

(R6.4.1)

１　希少動物（CITES附属書Ⅰ）・天然記念物

（●：国指定天然記念物）

動物名	点数	動物名	点数	動物名	点数
哺乳綱 15種 47点		シセンレッサーパンダ	5	爬虫綱　10種 32点	
アジアゾウ	5	コツメカワウソ	2	ガビアルモドキ	4
スンダスローロリス	6	アムールトラ	1	ヨウスコウワニ	2
ワオキツネザル	1	ユキヒョウ	2	サイイグアナ	4
マンドリル	2	鳥綱　6種 33点		クモノスガメ	1
ダイアナモンキー	3	カンムリシロムク	2	ホウシャガメ	3
テナガザル	1	フンボルトペンギン	15	ハミルトンガメ	2
シロテテナガザル	4	● オオワシ(CITESⅡ)	9	ラオスモエギハコガメ	9
シシオザル	3	● オジロワシ(CITESⅠ)	1	インドホシガメ	1
チンパンジー	9	● タンチョウ	1	インドセタカガメ	1
ボルネオオランウータン	2	● シマフクロウ	5	チュウゴクワニトカゲ	5
ヒマラヤグマ	1				

注）ワシントン条約：動植物の絶滅を回避し、生物多様性を保全するため、1973年にアメリカのワシントンにおいて締結された条約。「絶滅のおそれのある野生動植物種の国際取引に関する条約（＝CITES）」。附属書に載せられている動物は、国際的な取引に関して厳重な規制が行われています。日本は1980年にこの条約を批准しました。

２　長年飼育動物一覧表

(R6.4.1)

動物名	愛称	性別	年齢	飼育年数	備考
チンパンジー	ガチャ	♀	53歳以上	53年	昭和45年8月3日入園
オオワシ		♀	51歳以上	51年	昭和48年2月8日入園
カバ	ザン	♀	48歳	48年	昭和50年7月16日生
ガビアルモドキ		♀	40歳以上	40年	昭和58年9月2日入園
テナガザル	タロウ	♂	39歳	39年	昭和59年7月5日生
ニホンザル	我次郎	♂	35歳	35年	昭和63年5月14日生
ゼニガタアザラシ	ジージー	♀	34歳	34年	平成元年4月16日生
ホッキョクグマ	ララ	♀	29歳	27年	平成6年11月20日生

３　主な動物愛称一覧表

（R6.4.1）

動物名	愛称	性別	備考	
オオカンガルー	わかば	♂	2011.12.20	生
	さくら	♀	2011.11.6	生
	さくまる	♂	2016.1.14	生
	キク	♀	2017.9.2	生
	ジュリ	♀	2017.9.21	生
	アンズ	♀	2019.2.23	生
	エミリー	♀	2019.3.13	生
スンダスローロリス	さら	♀	2016.6.26	生
	さおり	♀	2018.2.5	生
	あい	♀	2016.6.25	生
	かおり	♀	2017.6.22	生
	れいわ	♂	2019.5.11	生
	エイコ	♀	2007.9.12	入
ワオキツネザル	アサギ	♀	2007.8.14	生
ダイアナモンキー	はかた	♀	1997.4.12	生
	ラビ	♀	2010.5.16	生
	クロワ	♀	2011.6.10	生
ブラッザグエノン	梅里(ばいり)	♂	2005.9.17	生
	ヒデミ	♀	2011.4.15	生
ドグェラヒヒ	まちこ	♀	1990.4.5	生
	ゆうこ	♀	1982.4.6	生
	アヌビス	♂	1998.2.6	生
シシオザル	リーフ	♂	1994.7.24	生
	ナミエ	♀	1997.12.13	生
	イージロウ	♂	2013.7.16	生
マンドリル	しずか	♀	2002.6.23	生
	ニード	♂	2008.8.5	生
シロテテナガザル	コタロー	♂	2004.10.26	生
	ラーチャ	♀	2020.10.14	入
	ローラ	♀	2021.7.4	生
クロザル	アサギ	♂	2005.5.25	生
テナガザル	タロウ	♂	1984.7.5	生
チンパンジー	ガチャ	♀	1970.8.3	入
	チャコ	♀	1980.3.8	生
	ジェーン	♀	1984.3.17	入
	スージー	♀	1984.3.17	入
	テス	♀	2005.9.4	生
	レディ	♀	2006.2.26	生
	ハル	♀	2008.3.17	生
	アッキー	♂	2008.10.29	生
	コユキ	♀	2011.11.18	生
ボルネオオランウータン	レンボー	♀	1998.10.07	生
	レイト（令斗）	♂	2020.2.3	生
コツメカワウソ	イヨカン	♀	2010.9.26	生
	サン	♂	2011.7.25	生
エゾヒグマ	とわ	♀	2008.1.14	生
	大	♂	2011.1.17	生
ヒマラヤグマ	トモ	♀	1998.1.13	生
ホッキョクグマ	ララ	♀	1994.11.20	生
	リラ	♀	2014.12.21	生
ユキヒョウ	フブキ	♂	2017.5.24	生
	シジム	♀	2010.5.16	生
ライオン	クレイ	♀	2022.5.5	生
	イト	♀	2022.9.12	生
アムールトラ	トート	♂	2021.2.17	生
サーバルキャット	エン	♀	2015.4.3	生

動物名	愛称	性別	備考	
ミーアキャット	ゆうひ	♀	2014.4.21	生
	マメ	♀	2017.7.6	生
	モチ	♂	2017.7.6	生
	ひなた	♀	2017.9.30	生
	かなた	♀	2017.9.30	生
	あかり	♂	2017.9.30	生
エゾタヌキ	りく	♂	2021.3.30	入
	ゆき	♀	2021.3.30	入
シンリンオオカミ	ジュリ	♀	2022.4.28	生
	カエデ	♀	2022.4.28	生
アカハナグマ	ホセ	♂	2013.6.25	入
	ボニータ	♀	2012.5.8	生
	ベロニカ	♀	2012.6.13	生
シセンレッサーパンダ	ココ	♀	2006.6.24	生
	セイタ	♂	2005.6.23	生
	エイタ	♂	2010.7.3	生
	小百合	♀	2016.7.13	生
	プーアル	♂	2015.6.25	生
アライグマ	チャロ	♀	2022.6.12	入
ブチハイエナ	カミ	♂	2009.9.3	生
アジアゾウ	パール	♀	2003.9.12	生
	シュティン	♀	1991.4.28	生
	ニャイン	♀	2013.5.12	生
	シーシュ	♂	2008.8.4	生
	タオ	♀	2023.8.19	生
ゴマフアザラシ	アズキ	♀	2017.4.10	生
	ギン	♂	2018.2.16	入
	真白（ましろ）	♀	2016.3.20	生
ゼニガタアザラシ	ジージー	♀	1989.4.16	生
カバ	ザン	♀	1975.7.16	生
エランド	オペル	♀	2012.7.31	生
エゾシカ	恩（メグム）	♂	2008.7.12	生
	アマンダ	♀	2010.6.6	生
	コマチ	♀	2011.7.20	生
キリン	テンスケ	♂	2016.7.29	生
	ユリカ	♀	2018.7.12	生
グラントシマウマ	DJ	♂	2009.12.28	生
	チョビミミ	♀	2015.3.14	生
シェトランドポニー	サトシ	♂	2005.3.29	入
	シズマ	♀	2005.3.29	入
	ミヨコ	♀	2005.3.29	入
	シズタロウ	♂	2011.1.23	生
	みかん	♀	2011.12.3	生
アメリカビーバー	タンポポ	♀	2000.6.14	生
シロフクロウ	アンナ	♀	2011.6.14	生
トビ	ビリー	♀	2004.5.3	生
	デューク	♂	2006.11.25	入
タンチョウ	十兵衛（じゅうべえ）	♂	1998.7.1	生
シナガチョウ	ジェット	♂	2012.5.11	生
ダチョウ	ジュア	♀	2010.8.13	入
	アカ	♂	2022.5.27	生
ヨウスコウワニ	ヨウヨウ	♂	1994.12.1	入
	スウスウ	♀	1994.12.1	入

※「入」は生年月日が不明の個体の入園日

４　繁殖表彰受賞動物一覧表

動物名	繁殖年月日	数	性別	繁殖区分	受賞年
ダイアナモンキー	S42.1.5	1	♂	自然	S43
カオジロガン	S50.7.21	1		人工	S51
クロクモザル	S50.12.20	1	♀	自然	S52
アフリカタテガミヤマアラシ	S52.9.2	2	♂	自然	S53
ミズオオトカゲ	S55.10.24	8		自然	S57
マレーバク	S59.5.5	1	♂	人工	S60
オオセグロカモメ	S59.7.24	1		人工	S60
ウミネコ	S60.6.28	2		人工	S61
ドグェラヒヒ	S61.5.5	1	♂	人工	S62
ユキヒョウ	S62.4.27	2	♂１　♀１	自然	S63
ブラッザグェノン	S62.6.7	1	♀	人工	S63
タスマニアデビル	S63.7.21	2	♂１　♀１	自然	H1
アメリカワシミミズク	H1.4.23	2		自然	H2
ペルシアヒョウ	H1.6.19	3	♂１　♀２	自然	H2
イヌワシ	H2.4.18	1	♂	自然	H3
アオガン	H2.7.5	2		人工	H3
アカハラヤブワラビー	H2.12.5	1	♀	自然	H4
コディアックグマ	H4.1.26	1	♂	人工	H5
オオワシ	H5.3.6	2	♂１　♀１	自然	H6
サトウチョウ	H9.6.15	1	♀	自然	H10
ヨウスコウワニ	H13.7.9	3	♂２　♀１	人工	H14
モモイロインコ	H14.4.1	1		自然	H15
カンボジアモエギハコガメ	H16.6.26	1		人工	H17
アオホソオオトカゲ	H24.12.16	1		人工	H26
スペングラーヤマガメ	H24.7.16	2		人工	H26
モウドクフキヤガエル	H24.3.1	20		自然	H27
エゾアカガエル	H27.3.10	多数		自然	H28
ムオヒラセガメ	H27.10.21	5		人工	H29
アメリカドクトカゲ	H29.11.25	1		人工	R2
ミヤコカナヘビ	H29.12.26	1		人工	R3

５　令和５年度主要繁殖動物

種類	動物名	繁殖頭数	完全成育数	繁殖区分	出生日等・備考
哺乳類	ユキヒョウ	2	0	自然	4/7生（死産1、4/8死亡）
	ゴマフアザラシ	1	1	自然	4/13生
	シロテテナガザル	1	0	自然	5/22生（6/15死亡）
	テンジクネズミ	2	0	自然	3/16生
	エゾリス	7	3	自然	6/23生3、6/5生4（7/8死亡4）
	アジアゾウ	1	1	自然	8/19生
鳥類	アイゾメヤドクガエル	1	0	自然	1/17確認
	マダラヤドクガエル	2	0	自然	1/17確認

注）完全成育数：出生日から6ヶ月を経過後も生存している個体数

６　令和５年度主要転入動物内訳（出産･孵化を除く）

転入理由	動物名	頭数			備　　考
		♂	♀	?	
借入	シセンレッサーパンダ	1			旭山動物園
交換	ライオン		1		愛媛県立とべ動物園
交換	ライオン		1		愛媛県立とべ動物園（飼育：旭山動物園）
譲受	ダチョウ	1			旭山動物園
借入	ユキヒョウ	1			多摩動物公園（所有：王子動物園）
移管	エゾフクロウ	1			釧路市動物園
譲受	エボシカメレオン	1	1		
捕獲	アズマヒキガエル	1	1	1	駆除個体引取り

７　令和５年度主要転出動物内訳（死亡を除く）

転出理由	動物名	頭数			備　　考
		♂	♀	?	
返却	ホッキョクグマ	1			旭山動物園（所有：姫路市立動物園）
移管	マレーグマ	1			徳山動物園（所有：上野動物園）
交換	オグロプレーリードッグ	1			愛媛県立とべ動物園
貸出	シマフクロウ	1			那須サファリ

8　剥製等一覧表

(R6.4.1)

種類	哺乳類	鳥類	骨格	鞣革	計
数	22	113	30	8	173

綱	目	科	種	
哺乳綱				
	ネズミ目			
		(リス科)		
			エゾリス	2
			エゾモモンガ	4
	トガリネズミ目			
		(トガリネズミ科)		
			トウキョウトガリネズミ	1
	ネコ目			
		(イタチ科)		
			ミンク	2
			イタチ	3
			キテン	2
			エゾクロテン	1
			イイズナ	2
		(ネコ科)		
			ペルシャヒョウ	1
		(クマ科)		
			エゾヒグマ	1
	クジラ目			
		(シカ科)		
			エゾシカ	2
	カンガルー目			
		(フクロネコ科)		
			タスマニアデビル	1
鳥綱				
	カイツブリ目			
		(カイツブリ科)		
			カイツブリ	1
			カンムリカイツブリ	1
			ミミカイツブリ	1
	コウノトリ目			
		(サギ科)		
			ヨシゴイ	1
			オオヨシゴイ	1
			アマサギ	1
			チュウサギ	1
			コサギ	1
			アオサギ	2
		(フラミンゴ科)		
			ヨーロッパフラミンゴ	1
			コガタフラミンゴ	1
	カモ目			
		(カモ科)		
			コブハクチョウ	2
			ハクガン	1
			ハシビロガモ	1
			シノリガモ	1
	キツツキ目			
		(キツツキ科)		
			アリスイ	1
			エゾアカゲラ	2
		(オオハシ科)		
			オニオオハシ	1

綱	目	科	種	
	タカ目			
		(タカ科)		
			オジロワシ	1
			オオワシ	3
			オオタカ	2
			ツミ	2
			ハイタカ	2
			クマタカ	1
	ハヤブサ目			
		(ハヤブサ科)		
			チョウゲンボウ	1
			ハヤブサ	1
			チゴハヤブサ	1
	ホトトギス目			
		(ホトトギス科)		
			カッコウ	1
			ツツドリ	1
			ジュウイチ	1
	キジ目			
		(キジ科)		
			ギンケイ	1
			エゾライチョウ	1
			サンケイ	1
			オナガキジ	1
			インドクジャク	1
	ツル目			
		(クイナ科)		
			クイナ	1
			バン	1
			セイケイ	1
			ツルクイナ	1
	チドリ目			
		(シギ科)		
			ヤマシギ	2
		(カモメ科)		
			ミツユビカモメ	1
		(ウミスズメ科)		
			ウミスズメ	1
			コウミスズメ	1
			ウトウ	1
	ハト目			
		(ハト科)		
			アオバト	1
			カンムリバト	1
	オウム目			
		(オウム科)		
			コバタン	1
			ヨウム	1
	アビ目			
		(アビ科)		
			シロエリオオハム	1
			アビ	1
	ヨタカ目			
		(ヨタカ科)		

綱	目	科	種	
			ヨタカ	1
	フクロウ目			
		(フクロウ科)		
			オオコノハズク	1
			コノハズク	1
			シロフクロウ	2
			エゾフクロウ	2
			コミミズク	1
			ワシミミズク	1
			アオバズク	2
			トラフズク	1
			シマフクロウ	1
	スズメ目			
		(レンジャク科)		
			キレンジャク	11
		(ヒタキ科)		
			キビタキ	1
			オオルリ	1
			コルリ	1
			ルリビタキ	1
			マミチャジナイ	1
			マミジロ	1
			ツグミ	1
			トラツグミ	1
			ウグイス	1
			キクイタダキ	3
			センダイムシクイ	1
			エゾセンニュウ	1
			ヤブサメ	1
		(シジュウカラ科)		
			シジュウカラ	1
		(アトリ科)		
			マヒワ	1
			ギンザンマシコ	1
			ウソ	2
			シメ	1
		(カラス科)		
			ミヤマカケス	1
			カササギ	2
	ブッポウソウ目			
		(カワセミ科)		
			アカショウビン	2
			カワセミ	1
			ヤマセミ	1
	アマツバメ目			
		(アマツバメ科)		
			ハリオアマツバメ	1
	ミズナギドリ目			
		(ミズナギドリ科)		
			ハイイロミズナギドリ	1

綱	目	科	種	
骨格標本				
（全身骨格）				
	カンガルー目			
		（カンガルー科）		
			アカカンガルー	1
	サル目			
		（ショウジョウ科）		
			オランウータン	1
			チンパンジー	2
	ネコ目			
		（クマ科）		
			マレーグマ	1
		（ネコ科）		
			ペルシャヒョウ	1
	ゾウ目			
		（ゾウ科）		
			アジアゾウ	1
	クジラ目			
		（キリン科）		
			マサイキリン	1
		（シカ科）		
			トナカイ	2
	ペリカン目			
		（ペリカン科）		
			モモイロペリカン	1
	ワニ目			
		（アリゲータ科）		
			ミシシッピーワニ	1
	有鱗目（ヘビ亜目）			
		（ボア科）		
			アミメニシキヘビ	1

綱	目	科	種	
骨格標本				
（頭骨）				
	サル目			
		（オナガザル科）		
			ニホンザル	1
			カニクイザル	1
			マンドリル	1
	ネコ目			
		（ネコ科）		
			トラ	1
			ユキヒョウ	1
		（イヌ科）		
			オオカミ	1
		（クマ科）		
			アメリカクロクマ	1
	クジラ目			
		（キリン科）		
			マサイキリン	2
		（ラクダ科）		
			ラクダ	1
		（シカ科）		
			エゾシカ	7
鞣革				
	ウサギ目			
		（ウサギ科）		
			エゾユキウサギ	1
	ネズミ目			
		（リス科）		
			エゾリス	1
			エゾモモンガ	1

綱	目	科	種	
	ネコ目			
		（イヌ科）		
			ヨーロッパオオカミ	1
		（アザラシ科）		
			ゼニガタアザラシ	1
		（シカ科）		
			エゾシカ	3

９　令和５年度野生鳥獣保護一覧表

（R5.4.1～R6.3.31）

綱	目	動物名	保護数	転帰数			
				自然転帰	継続飼育	飼育委託	死亡
哺乳綱							
	翼手目						
		ヒナコウモリ	1		1		
小計		1目　1種	1	0	1	0	0
合計		1目　1種	1	0	1	0	0

10　令和５年度主要死亡動物

(R5.4.1～R6.3.31)

動物名	死亡原因	動物名	死亡原因
エリマキキツネザル	肝疾患	ニホンザル	外傷性ショック他
ユキヒョウ	多臓器不全	スンダスローロリス	衰弱死
ホッキョクグマ	胆管癌	ミーアキャット	拡張型心筋症
エゾシカ	悪性腫瘍	カバ	起立不能による安楽死処置

11　令和５年度原因別死亡動物

区分		哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	計
飼育動物数	6.3.31 現在数	252	124	138	91	605
	年間死亡動物数	57	10	4	6	77
死亡動物数	循環器系	3	1			4
	呼吸器系	3	1			4
	消化器系	10	4	1	1	16
	泌尿生殖器系	1				1
	外傷	1	1			2
	寄生虫症					0
	感染症	2		1		3
	神経系	2		1		3
	その他	35	3	1	5	44
	計	57	10	4	6	77
飼育動物に対する割合（%）		18.4	7.5	2.8	6.2	11.3

※死亡数には死産子、出産後1日以内に死亡した個体、群単位で管理している種の現数確認による増減数は含めない。

12　主要動物の給餌量と飼料代（１日１頭当たり）

◎ユキヒョウ（♂）

飼　料	夏	冬
鹿肉	0.8kg	1.5kg
骨なし鶏／骨付き鶏※	1kg	2kg
金　額	¥666	¥1,276

※週に2回ペース

◎エランド

飼　料	夏	冬
ルーサン乾草	6kg	6kg
2番乾草	-	2kg
シラカシ	5kg	2kg
クローバー	5kg	-
青草	10kg	-
粉砕ヘイキューブ	2kg	1.5kg
ZCペレット	1kg	1kg
カルシウム・ビタミン	少量	少量
金　額	¥5,425	¥2,222

◎カバ（♀）

飼　料	夏	冬
2番乾草	7kg	7kg
リンゴ	0.2kg	0.2kg
ニンジン	1kg	1kg
キャベツ	1kg	1kg
おから	1kg	1kg
ヘイキューブ	1kg	1kg
塩・ミネラル・ビタミン	0.1kg	0.1kg
金　額	¥953	¥924

◎ダチョウ

飼　料	夏	冬
ダチョウペレット	0.5kg	0.5kg
ルーサンペレット	0.5kg	0.5kg
キャベツ	0.5kg	0.5kg
小松菜	0.75kg	0.75kg
もやし	1.5～2kg	2.5kg
おから	0.3kg	0.3kg
クローバー	1.0kg	なし
青草	0.5kg	なし
粉砕ヘイキューブ	0.5kg	0.5kg
ほたて貝殻	不断	不断
金　額	¥1,770	¥1,305

◎シセンレッサーパンダ

飼　料	夏	冬
孟宗竹	2kg	2kg
リンゴ	0.1kg	0.1kg
サツマイモ	少量	少量
ニンジン	少量	少量
リーフイーターペレット	0.1kg	0.2kg
金　額	¥2,529	¥2,564

孟宗竹は枝と葉を入れた総重量を記載。実際の採餌部分は葉のみ。

◎ホッキョクグマ(♀)

飼　料	夏	冬
ペレット（５Ｍ６Ｘ）	0.4kg	0.2kg
ペレット（ｵﾘｴﾝﾀﾙ）	-	-
馬肉	1.5kg	2.5kg
ホッケ	2.0kg	3.0kg
オオナゴ	1.8kg	1.0kg
ニンジン	0.7kg	0.7kg
果物・ワカサギ・コマイ・鶏肉など※		
金　額	¥2,417	¥3,258

※日替わりメニュー、果物はリンゴやブドウなど。魚・鶏肉は0.5kg

◎オオカンガルー

飼　料	夏	冬
コマツナ	-	0.22kg
ZCペレット	0.18kg	0.18kg
2番乾草（チモシー）	0.67kg	0.67kg
青草	0.63kg	-
金　額	¥146	¥152

◎アジアゾウ

飼　料	夏	冬
1番乾草	45kg	55kg
リンゴ	10kg	10kg
人参	2kg	2kg
オレンジ	2kg	2kg
バナナ	1kg	1kg
キャベツ	2kg	2kg
ヘイキューブ	2kg	2kg
ZFペレット	2kg	2kg
サツマイモ	3kg	3kg
金　額	¥11,611	¥11,051

Ⅷ　飼育動物一覧表

1　総括　ANIMAL INVENTORY

(R6.3.31)

綱 Class	目 Order	種類 Species	点数 Specimens
哺乳綱 MAMMALIA	カンガルー目 MARSUPIALIA	1	7
	トガリネズミ目 EULIPOTYPHLA	3	12
	コウモリ目 CHILOPTERA	1	2
	サル目 PRIMATES	15	87
	ネコ目 CARNIVORA	17	37
	ゾウ目 PROBOSCIDEA	1	5
	ウマ目 PERISSODACTYLA	2	7
	クジラ目 ARTIODACTYLA	5	11
	ネズミ目 RODENTIA	7	53
	ウサギ目 LAGOMORPHA	1	32
小　計		53	253
鳥綱 AVES	ダチョウ目 STRUTHIONIFORMES	1	2
	ペンギン目 SPHENISCIFORMES	1	15
	ペリカン目 PELECANIFORMES	1	3
	コウノトリ目 CICONIFORMES	4	15
	フラミンゴ目 PHOENICOPTERIFORMES	2	27
	タカ目 FALCONIFORMES	6	24
	カモ目 ANSERIFORMES	3	8
	キジ目 GALLIFORMES	3	4
	ツル目 GRUIFORMES	1	1
	チドリ目 CHARADRIIFORMES	1	1
	オウム目 PSITTACIFORMES	2	3
	フクロウ目 STRIGIFORMES	5	13
	キツツキ目 PICIFORMES	1	2
	スズメ目 PASSERIFORMES	3	6
小　計		34	124
爬虫綱 REPTILIA	カメ目 TESTUDINES	15	60
	ワニ目 CROCODYLIA	2	6
	有鱗目 SQUAMATA	27	72
小　計		44	138
両生綱 AMPHIBIA	サンショウウオ目 CAUDATA	4	16
	カエル目 ANURA	9	75
小　計		13	91
総　計		144	606

２　哺乳綱　MAMMALIA

(R5.4.1～R6.3.31)

和名 JAPANESE NAME	英名　ENGLISH NAME 学名　SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS	繁殖 BORN	転入 OTHER ACQUISITION	死亡 DIED	転出 OTHER DISPOSITION	現在数 STATUS
目 科 種	目 科 種 種（学名）	♂ ♀ ? = 計	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ? = 計
カンガルー目	**MARSUPIALIA**						
カンガルー科	Macropodidae						
オオカンガルー	Eastern Gray Kangaroo						
	Macropus giganteus	2 5 0 = 7					2 5 0 = 7
トガリネズミ目	**EULIPOTYPHLA**						
トガリネズミ科	Soricidae						
トウキョウトガリネズミ	Hawker's least shrew	0 0 2 = 2					0 0 2 = 2
	Sorex minutissimus hawkeri						
オオアシトガリネズミ	Long-clawed shrew						
	Sorex unguiculatus	0 0 4 = 4			3		0 0 1 = 1
ヒメトガリネズミ	Slender shrew						
	Sorex gracillimus	4 4 5 = 13		9	3 3 7		1 1 7 = 9
コウモリ目	**CHILOPTERA**						
ヒナコウモリ科	Vespertilionidea						
クロオオアブラコウモリ	Alashanian pipistrelle						
	Hypsugo alaschanicus	3 0 0 = 3			1		2 0 0 = 2
サル目	**PRIMATES**						
キツネザル科	Lemuridae						
エリマキキツネザル	Ruffed Lemur						
	Varecia variegata	0 1 0 = 1			1		0 0 0 = 0
ワオキツネザル	Ring-tailed Lemur						
	Lemur catta	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
ロリス科	Lorisidae						
スンダスローロリス	Greater Slow Loris						
	Nycticebus coucang coucang	2 5 0 = 7			1		1 5 0 = 6
オマキザル科	Cebidae						
コモンリスザル	Common Squirrel Monkey						
	Saimiri sciureus	2 10 0 = 12			1		2 9 0 = 11
フサオマキザル	Tufted Capuchin						
	Cebus apella	0 2 0 = 2					0 2 0 = 2
オナガザル科	Cercopithecidae						
ニホンザル	Japanese Macaque						
	Macaca fuscata	20 22 0 = 42			3 2		17 20 0 = 37
ダイアナモンキー	Diana Monkey						
	Cercopithecus diana	0 3 0 = 3					0 3 0 = 3
ドグェラヒヒ	Olive Baboon						
	Papio anubis	1 2 0 = 3					1 2 0 = 3
マンドリル	Mandrill						
	Mandrillus sphinx	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
クロザル	Celebes Crested Macaque						
	Macaca nigra	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
ブラッザグェノン	De Brazza's Monkey						
	Cercopithecus neglectus	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
シシオザル	Lion-tailed Macaque						
	Macaca silenus	2 1 0 = 3					2 1 0 = 3
テナガザル科	Hylobatidae						
テナガザル（雑種）	Silvery Gibbon						
	Hylobates moloch	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
シロテテナガザル	Lar Gibbon						
	Hylobates lar	1 2 0 = 3	1				2 2 0 = 4
ヒト科	Pongidae						
チンパンジー	Chimpanzee						
	Pan troglodytes verus	1 8 0 = 9					1 8 0 = 9
ボルネオオランウータン	Bornean Orangutan						
	Pongo pygmaeus (pygmaeus)	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2

(R5.4.1～R6.3.31)

和名 JAPANESE NAME	英名 ENGLISH NAME 学名 SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS	繁殖 BORN	転入 OTHER ACQUISITION	死亡 DIED	転出 OTHER DISPOSITION	現在数 STATUS
目 科 種	目 科 種 種 (学名)	♂ ♀ ? = 計	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ? = 計
ネコ目	**CARNIVORA**						
イヌ科	Canidae						
エゾタヌキ	Raccoon Dog						
	Nyctereutes procyonides albus	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
シンリンオオカミ	Eastern Timber Wolf						
	Canis lupus lycaon	0 2 0 = 2					0 2 0 = 2
クマ科	Ursidae						
エゾヒグマ	Hokkaido Brown Bear						
	Ursus arctos yesoensis	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
マレーグマ	Sun Bear						
	Helarctos malayanus	1 0 0 = 1				1	0 0 0 = 0
ヒマラヤグマ	Asiatic Black Bear						
	Ursus thibetanus thibetanus	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
ホッキョクグマ	Polar Bear						
	Ursus maritimus	2 2 0 = 4			1	1	0 2 0 = 2
アライグマ科	Procyonidae						
アライグマ	Northern Raccoon						
	Procyon lotor	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
アカハナグマ	South American coati						
	Nasua nasua	1 2 0 = 3					1 2 0 = 3
イタチ科	Mustelidae						
コツメカワウソ	Asian Small-clawed otter						
	Aonyx cinerea	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
マングース科	Herpestidae						
ミーアキャット	Meerkat						
	Suricata suricatta	3 4 0 = 7			1		2 4 0 = 6
ハイエナ科	Hyaenidae						
ブチハイエナ	Spotted Hyena						
	Crocuta crocuta	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
ネコ科	Felidae						
アムールトラ	Siberian tiger						
	Panthera tigris altaica	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
ライオン	Lion						
	Panthera leo	0 0 0 = 0		2			0 2 0 = 2
ユキヒョウ	Snow Leopard						
	Uncia uncia	1 1 0 = 2		1	1		1 1 0 = 2
サーバルキャット	Serval						
	Leptaliurus serval	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
レッサーパンダ科	Ailuridae						
シセンレッサーパンダ	Red Panda						
	Ailurus fulgens styani	2 2 0 = 4		1			3 2 0 = 5
アザラシ科	Phocidae						
ゴマフアザラシ	Spotted Seal						
	Phoca largha	1 2 0 = 3	1			1	1 2 0 = 3
ゼニガタアザラシ	Habour Seal						
	Phoca vitulina	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
ゾウ目	**PROBOSCIDEA**						
ゾウ科	Elephantidae						
アジアゾウ	Asian elephant						
	Elephas maximus	1 3 0 = 4	1				1 4 0 = 5
ウマ目	**PERISSODACTYLA**						
ウマ科	Equidae						
グラントシマウマ	Grant's Zebra						
	Equus burchelliboehmi	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
シェトランドポニー	Horse(Domestic)Shetland Pony						
	Equus caballus caballus Shetland Pony	2 3 0 = 5					2 3 0 = 5

(R5.4.1～R6.3.31)

和名 JAPANESE NAME	英名 ENGLISH NAME 学名 SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS	繁殖 BORN	転入 OTHER ACQUISITION	死亡 DIED	転出 OTHER DISPOSITION	現在数 STATUS
目 科 種	目 科 種 種（学名）	♂ ♀ ? = 計	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ? = 計
クジラ目	ARTIODACTYLA						
カバ科	Hippopotamidae						
カバ	Hippopotamus						
	Hippopotamus amphibius	1 1 0 = 2			1		0 1 0 = 1
シカ科	Cervidae						
エゾシカ	Hokkaido Sika						
	Cervus nippon yesoensis	1 3 0 = 4			1		1 2 0 = 3
キリン科	Giraffidae						
キリン	Giraffe						
	Giraffa camelopardalis	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
ウシ科	Bovidae						
ヒツジ（コリデール種）	Sheep(Domestic)Corridale Sheep						
	Ovis aries aries corriedale	0 4 0 = 4					0 4 0 = 4
エランド	Common Eland						
	Taurotragus oryx	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
ネズミ目	RODENTIA						
リス科	Sciuridae						
エゾモモンガ	Russian Flying Squirrel						
	Pteromys volans orii	2 1 0 = 3			2		0 1 0 = 1
オグロプレーリードック	Black-tailed Prairie Dog						
	Cynomys ludovicianus ludovicianus	4 3 0 = 7			1		3 3 0 = 6
エゾリス	Hokkaido Squirrel						
	Sciurus vulgaris orientis	2 4 0 = 6	6		2 3		2 2 3 = 7
ビーバー科	Castoridae						
アメリカビーバー	American Beaver						
	Castor canadensis	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
ネズミ科	Muridae						
エゾアカネズミ	Large Japanese field mouse						
	Apodemus speciosus	0 0 2 = 2			1		0 1 0 = 1
エゾヤチネズミ	Grey Red-backed vole						
	Myodes rufocanus	1 0 0 = 1			1		0 0 0 = 0
テンジクネズミ科	Caviidae						
テンジクネズミ （モルモット）	Domesticated Guinea Pig						
	Cavia porcellus(Domestic)	12 19 0 = 31	2	1 1	3		13 19 = 32
デバネズミ科	Bathyergidae						
ハダカデバネズミ	Naked mole rat						
	Heterocephalus glaber	0 0 10 = 10			5		0 0 5 = 5
ウサギ目	LAGOMORPHA						
ウサギ科	Leporidae						
カイウサギ（ﾈｻﾞｰﾗﾝﾄﾞﾄﾞﾜｰﾌ）	Rabbit (Domestic) Netherland dwarf rabbit						
	Oryctolagus cuniculusdomestic netherland dwarf	0 1 0 = 1			1		0 0 0 = 0
エゾユキウサギ	Mountain Hare						
	Lepus timidus ainu	22 13 0 = 35			3		19 13 0 = 32

3　鳥綱　AVES

(R5.4.1～R6.3.31)

和名 JAPANESE NAME	英名 ENGLISH NAME　SCIENTIFIC NAME 学名	昨年数 STATUS	繁殖 BORN	転入 OTHER ACQUISITION	死亡 DIED	転出 OTHER DISPOSITION	現在数 STATUS
目 科 種	目 科 種 種 (学名)	♂ ♀ ? = 計	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ? = 計
ダチョウ目	**STRUTHIONIFORMES**						
ダチョウ科	Struthionidae						
ダチョウ	Common Ostrich						
	Sturthio camelus domestic	0 1 0 = 1		1			1 1 0 = 2
ペンギン目	**SPHENISCIFORMES**						
ペンギン科	Spheniscidae						
フンボルトペンギン	Humboldt Penguin						
	Spheniscus humboldti	11 3 2 = 16			1		11 2 2 = 15
ペリカン目	**PELECANIFORMES**						
ペリカン科	Pelicanidae						
モモイロペリカン	White Pelican						
	Pelecanus onocrotalus	3 0 0 = 3					3 0 0 = 3
コウノトリ目	CICONIFORMES						
サギ科	Ardeidae						
ゴイサギ	Black-crowned Night Herom						
	Nycticorax nycticorax	0 0 12 = 12			3		0 0 9 = 9
アオサギ	Grey Heron						
	Ardea cinerea	0 0 2 = 2					0 0 2 = 2
コウノトリ科	Ciconiidae						
シュバシコウ	White Stork						
	Ciconia ciconia	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
トキ科	Threskiornithidae melanocephala						
ショウジョウトキ	Scarlet Ibis						
	Eudocimus ruber	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
フラミンゴ目	PHOENICOPTERIFORMES						
フラミンゴ科	Phoenicopteridae						
ベニイロフラミンゴ	American Flamingo						
	Phoenicopterus ruber	3 2 2 = 7					3 2 2 = 7
チリーフラミンゴ	Chilian Flamingo						
	Phoenicopterus chilensis	7 9 4 = 20					7 9 4 = 20
ワシタカ目	FALCONIFORMES						
タカ科	Accipitridae						
オオワシ	Steller's Sea Eagle						
	Haliaeetus pelagicus	4 3 2 = 9					4 3 2 = 9
オジロワシ	White-tailed Sea Eagle						
	Haliaeetus albicilla	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
オオタカ	Northern Goshawk						
	Accipiter gentilis	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
ハイタカ	Eurasian Sparrowhawk						
	Accipiter nisus	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
ノスリ	Japanese Buzzard						
	Buteo japonicus	0 1 0 = 1			1		0 0 0 = 0
トビ	Black Kite						
	Milvus migrans	7 4 0 = 11					7 4 0 = 11
ツミ	Japanese Sparrowhawk						
	Accipiter gularis	0 0 1 = 1					0 0 1 = 1
カモ目	**ANSERIFORMES**						
カモ科	Anatidae						
シナガチョウ	White Chinese Goose (Domestic)						
	Anser cygnoides domestic white	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
アカツクシガモ	Ruddy Shelduck						
	Tadorna ferruginea	0 1 1 = 2					0 1 1 = 2
コールダック	Duck(Domestic)						
	Anas platyrhynchos domestic	0 0 5 = 5					0 0 5 = 5
キジ目	**GALLIFORMES**						
キジ科	Phasianidae						
オナガドリ	Onagadori						
	Gallus gallus (domestic onagadori)	1 3 0 = 4			2		1 1 0 = 2
インドクジャク	Common Peafowl						
	Pavo cristatus domestic	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
オヒキ	Ohiki						
	Gallus gallus domestic ohiki	1 1 0 = 2			1		1 0 0 = 1

ツル目 ツル科 タンチョウ	GRUIFORMES Gruidae Red-crowned Crane *Grus japonensis*	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
チドリ目 シギ科 オオジシギ	Charadriiformes Scolopacidae Latham's Snipe *Gallinago hardwickii*	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
オウム目 オウム科 モモイロインコ	PSITTACIFORMES Cacatuidae Galah *Eolophus roseicapilla*	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
インコ科 サトウチョウ	Psittacidae Blue-crowned Hanging Parrot *Loriculus galgulus*	0 0 2 = 2					0 0 2 = 2
フクロウ目 フクロウ科 フクロウ	STRIGIFORMES Strigidae Ural Owl *Strix uralensis*	1 0 1 = 2		1	1		1 0 1 = 2
アメリカワシミミズク	Great Horned Owl *Bubo virginianus*	0 1 2 = 3					0 1 2 = 3
シロフクロウ	Snowy Owl *Bubo scandiacus*	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
ユーラシアワシミミズク	Eurasian Eagle Owl *Bubo bubo*	1 0 1 = 2					1 0 1 = 2
シマフクロウ	Blakiston's fish owl *Ketupa blakistoni blakistoni*	4 1 0 = 5	1			1	4 1 0 = 5
キツツキ目 オオハシ科 オニオオハシ	PICIFORMES Ramphastidae Toco Toucan *Ramphastos toco*	0 2 0 = 2					0 2 0 = 2
スズメ目 ホオジロ科 ノドグロコウカンチョウ	PASSERIFORMES Emberizidae Red-capped Cardinal *Paroaria gularis gularis*	0 0 1 = 1					0 0 1 = 1
ムクドリ科（ﾑｸﾄﾞﾘ亜科） セイキムクドリ	Sturnidae(Sturninae) Greater Blue-eared starling *Lamprotornis chalybaeus*	1 1 1 = 3					1 1 1 = 3
カンムリシロムク	Bali Myna *Leucopsar rothschildi*	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2

4　爬虫綱　REPTILIA

(R5.4.1～R6.3.31)

和名 JAPANESE NAME	英名　ENGLISH NAME 学名　SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS					繁殖 BORN			転入 OTHER ACQUISITION			死亡 DIED			転出 OTHER DISPOSITION			現在数 STATUS				
目 科 種	目 科 種 *種(学名)*	♂	♀	?	=	計	♂	♀	?	♂	♀	?	♂	♀	?	♂	♀	?	♂	♀	?	=	計
カメ目	**TESTUDINES**																						
ヘビクビガメ科	Chelidae																						
コウヒロナガクビガメ	Broad-shelled turtle *Macrochelodina expansa*	1	1	0	=	2													1	1	0	=	2
スッポン科	Trionychidae																						
ミナミインドハコスッポン	Indian flap-shelled turtle *Lissemys punctate punctate*	0	0	2	=	2													0	0	2	=	2
ヌマガメ科	Emydidae																						
ジャノメイシガメ	Beal's-eyed turtle *Sacalia bealei*	1	4	0	=	5													1	4	0	=	5
ヨツメイシガメ	Four-eyed Turtle *Sacalia quadriocellata*	0	0	5	=	5													0	0	5	=	5
ムオヒラセガメ	Keeled Box Turtle *Cuora mouhotii mouhotii*	1	3	8	=	12													1	3	8	=	12
メキシコアカスジヤマガメ	Painted Wood Turtle *Rhinoclemmys pulcherrima pulcherrima*	1	1	0	=	2													1	1	0	=	2
スペングラーヤマガメ	Black-breasted Leaf Turtle *Geoemyda spengleri*	1	5	3	=	9													1	5	3	=	9
ハミルトンガメ	Spotted pond turtle *geoclemys hamiltonii*	0	0	2	=	2													0	0	2	=	2
リクガメ科	Testudinidae																						
ホウシャガメ	Radiated Tortoise *Astrochelys radiata*	0	3	0	=	3													0	3	0	=	3
インドホシガメ	Indian Star Tortoise *Geochelone elegans*	0	1	0	=	1													0	1	0	=	1
クモノスガメ	Madagascan Spider Tortoise *Pyxis arachnoides*	1	0	0	=	1													1	0	0	=	1
アルダブラゾウガメ	Aldabra Giant Tortoise *Aldabrachelys gigartea*	0	1	0	=	1													0	1	0	=	1
イシガメ科	Geoemydidae																						
テクタセタカガメ	Indian Roofed Turtle *Pangshura tecta*	1	0	0	=	1													1	0	0	=	1
ヒラタヤマガメ	Arakan forest turtle *Heosemys depressa*	0	0	5	=	5													0	0	5	=	5
ラオスモエギハコガメ	Bourret's Box Turtle *Cuora galbinifrons bourreti*	2	2	5	=	9													2	2	5	=	9
ワニ目	**CROCODYLIA**																						
クロコダイル科	Crocodylidae																						
マレーガビアル	False Gharial *Tomistoma schlegelii*	1	3	0	=	4													1	3	0	=	4
アリゲータ科	Alligatoridae																						
ヨウスコウワニ	Chinese Alligator *Alligator sinensis*	1	1	0	=	2													1	1	0	=	2
有鱗目（トカゲ亜目）	**SQUAMATA (SAURIA)**																						
ヤモリ科	Gekkonidae																						
トッケイヤモリ	Tokay Gecko *Gekko gecko*	0	0	2	=	1								1					0	0	1	=	1
ツギオミカドヤモリ	Rhacodactylus *Rhacodactylus leachianus*	1	0	0	=	1													1	0	0	=	1
ヒョウモントカゲモドキ	Leopard gecko *Eublepharis Suscus*	0	0	2	=	2													0	0	2	=	2
イグアナ科	Iguanidae																						
トゲチャクワラ	Angel Island Chuckwalla *Sauromalus hispidus*	0	1	1	=	2													0	1	1	=	2
サイイグアナ	Rhinoceros Iguana *Cyclura cornuta*	1	3	0	=	4													1	3	0	=	4
ヨロイトカゲ科	Cordylidae																						
アルマジロトカゲ	Armadillo girdled lizard *Ouroborus cataphractus*	1	0	6	=	7													1	0	6	=	7
カナヘビ科	Lacertidae																						
ニホンカナヘビ	Japanese grass lizard *Takydromus tachydromoides*	0	0	2	=	2													0	0	2	=	2
ミヤコカナヘビ	Miyako grass lizzard *Takydromus toyamai*	0	0	149	=	149								79			52		0	0	18	=	18
カメレオン科	Chamaeleonidae																						
エボシカメレオン	Veiled chameleon *Chamaeleo calyptratus*	0	0	0	=	0				1	1								1	1	0	=	2

(R5.4.1～R6.3.31)

和名 JAPANESE NAME	英名 ENGLISH NAME 学名 SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS					繁殖 BORN			転入 OTHER ACQUISITION			死亡 DIED			転出 OTHER DISPOSITION			現在数 STATUS				
目 科 種	目 科 種 *種(学名)*	♂	♀	?	=	計	♂	♀	?	♂	♀	?	♂	♀	?	♂	♀	?	♂	♀	?	=	計
有鱗目（トカゲ亜目）	**SQUAMATA (SAURIA)**																						
トカゲ科																							
オマキトカゲ	Monkey-tailed Skinks																						
	Corucia zebrata	0	0	1	=	1													0	0	1	=	1
ニホントカゲ	Japanese Five-lined Skink																						
	Plestiodon japonicus	0	0	2	=	2													0	0	2	=	2
マツカサトカゲ	Shingleback Lizard																						
	Tiliqua rugosa	0	1	0	=	1													0	1	0	=	1
ワニトカゲ科	Xenosauridae																						
チュウゴクワニトカゲ	Chinese crocodile lizard																						
	Shinisaurus crocodilurus	0	0	5	=	5								1					0	0	4	=	4
ドクトカゲ科	Helodermatidae																						
アメリカドクトカゲ	Gila monster																						
	Heloderma suspectum	1	2	1	=	4													1	2	1	=	4
オオトカゲ科	Varanidae																						
ミズオオトカゲ	Water Monitor																						
	Varanus salvator	1	0	0	=	1													1	0	0	=	1
アオホソオオトカゲ	Cobalt Tree Monitor																						
	Varanus macraei	0	0	1	=	1													0	0	1	=	1
ペレンティーオオトカゲ	Perentie																						
	Varanus giganteus	0	1	0	=	1								1					0	0	0	=	0
有鱗目（ヘビ亜目）	**SQUAMATA (SERPENTES)**																						
ボア科	Boidae																						
ビルマニシキヘビ	Burmese Python																						
	Python bivittatus	1	0	0	=	1													1	0	0	=	1
アミメニシキヘビ	Reticulated python																						
	Python reticulatus	0	0	1	=	1													0	0	1	=	1
マダラスナボア	Dwarf sand boa																						
	Eryx miliaris	0	0	1	=	1													0	0	1	=	1
アナコンダ	Anaconda																						
	Eunectes murinus	0	1	0	=	1													0	1	0	=	1
ミドリニシキヘビ	Green tree Python																						
	Morelia viridis	1	1	0	=	2								1					0	1	0	=	1
ボールニシキヘビ	Ball Python																						
	Python regius	0	0	1	=	1													0	0	1	=	1
キイロアナコンダ	Yellow Anaconda																						
	Eunectus notaeus	0	0	0	=	0													0	0	0	=	0
ナミヘビ科	Colubridae																						
アオダイショウ	Japanese Rat Snake																						
	Elaphe climacophora	1	3	2	=	6													1	3	2	=	6
シマヘビ	Japanese striped Snake																						
	Elaphe quadrivirgata	0	0	2	=	2													0	0	2	=	2
ジムグリ	Japanese Forest Ratsnake																						
	Elaphe conspicillata	1	1	0	=	2													1	1	0	=	2
シロマダラ	Japanese Odd-tooth Snake																						
	Lycodon(Dinodon) orientalis	0	0	1	=	1													0	0	1	=	1
クサリヘビ科	Viperidae																						
ニホンマムシ	Mamushi pit-viper																						
	Gloydius blomhoffii	0	1	1	=	2													0	1	1	=	2

５　両生綱　AMPHIBIA

(R5.4.1～R6.3.31)

和名 JAPANESE NAME	英名　ENGLISH NAME 学名　SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS					繁殖 BORN			転入 OTHER ACQUISITION			死亡 DIED			転出 OTHER DISPOSITION			現在数 STATUS				
目 科 種	目 科 種 *種(学名)*	♂	♀	?	=	計	♂	♀	?	♂	♀	?	♂	♀	?	♂	♀	?	♂	♀	?	=	計
サンショウウオ目	**CAUDATA**																						
サンショウウオ科	Hynobiidae																						
エゾサンショウウオ	Ezo Salamander																						
	Hynobius retardatus	0	0	13	=	13								1					0	0	12	=	12
アンフューマ科	Amphiumiidae																						
ミツユビアンヒューマ	Three-toad Amphiuma																						
	Amphiuma tridactylum	0	0	1	=	1													0	0	1	=	1
トラフサンショウウオ科	Ambystomatidae																						
トウブタイガーサラマンダー	Eastern Tiger Salamander																						
	Ambystoma mavortium	0	0	2	=	2													0	0	2	=	2
イモリ科	Salamandroidae																						
コイチョウイボイモリ	Kweichow Crocodile Newt																						
	Tylototriton kweichowensis	1	0	0	=	1													1	0	0	=	1
カエル目	**ANURA**																						
アマガエル科	Hylidae																						
ニホンアマガエル	Japanese tree frog																						
	Hyla japonica	0	0	5	=	5													0	0	5	=	5
ヤドクガエル科	Dendorobatidae																						
キオビヤドクガエル	Yellow-banded Poison Dart Frog																						
	Dendrobates leucomelas	1	1	35	=	37													1	1	35	=	37
マダラヤドクガエル	Green and Black Poison Frog																						
	Dendrobates auratus	0	0	12	=	12		2											1	1	12	=	14
アイゾメヤドクガエル	Dyeing Poison Dart Frog																						
	Dendrobates tinctrius	0	1	5	=	6		1											0	1	6	=	7
モウドクフキヤガエル	Golden Poison Frog																						
	Phyllobates terribilis	0	0	3	=	3								1					0	0	2	=	2
アカガエル科	RANIDAE																						
エゾアカガエル	Ezo Brown Frog																						
	Rana pirica	0	0	6	=	6								1					0	0	5	=	5
アオガエル科	Rhacophoridae																						
コケガエル	Mossy frog																						
	Theloderma corticale	0	0	3	=	3								1					0	0	2	=	2
マダガスカルガエル科	Mantellidae																						
マダガスカルキンイロガエル	Golden Mantella																						
	Mantella aurantiaca	0	0	3	=	3								2					1	0	0	=	1
ヒキガエル科	Bufonidae																						
アズマヒキガエル	Japanese common toad																						
	Bufo japonicus formosus	0	0	0	=	0				1	1								1	1	0	=	2

6 貸出動物　ANIMAL LOANS FROM SAPPORO MARUYAMA ZOO

(R6.3.31現在)

和名 JAPANESE NAME	英名　ENGLISH NAME *学名　SCIENTIFIC NAME*	♂	♀	?	貸出施設 INSTITUTION
スンダスローロリス	Sunda Slow Loris *Nycticebus coucang*	2	1	0	東京都恩賜上野動物園
		1	1	0	熊本市動植物園
ダイアナモンキー	Diana Monkey *Cercopithecus diana*	0	1	0	とべ動物園
		1	1	0	豊橋総合動植物公園
		1	1	0	福岡市動物園
クロザル	Celebes Crested Macaque *Macaca nigra*	0	1	0	浜松市動物公園
シシオザル	Lion-tailed Macaque *Macaca silenus*	2	1	0	大宮公園小動物園
		0	1	0	独）天王寺動物園
チンパンジー	Common Chimpanzee *Pan troglodytes verus*	1	0	0	静岡市立日本平動物園
		1	0	0	鹿児島市平川動物園
		1	0	0	仙台市八木山動物公園
		2	0	0	広島市安佐動物公園
シロテテナガザル	Lar Gibbon *Hylobates lar*	1	0	0	東武動物公園
シンリンオオカミ	Eastern Timber Wolf *Canis lupus lycaon*	1	0	0	とくしま動物園
		1	0	0	平川動物公園
ホッキョクグマ	Polar Bear *Ursus maritimus*	0	1	0	おびひろ動物園
		1	0	0	釧路市動物園
		1	0	0	東京都恩賜上野動物園
		0	1	0	旭山動物園
		0	1	0	とくしま動物園
		0	1	0	熊本市動植物園
ユキヒョウ	Snow Leopard *Panthera uncia*	1	1	0	大森山動物園
		0	1	0	浜松市動物園
トド	Steller's Sea Lion *Eumetopias jubatus*	0	1	0	アクアマリンふくしま
グラントシマウマ	Grant's Zebra *Equus burchelli bohmi*	0	1	0	熊本市動植物園
オオワシ	Steller's Sea Eagle *Haliaeetus pelagicus*	0	1	0	東京都多摩動物公園
		0	1	0	浜松市動物園
		1	0	0	東京都恩賜上野動物園
		1	0	0	仙台市八木山動物公園
		0	1	0	よこはま動物園
		0	1	0	東武動物公園
		0	1	0	周南市徳山動物園
イヌワシ	Golden Eagle *Aquila chrysaetos*	1	0	0	大牟田市動物園
シマフクロウ	Blakiston's fish owl *Ketupa blakistoni blakistoni*	1	0	0	那須動物王国
フクロウ	Ural Owl *Strix uralensis*	1	0	0	釧路市動物園
ニジキジ	Himalayan Monal Pheasant *Lophophorus impeyanus*	0	2	0	姫路市立動物園
ヨウスコウワニ	Chinese Aligator *Aligator sinensis*	0	0	6	熱川バナナワニ園
		0	0	1	埼玉県こども動物自然公園

7　借受動物　ANIMAL LOANS TO SAPPORO MARUYAMA ZOO

(R6.3.31現在)

和　名 JAPANESE NAME	英名　ENGLISH NAME *学名　SCIENTIFIC NAME*	♂	♀	?	借受施設 INSTITUTION
マンドリル	Mandrill *Mandrillus sphinx*	1	0	0	日本モンキーセンター
クロザル	Celebes Crested Macaque *Macaca nigra*	1	0	0	千葉市動物公園
ブラッザグェノン	De Brazza's Monkey *Cercopithecus neglectus*	0	1	0	東京都恩賜上野動物園
シシオザル	Lion-tailed Macaque *Macaca silenus*	1 0	0 1	0 0	静岡市立日本平動物園 熊本市動植物園
シロテテナガザル	Lar Gibbon *Hylobates lar*	1 0	0 1	0 0	旭山動物園 市川市動植物園
シセンレッサーパンダ	Red Panda *Hylobates lar*	1 0 1 1	1 1 0 0	0 0 0 0	長野市茶臼山動物園 埼玉県こども動物自然公園 千葉市動物公園 旭山動物園
ユキヒョウ	Snow Leopard *Panthera uncia*	1	0	0	王子動物園
キリン	Giraffe *Giraffa camelopardalis*	1 0	0 1	0 0	長野市茶臼山動物園 多摩動物公園
ボルネオオランウータン	Bornean Orangutan *Pongo pygmaeus*	0	1	0	インドネシア共和国
コツメカワウソ	Small-clawed otter *Aonyx cinereus*	1 0	0 1	0 0	サンピアザ水族館 アドベンチャーワールド
ゴマフアザラシ	Spotted Seal *Phoca largha*	0	1	0	おびひろ動物園
ゼニガタアザラシ	Habour Seal *Phoca vitulina*	0	1	0	小樽水族館
フンボルトペンギン	Humboldt Penguin *Spheniscus humboldti*	1 2	0 0	0 0	新潟市水族館 小樽水族館
タンチョウ	Manchurian Crane *Grus japonensis*	1	0	0	釧路市動物園
シマフクロウ	Blakiston's fish owl *Ketupa blakistoni blakistoni*	2	1	0	釧路市動物園
カンムリシロムク	Bali Myna *Leucopsar rothschildi*	1	1	0	よこはま動物園
ジャノメイシガメ	Beal's-eyed turtle *Sacalia bealei*	0	2	0	横浜市立野毛山動物園
インドタセタカガメ	Indian Roofed Turtle *Pangshura tecta*	1	0	0	横浜市立野毛山動物園

令 和 6 年 度
事 業 概 要

市政等資料番号	01-J03-24-2531
関係部局保存期間	１年

令和７年１月発行

編集・発行　札幌市環境局円山動物園保全・教育推進課
〒064-0959　札幌市中央区宮ケ丘3番地1
電　話　(011) 621-1427
ＦＡＸ　(011) 621-1428
URL：http://www.city.sapporo.jp/zoo/